

令和3年度 個別の主要施策の成果

Results of individual major measures

2021



令和3年7月にオープンした「あつかし千年公園」で蓮のシャワーを浴びる子どもたち

令和4年9月

 国見町

個別の主要施策の概要 -目次-

所属課	係名	目標	政策	施策	事業名称	ページ
総務課	庶務係	5	1	2	総務一般管理事業（職員人件費）	1
総務課	庶務係	5	1	2	総務一般管理事業（物件費）	2
総務課	庶務係	5	1	2	職員厚生事業	3
総務課	文書広報係	5	1	1	文書管理事業	4
総務課	文書広報係	5	1	3	広報広聴事業	5
総務課	文書広報係	6	2	3	応援大使事業	6
総務課	財政係	5	1	1	財政管理事業	7
総務課	財政係	5	1	1	庁舎維持管理事業	8
総務課	財政係	5	1	1	町有財産維持管理事業	9
総務課	財政係	5	1	1	公用車維持管理事業	10
総務課	財政係	5	1	1	嘱託登記事業	11
総務課	財政係	2	3	2	観月台公園維持管理事業	12
総務課	財政係	5	1	1	ふるさと国見町応援寄付金事業	13
総務課	庶務係	5	1	1	選挙管理委員会事務事業	14
総務課	庶務係	5	1	1	選挙啓発事業	15
総務課	庶務係	5	1	1	衆議院議員選挙事業	16
企画調整課	総合政策係	5	1	1	総合計画推進事業	17
企画調整課	総合政策係	6	1	1	まちづくり推進事業	18
企画調整課	総合政策係	6	2	2	定住化促進総合対策事業	19
企画調整課	総合政策係	3	2	2	国見ホイスコーレ事業	20
企画調整課	総合政策係	6	2	1	交流連携推進事業	21
企画調整課	総合政策係	6	2	2	地域おこし協力隊活動事業	22
企画調整課	総合政策係	5	1	1	情報管理事業	23
企画調整課	地域振興係	3	3	4	歴史まちづくり事業	24
企画調整課	地域振興係	2	3	2	歴史公園推進事業	25
企画調整課	総合政策係	5	1	1	各種統計調査事業	26
企画調整課	地域振興係	3	3	4	文化財保護事業	27
企画調整課	地域振興係	3	3	4	阿津賀志山防塁史跡等総合活用事業	28
企画調整課	地域振興係	3	3	4	町内遺跡発掘事業	29
企画調整課	地域振興係	3	3	4	文化財センター（あつかし歴史館）維持管理事業	30
税務課	課税係	5	1	1	課税管理事務	31
税務課	課税係	2	2	1	地籍管理事務	32

個別の主要施策の概要 -目次-

所属課	係名	目標	政策	施策	事業名称	ページ
税務課	課税係	5	1	1	eLTAX関連事務	33
税務課	収納係	5	1	1	収納管理事務	34
税務課	収納係	5	1	1	滞納整理事務	35
住民防災課	環境防災係	2	1	3	交通安全対策事業	36
住民防災課	環境防災係	2	1	3	防犯活動事業	37
住民防災課	環境防災係	6	1	1	町内会事業	38
住民防災課	環境防災係	2	2	2	地域公共交通支援事業	39
住民防災課	戸籍係	5	1	1	戸籍事務事業	40
住民防災課	戸籍係	5	1	1	住民基本台帳事務事業	41
住民防災課	戸籍係	5	1	1	住民基本台帳ネットワーク事務	42
住民防災課	環境防災係	2	3	1	合併処理浄化槽整備事業	43
住民防災課	環境防災係	2	3	1	災害廃棄物処理事業	44
住民防災課	環境防災係	2	3	1	ごみ減量化対策推進事業	45
住民防災課	環境防災係	2	1	2	消防団事業	46
住民防災課	環境防災係	2	1	1	災害対策事業	47
ほけん課	国保係	1	1	1	国保保険基盤安定負担金事業	48
ほけん課	国保係	1	1	1	高齢者医療事業	49
ほけん課	国保係	3	1	1	子ども医療関係事業	50
ほけん課	保健係	3	1	1	母子保健事業	51
ほけん課	保健係	1	1	2	健康づくり推進事業	52
ほけん課	保健係	1	1	2	放射線対策健康管理事業	53
ほけん課	保健係	1	1	2	食育推進事業	54
ほけん課	保健係	1	1	3	結核予防事業	55
ほけん課	保健係	1	1	2	予防接種事業	56
ほけん課	新型コロナウイルス対策室	1	1	1	感染症予防事業	57
ほけん課	保健係	1	1	2	健康増進事業費	58
ほけん課	保健係	1	1	3	集団検診事業	59
ほけん課	保健係	1	1	2	フッ化物洗口事業	60
ほけん課	新型コロナウイルス対策室	1	1	1	新型コロナウイルスワクチン接種事業	61
福祉課	社会福祉係	1	2	4	社会福祉事業	62
福祉課	社会福祉係	6	2	2	町内若者交流事業	63
福祉課	長寿介護係	1	2	1	こさかふるさと館（小坂くらし館）事業	64

個別の主要施策の概要 -目次-

所属課	係名	目標	政策	施策	事業名称	ページ
福祉課	長寿介護係	1	2	1	老人福祉事業	65
福祉課	長寿介護係	1	2	1	敬老事業	66
福祉課	長寿介護係	1	2	1	老人ホーム事業	67
福祉課	社会福祉係	1	2	3	障がい者福祉事業	68
福祉課	長寿介護係	1	2	2	高齢者福祉施設（デイサービスセンター）事業	69
福祉課	社会福祉係	3	1	1	児童福祉事業	70
福祉課	社会福祉係	1	2	4	災害救助事業	71
産業振興課	商工観光係	1	2	1	労働諸費事業	72
産業振興課	農林振興係	4	1	2	農業経営基盤強化促進事業	73
産業振興課	農林振興係	4	1	2	農業振興事業	74
産業振興課	農林振興係	4	1	2	農業災害緊急支援事業	75
産業振興課	農林振興係	4	1	2	経営所得安定対策等推進事業	76
産業振興課	農林振興係	4	1	1	有害鳥獣対策事業	77
産業振興課	農林振興係	4	1	3	町産農産物PR事業	78
産業振興課	農林振興係	4	1	2	くにみ農業ビジネス訓練所事業	79
産業振興課	農林振興係	4	1	2	畜産振興事業	80
産業振興課	農林振興係	4	1	1	大枝湛水防除施設事業	81
産業振興課	農林振興係	4	1	1	多面的支払交付金事業	82
産業振興課	農林振興係	4	1	1	中山間地域等直接支払交付金事業	83
産業振興課	農林振興係	4	1	1	林業振興事業	84
産業振興課	商工観光係	4	2	1	商工振興事業	85
産業振興課	商工観光係	4	1	3	消費者行政活性化事業	86
産業振興課	商工観光係	4	2	3	観光振興事業	87
産業振興課	商工観光係	4	2	3	道の駅推進費事業	88
建設課	管理係	4	1	1	農業施設整備事業	89
建設課	管理係	2	2	4	林道整備事業	90
建設課	建設係	2	2	4	土木総務管理事業	91
建設課	建設係	2	2	4	道路維持事業(共通経費)	92
建設課	建設係	2	2	4	道路維持事業(道路維持・除雪)	93
建設課	建設係	2	2	4	橋梁維持事業	94
建設課	建設係	2	2	4	道路改良舗装事業	95
建設課	建設係	2	2	4	河川維持管理事業	96

個別の主要施策の概要 -目次-

所属課	係名	目標	政策	施策	事業名称	ページ
建設課	建設係	2	2	1	都市計画事業	97
建設課	建設係	2	2	1	都市再生整備計画推進事業	98
建設課	管理係	2	2	3	住宅維持管理事業	99
建設課	建設係	2	3	1	原発災害対策事業（建設）	100
監査委員事務局		5	1	1	監査運営事務	101
学校教育課	学校教育係	3	2	3	学力向上対策事業	102
学校教育課	学校教育係	3	2	3	育英事業	103
学校教育課	学校教育係	3	2	3	小学校管理事業	104
学校教育課	学校教育係	3	2	3	小学校教育振興事業	105
学校教育課	学校教育係	3	2	3	中学校管理事業	106
学校教育課	学校教育係	3	2	3	中学校教育振興事業	107
学校教育課	学校教育係	3	2	1	学校給食事業	108
生涯学習課	生涯学習係	3	2	2	地域学校協働本部事業	109
生涯学習課	生涯学習係	3	3	1	社会教育事業	110
生涯学習課	生涯学習係	3	3	1	公民館事業	111
生涯学習課	生涯学習係	3	3	1	図書館事業	112
生涯学習課	文化スポーツ係	3	3	1	地区中央集会施設維持管理事業	113
生涯学習課	文化スポーツ係	3	3	2	観月台文化センター維持管理事業	114
生涯学習課	文化スポーツ係	3	3	2	芸術文化振興事業	115
生涯学習課	文化スポーツ係	3	3	3	保健体育事業	116
生涯学習課	文化スポーツ係	3	3	3	体育施設事業	117
幼児教育課	幼児教育係	3	1	1	藤田保育所運営事業	118
幼児教育課	幼児教育係	3	1	1	子ども木育広場つながる～む運営事業（道の駅）	119
幼児教育課	幼児教育係	3	1	1	くにみもたん広場運営事業	120
幼児教育課	幼児教育係	3	1	1	子どもクラブ運営事業（国見小学校）	121
幼児教育課	幼児教育係	3	1	1	預かり保育運営事業（くにみ幼稚園）	122
幼児教育課	幼児教育係	3	1	1	こども鑑賞教室事業	123
幼児教育課	幼児教育係	3	1	1	未就学児体力向上支援事業	124
幼児教育課	幼児教育係	3	1	1	くにみ幼稚園運営事業	125
幼児教育課	幼児教育係	3	1	1	幼児ことばの教室運営事業	126
農業委員会	農業委員会	2	2	1	農業委員会事業	127
産業振興課	農林振興係	4	1	1	【特会】大木戸財産区特別会計	128

個別の主要施策の概要 -目次-

所属課	係名	目標	政策	施策	事業名称	ページ
産業振興課	農林振興係	4	1	1	【特会】入山財産区特別会計	129
産業振興課	農林振興係	4	1	1	【特会】石母田財産区一般会計	130
ほけん課	国保係	1	1	1	【国保特会】国保ヘルスアップ事業	131
ほけん課	国保係	1	1	1	【後期特会】保険料等負担金（納付金）	132
福祉課	長寿介護係	1	2	2	【介護特会】介護保険特別会計（地域支援事業）	133
上下水道課	水道係	2	3	3	【水道事業】水道施設整備事業（単独事業）	134
上下水道課	水道係	2	3	3	【水道事業】生活基盤施設耐震化等交付金事業（補助事業）	135
上下水道課	下水道係	2	3	3	【下水道特会】公共下水道整備事業	136
上下水道課	下水道係	2	3	3	【下水道特会】公共下水道施設管理事業	137

令和3年度「総務一般管理事業（職員人件費）」の成果

決算書頁 28～31頁

所管課名 総務課

所管係名 庶務係

総合計画	目標	5 相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1 身近で信頼されるまち	施策名	2 職員の人材育成
------	----	-------------------	-----	--------------	-----	-----------

前年度 決算額	321,328 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	△ 8,795 千円	金額	312,533 千円		千円		千円		千円		千円	312,533 千円	
増減率	△ 2.7 %	構成率	100.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %	100.0 %	
本年度 最終予算額	332,786 千円	特定財源の名称											
執行率	93.91 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細								
款 項 目 節	2	総務費	1	報酬	5,589 千円	会計年度任用職員報酬							
			2	給料	97,989 千円	特別職給料16,352千円、一般職給料81,637千円							
	1	総務管理費	3	職員手当		扶養手当3,041千円、住居手当756千円、通勤手当1,073千円、超過勤務手当19,893千円、宿日直手当1,966千円							
						76,709 千円	管理職手当1,958千円、管理職特別勤務手当990千円、期末手当23,576千円、勤勉手当14,913千円、特殊勤務手当3千円						
						児童手当8,540千円							
	目	目名称	4	共済費	67,537 千円	職員共済組合32,951千円、災害補償基金611千円、社会保険料33,975千円							
1	一般管理費	8	旅費	194 千円	会計年度任用職員通勤手当								
		18	負担金	64,515 千円	非常勤職員公務災害補償負担金136千円、退職手当組合負担金64,379千円								

事業の目的	国見町給与条例等の規定に基づき、人件費を適正に執行する。	
事業の概要	①職員に対する給料、報酬及び手当等の支給 ②職員共済組合負担金、社会保険料等の納付 ③市町村総合事務組合に対する退職手当負担金の納付	
事業の成果	正確な予算管理のもと、条例等の規定に基づき、適正に執行した。	
次年度以降の見込み	次年度以降も引き続き適正な執行を図る。	

令和3年度「総務一般管理費(物件費)」の成果

決算書頁 28~31頁

所管課名 総務課

所管係名 庶務係

総合計画	目標	5 相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1 身近で信頼されるまち（行財政）	施策名	2 職員の人材育成
------	----	-------------------	-----	-------------------	-----	-----------

前年度 決算額	14,916 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	△ 6,229 千円	金額	8,687 千円		千円		千円		千円		千円	8,687 千円	
増減率	△ 41.8 %	構成率	100.0 %	0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %		100.0 %	
本年度 最終予算額	9,302 千円	特定財源の名称											
執行率	93.39 %												

款 項 目 節	款 名称	節	節 名称	支出済額	明 細							
2	総務	1	報酬	39 千円	特別職報酬等審議会							
		8	旅費	293 千円	特別職及び一般職研修旅費							
1	総務管理費	9	町長交際費	410 千円	慶弔費等							
		10	需用費	790 千円	消耗品費(新聞購読料、参考図書)755千円、対外交流費22千円、印刷製本費13千円							
1	一般管理費	11	役務費	3,646 千円	通信運搬料(電話料)1,380千円、広告料(町PR)297千円、手数料(防火管理者講習等)337千円、損害保険料(町賠償及び災害時)1,632千円							
		12	委託料	866 千円	人事給与システム改修264千円、職員採用試験272千円、顧問弁護士委託330千円							
1	一般管理費	13	使用料及び賃借料	16 千円	自動車借上料							
		18	負担金補助及び交付金	2,627 千円	各種負担金2,402千円、職員採用・研修負担金225千円							

事業の目的	使途の透明性を確保し、計画的かつ適正に執行する。	
事業の概要	主として①旅費、消耗品費や電話料にかかる経費、②人事給与システム改修に係る経費、③職員の採用や人材育成に係る研修等の経費の執行	
事業の成果	正確な予算管理のもと、適性に執行した。	
次年度以降の見込み	次年度以降も引き続き適正な執行を図る。	

令和3年度「職員厚生事業事業」の成果

決算書頁 28～31頁

所管課名 総務課

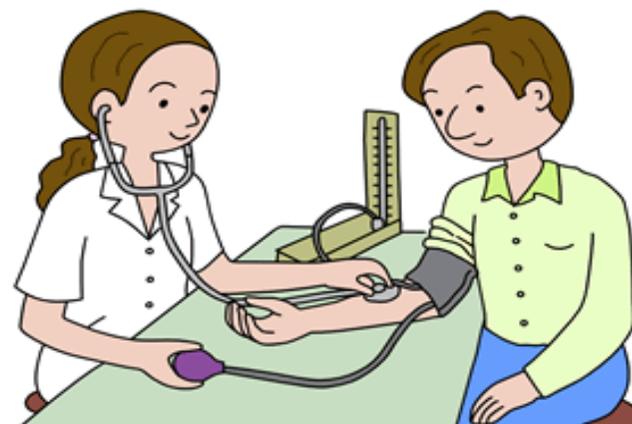
所管係名 庶務係

総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	2	職員の人材育成
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	---------

前年度 決算額	8,995 千円	決算額		特定財源						一般財源		
増減額	935 千円	金額	9,930 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	1,955 千円	7,975 千円
増減率	10.4 %	構成率	100.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %		19.7 %	80.3 %
本年度 最終予算額	11,113 千円	特定財源の名称								●諸収入（健診個人負担 284、共済組合助成 1,225、団体生命配当 446)		
執行率	89.35 %											

款 項 目 節	款	款名称	節	節名称	支出済額	明細
	2	総務費	1	報酬	98 千円	健康管理医報酬98千円
		12	委託料	8,112 千円	生活習慣病等検診7,104千円、産業医委嘱業務288千円、ストレスチェック654千円、メンタルヘルスセミナー66千円	
18	負担金補助及び交付金			1,720 千円	職員団体生命共済846千円、職員互助会厚生事業744千円、インフルエンザ予防接種助成130千円	
1	総務管理費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
1	一般管理費			千円		
				千円		

事業の目的	事業主として、職員の心身の健康保持及び働きやすい環境を確保する。
事業の概要	●定期健康診断 ●ストレスチェック ●インフルエンザ予防接種助成 ●メンタルヘルスセミナー ●団体生命共済加入
事業の成果	職員の健診やメンタルヘルス対策等を行うことで、職員が健康面において安心して働く環境を整備することが出来た。
次年度以降の見込み	事業主として職員の健康管理は、労働安全衛生法において義務化されており、また職員が心身面において安心して働ける環境整備のためにも今後も継続していく。



令和3年度「文書管理事業」の成果

決算書頁 31～32頁

所管課名 総務課
 所管係名 秘書広報係

総合計画	目標	5 相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1 身近で信頼されるまち	施策名	1 持続可能な行財政運営
------	----	-------------------	-----	--------------	-----	--------------

前年度 決算額	18,744 千円	決算額		特定財源								一般財源
増減額	842 千円	金額	19,586 千円	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		19,518 千円
増減率	4.5 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.3 %	99.7 %			
本年度 最終予算額	22,474 千円	特定財源の名称								諸収入（印刷等実費収入）		
執行率	87.15 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細							
2	総務費	10	需用費	3,521 千円	複合機等プリント料、用紙代、文書管理消耗品等 ※他の款項目分1,042千円を含む							
		11	役務費	11,151 千円	郵便料、宅配料 ※他の款項目分6,165千円を含む							
項	項名称	12	委託料	2,212 千円	町内会文書配達、例規集システム							
1	総務管理費	13	使用料及び賃借料	1,596 千円	複合機、印刷機借上料 ※他の款項目分809千円も含む							
		17	備品購入費	1,106 千円	丁合機、紙折り機							
目	目名称			千円								
2	文書広報費			千円								
				千円								

事業の目的	庁内で使用する文書管理機器及び郵便等に関する業務を一括管理し、事務の効率化を図る。適正な文書管理及び例規管理を推進する。
事業の概要	用紙・プリント料等3,521千円、郵便、宅配料11,151千円、町内会文書配達232千円、例規集データベース保守1,980千円、複合機等借上料1,596千円、
事業の成果	複合機、印刷機等の事務機器、文書管理システム、例規集システムの導入により、事務の効率化が図られている。
次年度以降の見込み	システム導入により事務の効率化が図られる一方で、郵便料や用紙代等の消耗品の支出については、日頃からの経費削減について全庁的に取り組んでいく。また、会議でのタブレット等導入も促進し、ペーパーレスを推進する。



令和3年度「広報広聴事業」の成果

決算書頁 31～32頁

所管課名 総務課
 所管係名 秘書広報係

総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	3	効果的な広報広聴
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	----------

前年度 決算額	7,899 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	△ 1,897 千円	金額	6,002 千円		千円	130 千円		千円	216 千円		千円	5,656 千円
増減率	△ 24.0 %	構成率	100.0 %	0.0 %		2.2 %		0.0 %	3.6 %			94.2 %
本年度 最終予算額	6,530 千円	特定財源の名称		うつくしま夢だより 配付委託金				諸収入（広告料）				
執行率	91.91 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	7	報償費	62 千円	子ども議会謝礼	
		10	需用費	2,362 千円	広報くにも印刷製本、事務用品等	
項	項名称	11	役務費	1,823 千円	新聞、ラジオ等広告料、タブレット端末使用料	
1	総務管理費	12	委託料	1,740 千円	広報紙編集用ソフトウェア更新、LINE情報発信アプリ構築	
		18	負担金補助及び交付金	15 千円	日本広報協会会費	
目	目名称			千円		
2	文書広報費			千円		
				千円		

事業の目的	広報くにも、各種マスメディア、SNS等を利用して国見町の情報を町内外に発信し、町の取り組みや魅力を多くの人に伝える。
事業の概要	広報くにも発行2,323千円、新聞・ラジオ広告1,739千円、タブレット使用料84千円、広報紙編集用ソフトウェア更新803千円、LINE情報発信アプリ構築937千円
事業の成果	町の情報を町内外の人々に広く発信し、魅力を伝えることができています。 令和3年度から導入した町公式LINEはプッシュ型の情報発信を可能にするとともに、受け手側が欲しい情報のカテゴリを選択できることから効果的と言える。
次年度以降の見込み	魅力ある広報紙づくりや報道機関との連携、各種メディアを有効的に活用して、効果的な情報発信に取り組んでいく。令和4年度より町公式インスタグラムを開設。若年層を中心にフォロワーを増加させたい。



令和3年度「応援大使事業」の成果

決算書頁 31頁

所管課名 総務課
所管係名 秘書広報係

総合計画	目標	6	町として生きるまちづくり	政策名	2	人が集まりまた来くなるまち	施策名	3	プロモーションの推進
------	----	---	--------------	-----	---	---------------	-----	---	------------

前年度 決算額	48 千円	決算額		特定財源								一般財源	
増減額	8 千円	金額	56 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	千円	56 千円	
増減率	16.7 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %			
本年度 最終予算額	100 千円	特定財源の名称											
執行率	56.00 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					千円	
2	総務費	10	需用費	46 千円	対外交流費(桃)	
		11	役務費	10 千円	桃発送料	
項	項名称			千円		
1	総務管理費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
2	文書広報費			千円		
				千円		

事業の目的	町にゆかりのある方に知名度や影響力を活かし、町の魅力を発信してもらい、イメージアップを図ることを目的として応援大使を設置。	     
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ●応援大使の委嘱6名 (①市川由紀乃 ②木住野佳子 ③沢木順 ④野崎洋光 ⑤ふたり ⑥三屋裕子) ●特産品の送付(桃) 	
事業の成果	全国各地で国見町のPRをしていただくことを目的としているが、コロナ禍において、様々な活動が制限される中で成果は限定的であったと考える。	
次年度以降の見込み	これまでの応援大使とのつながりを大切にしながら、アフターコロナを見据え、連携を継続していく。また「東京ふるさとくにみ会」の設立を機として、更なる連携を模索する。	

令和3年度「財政管理事業」の成果

決算書頁 32頁

所管課名 総務課

所管係名 財政係

総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	1	持続可能な行財政運営
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	------------

前年度 決算額	52,438 千円	決算額		特定財源								一般財源	
増減額	△ 16,167 千円	金額	36,271 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	千円	36,271 千円	
増減率	△ 30.8 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %			
本年度 最終予算額	36,603 千円	特定財源の名称											
執行率	99.09 %												

款 項 目 節	款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細						
	2	総務費		10	需用費	245 千円	消耗品93千円、印刷製本費152千円					
12				委託料	8,316 千円	システム保守3168千円、財務書類作成・公共施設管理計画策定委託5,148千円						
1	総務管理費		13	使用料及び賃借料	7,527 千円	財務会計システム使用料 7527千円						
			24	積立金	20,183 千円	財政調整基金積立金						
3	財政管理費				千円							
					千円							

事業の目的	適正な財務事務の執行・管理。
事業の概要	予算書作成、財務システム管理、財政調整基金積立に係る経費
事業の成果	適正な予算執行を行うことができた。
次年度以降の見込み	次年度以降は、財務会計システムの電子決裁の導入などにより、事務効率の向上を図るとともに立、引き続き適正な財務事務執行、管理に努める。



令和3年度「庁舎維持管理事業」の成果

決算書頁 32～34頁

所管課名 総務課

所管係名 財政係

総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	1	持続可能な行財政運営
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	------------

前年度 決算額	56,949 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	△ 25,389 千円	金額	31,560 千円	3,605 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,408 千円	26,547 千円			
増減率	△ 44.6 %	構成率	100.0 %	11.4 %	0.0 %	0.0 %	4.5 %	84.1 %				
本年度 最終予算額	42,156 千円	特定財源の名称		■地方創生臨時交付金 3605千円				■公有建物災害共済金 1408千円				
執行率	74.86 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	10	需用費	12,218 千円	消耗品306千円、燃料費1,397千円、光熱水費9,663千円、修繕費852千円	
		11	役務費	560 千円	建物災害共済基金分担金560千円	
	12	委託料	15,554 千円	各種設備等保守点検業務		
1	総務管理費	13	使用料及び賃借料	109 千円	AEDリース50千円、NHK受信料42千円、BGMサービス料17千円	
		14	工事請負費	1,691 千円	施設修繕工事（サイン、空調、ドア）	
目	目名称	17	備品購入費	1,428 千円	庁舎用什器	
5	財産管理費			千円		
				千円		

事業の目的	役場庁舎の機能・設備の維持管理を行うことで、町民が来庁しやすくかつ職員が働きやすい環境を整備する。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 庁舎の維持管理（環境整備、法定設備点検等） ■ 新型コロナウイルス感染症対策
事業の成果	新型コロナウイルス対策等に配慮しながら、適正な施設の維持管理を実施した。
次年度以降の見込み	引続き町民に親しまれる庁舎としての適正な維持管理に努める。



令和3年度「町有財産維持管理事業」の成果

決算書頁 32～34頁

所管課名 総務課

所管係名 財政係

総合計画	目標	5 相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1 身近で信頼されるまち	施策名	1 持続可能な行政運営と情報公開
------	----	-------------------	-----	--------------	-----	------------------

前年度 決算額	80,841 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	49,743 千円	金額	130,584 千円		千円		千円		千円		千円	130,584 千円	
増減率	61.5 %	構成率	100.0 %	0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %		100.0 %	
本年度 最終予算額	130,641 千円	特定財源の名称											
執行率	99.96 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細							
2	総務費	10	需用費	69 千円	電気料3千円、水道料66千円							
		12	委託料	479 千円	消防設備点検132千円、除草業務347千円							
	24	積立金	130,036 千円	国見町公共施設整備基金積立金130,000千円、利子36千円								
1	総務管理費			千円								
				千円								
目	目名称			千円								
5	財産管理費			千円								
				千円								

事業の目的	町有財産の有効活用と維持管理。	
事業の概要	町有財産の維持・管理（草刈等）	
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町有財産の維持・管理を実施。 ■ 公共施設整備基金へ130,000千円を積立。 	
次年度以降の見込み	次年度以降についても、引き続き適正な管理に努める。	

令和3年度「公用車維持管理事業」の成果

決算書頁 32～34頁

所管課名 総務課

所管係名 財政係

総合計画	目標	5 相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1 身近で信頼されるまち	施策名	1 持続可能な行政運営と情報公開
------	----	-------------------	-----	--------------	-----	------------------

前年度 決算額	3,587 千円	決算額		特定財源								一般財源
増減額	4,132 千円	金額	7,719 千円	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		7,719 千円
増減率	115.2 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
本年度 最終予算額	9,207 千円	特定財源の名称										
執行率	83.84 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細						
2	総務費	10	需用費	1,877 千円	消耗品255千円、燃料費1,146千円、修繕費476千円						
		11	役務費	1,135 千円	タイヤ交換等46千円、車検整備371千円、自賠責保険193千円、自動車損害共済525千円						
項	項名称	13	使用料及び賃借料	568 千円	有料道路通行料260千円、公用車リース308千円						
1	総務管理費	17	備品購入費	4,010 千円	ドライブレコーダー782千円、車両（トヨタミライ）3,228千円						
		26	公課費	129 千円	自動車重量税						
目	目名称			千円							
5	財産管理費			千円							
				千円							

事業の目的	公用車の集中管理により有効活用を図るとともに、常に安全な走行ができるよう点検・管理を行う。
事業の概要	集中管理車両の管理（車検、運行管理、点検等）を行う。 【総務課集中管理車両20台 + 各課管理車両14台 = 合計33台】
事業の成果	「国見町公用車管理規則」、「同要綱」、「交通事故対応マニュアル」に基づいた運用により、適切に運用・点検・管理を実施した。
次年度以降の見込み	道交法施行規則の改正による酒気帯びの有無の確認等、新制度に対応した適正な運用を行いつつ、車両についても引き続き適正な管理に努める。



令和3年度「嘱託登記事業」の成果

決算書頁 33頁

所管課名 総務課

所管係名 財政係

総合計画	目標	5 相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1 身近で信頼されるまち	施策名	1 持続可能な行政運営と情報公開
------	----	-------------------	-----	--------------	-----	------------------

前年度 決算額	2,114 千円	決算額		特定財源						一般財源	
増減額	819 千円	金額	2,933 千円	国庫支出金		県支出金		地方債		その他	
増減率	38.7 %	構成率	100.0 %	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	2,933 千円	100.0 %
本年度 最終予算額	3,000 千円	特定財源の名称									
執行率	97.77 %										

款 項 目 節	款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細
		2	総務費	12	委託料	2,933 千円
					千円	
	1	総務管理費			千円	
					千円	
	5	財産管理費			千円	
					千円	

事業の目的	公共事業等による不動産の権利変動等を適切に行う。
事業の概要	取得した土地の分筆や測量、所有権移転等。
事業の成果	適正な手続きを行うことにより、町の所有する土地面積を明確に把握することができた。
次年度以降の見込み	次年度以降についても、継続して実施する。



令和3年度「観月台公園維持管理事業」の成果

決算書頁 32～34頁

所管課名 総務課

所管係名 財政係

総合計画	目標	5 相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1 身近で信頼されるまち	施策名	1 持続可能な行政運営と情報公開
------	----	-------------------	-----	--------------	-----	------------------

前年度 決算額	1,767 千円	決算額		特定財源								一般財源
増減額	1,785 千円	金額	3,552 千円	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		3,552 千円
増減率	101.0 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
本年度 最終予算額	4,000 千円	特定財源の名称										
執行率	88.80 %											

款 項 目 節	款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細					
	2	総務費		10	需用費	927 千円	電気料700千円、水道料227千円				
12				委託料	778 千円	観月台公園管理500千円、除草等業務278千円					
14	工事請負費	1,847 千円	水車・トイレ撤去工事								
1	総務管理費				千円						
					千円						
5	財産管理費				千円						
					千円						

事業の目的	町民の活動の場、憩いの場として観月台公園の維持・管理を行う。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公園の遊具や柵の点検整備し安全性を確保する。 ■ 樹木等の選定・伐採を実施し、景観の向上に努める。
事業の成果	使用不可となっていた北側トイレ、水車の撤去を行った。令和4年3月の震災により一部使用が不可となっている。
次年度以降の見込み	ため池周辺の木柵、樹木等の伐採による安全・安心面の向上させ、都市公園化を目指す。

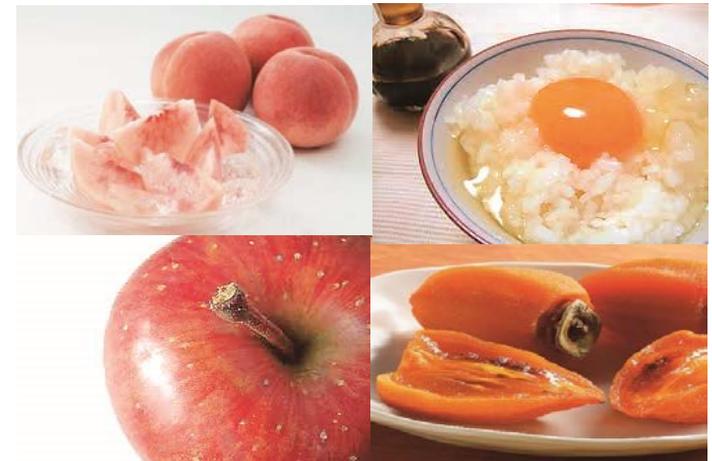


総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	1	持続可能な行政運営と情報公開
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	----------------

前年度 決算額	239,240 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	△ 121,720 千円	金額	117,520 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	117,520 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
増減率	△ 50.9 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %			
本年度 最終予算額	128,584 千円	特定財源の名称								■財産収入 47千円 ■寄付金 95,104千円 ■繰入金 22,369千円			
執行率	91.40 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	7	報償費	32 千円		
		11	役務費	5,029 千円	決済手数料	
項	項名称	12	委託料	66,783 千円	ふるさと納税業務委託料（返礼品代、発送代行料、送料等）	
1	総務管理費	13	使用料及び賃借料	2,333 千円	決済等管理システム使用料	
		24	積立金	43,343 千円	ふるさと振興基金積立金、利子	
目	目名称			千円		
8	企画費			千円		
				千円		

事業の目的	ふるさと納税を通して、自主財源の確保に努めるとともに、国見町の特産品及び魅力を全国に幅広く発信する。
事業の概要	寄付者が応援したい自治体に対して寄付ができる制度。寄付金のうち2,000円を超える部分について所得税の還付、住民税の控除が受けられる。寄付者自身が使い道を指定でき、地域の名産品などの返礼品を受け取ることができる。
事業の成果	令和2年度寄付金額実績 164,525千円 寄付者数10,015人 令和3年度寄付金額実績 95104千円 寄付者数 5,558人
次年度以降の見込み	返礼品の拡充を図るとともに、更なるリピーターの確保及び企業版ふるさと納税への取組。



令和3年度「選挙管理委員会事務事業」の成果

決算書頁 42頁

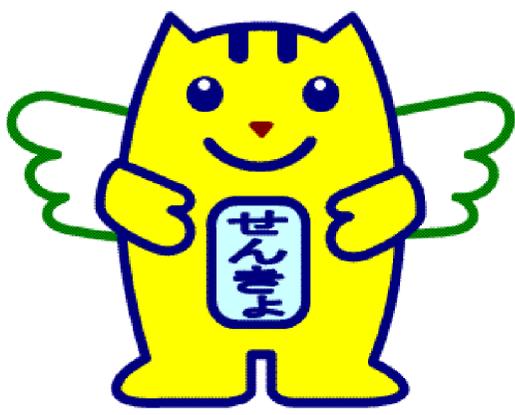
所管課名 総務課

所管係名 庶務係

総合計画	目標	5 相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1 身近で信頼されるまち	施策名	1 持続可能な行財政運営
------	----	-------------------	-----	--------------	-----	--------------

前年度 決算額	621 千円	決算額		特定財源								一般財源	
増減額	4 千円	金額	625 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	千円	625 千円	
増減率	0.6 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %			
本年度 最終予算額	630 千円	特定財源の名称											
執行率	99.21 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	1	報酬	615 千円	委員報酬（委員長171千円、委員3人444千円）	
		10	需用費	7 千円	消耗品（月刊「選挙」、参考図書）	
	18	負担金補助及び交付金	3 千円	福島県選挙管理委員会連合会負担金		
4	選挙費			千円		
				千円		
				千円		
1	選挙管理委員会費			千円		
				千円		

事業の目的	公正中立な立場で選挙を管理執行する。	
事業の概要	選挙管理委員会の運営（各種選挙の管理執行、選挙人名簿の調製、選挙啓発、裁判員候補者予定者・検察審査員候補者の選定）	
事業の成果	選挙管理委員会の適正な管理のもとで、衆議院議員総選挙を円滑な運営が図られた。	
次年度以降の見込み	次年度以降も引き続き、適正な管理運営に努める。	

令和3年度「選挙啓発事業」の成果

決算書頁 42～43頁

所管課名 総務課

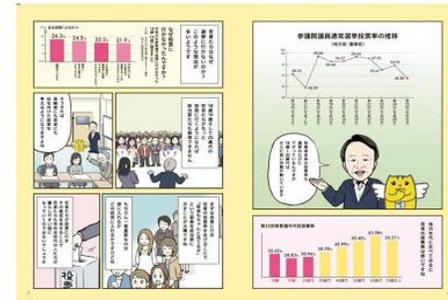
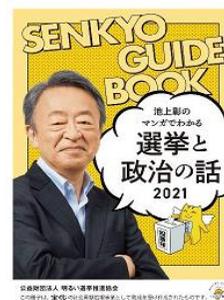
所管係名 庶務係

総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	1	持続可能な行財政運営
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	------------

前年度 決算額	54 千円	決算額		特定財源								一般財源	
増減額	△ 2 千円	金額	52 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	千円	52 千円	
増減率	△ 3.7 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %			
本年度 最終予算額	54 千円	特定財源の名称											
執行率	96.30 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	7	報償費	30 千円	報償金（選挙啓発協力（町内会連絡協議会））	
		10	需用費	22 千円	消耗品費（成人式用啓発資材、新有権者啓発資材）	
項	項名称			千円		
4	選挙費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
2	選挙啓発費			千円		
				千円		

事業の目的	有権者の積極的な政治参加を促し、明るい選挙を実現する。
事業の概要	若年層をはじめとする有権者に対する選挙啓発及び選挙制度の周知広報
事業の成果	前回衆院選と比較し、投票率の向上が図られた（+2.79ポイント）。
次年度以降の見込み	次年度以降も引き続き、常時啓発活動に努める。



令和3年度「選挙啓発事業」の成果

決算書頁 43頁

所管課名 総務課

所管係名 庶務係

総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	1	持続可能な行財政運営
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	------------

前年度 決算額	0 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	6,138 千円	金額	6,138 千円		千円	6,135 千円	千円		千円		千円	3 千円	
増減率	皆増 %	構成率	100.0 %		0.0 %	100.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %	
本年度 最終予算額	6,142 千円	特定財源の名称				衆議院議員選挙委託 金							
執行率	99.93 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	1	報酬	627 千円	非常勤職員報酬（投開票管理者196千円、投開票立会人431千円）	
		3	職員手当等	3,092 千円	超過勤務手当3,038千円、管理職特別勤務手当54千円	
7	報償費	261 千円	ポスター掲示板謝礼27千円、報償234千円			
4	選挙費	10	需用費	660 千円	消耗品費（ポスター掲示板購入等）434千円、印刷製本費（入場券印刷）226千円	
		11	役務費	684 千円	郵便料499千円、広告料22千円、機器点検163千円	
12	委託料	682 千円	ポスター掲示板設置撤去等334千円、選挙システム132千円、分類機稼働支援等216千円			
3	衆議院議員選挙費	13	使用料及び賃借料	132 千円	投票用パソコンリース	
				千円		

事業の目的	令和3年10月14日解散に伴う衆議院議員総選挙の適正な管理執行	
事業の概要	当日投開票事務、期日前投票事務、選挙啓発、その他の選挙管理事務	
事業の成果	適正な選挙事務の執行と投票率の向上により、公正公平な選挙を実現した。	
次年度以降の見込み	令和7年に任期満了による選挙執行を予定	

令和3年度「総合計画推進事業」の成果

決算書頁 35～36頁

所管課名 企画調整課

所管係名 総合政策係

総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	1	持続可能な行財政運営
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	------------

前年度 決算額	270 千円	決算額				特定財源						一般財源	
		金額	1,557 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,557 千円	千円	
増減率	476.7 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	%	%	
本年度 最終予算額	1,634 千円	特定財源の名称											
執行率	95.29 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	1	報酬	242 千円	総合計画審議会2回開催（委員21名）	
		8	旅費	2 千円	委員費用弁償	
		10	需用費	1,313 千円	消耗品費2千円、総合計画印刷製本1,311千円	
1	総務管理費			千円		
目	目名称			千円		
8	企画費			千円		

事業の目的	総合計画、地方創生総合戦略の進行管理を行い、計画の着実な執行を図る。
事業の概要	第6次国見町総合計画の進行管理のため審議会の開催、総合計画の印刷製本を実施した。
事業の成果	審議会を開催し、総合計画の進捗について検討、検証を行うことができた。 総合計画を町内全世帯へ配布し、計画を周知することができた。
次年度以降の見込み	総合計画終了年度に向けて、引き続き進行管理を行う。



令和3年度「まちづくり推進事業」の成果

決算書頁 36～37頁

所管課名 企画調整課

所管係名 総合政策係

総合計画	目標	6	町として生きるまちづくり	政策名	1	力をあわせてつくるまち	施策名	1	協働のまちづくりの推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	6,208 千円	決算額		特定財源							
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他	
増減額	△ 1,931 千円	金額	4,277 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	4,277 千円	
増減率	△ 31.1 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	
本年度 最終予算額	4,529 千円	特定財源の名称									
執行率	94.44 %										

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	8	旅費	1 千円	普通旅費	
		10	需用費	78 千円	消耗品費	
項	項名称	11	役務費	63 千円	広告料33千円、手数料(クリーニング)30千円	
1	総務管理費	18	負担金補助 及び交付金	4,135 千円	まちづくり推進協議会	
				千円		
目	目名称			千円		
8	企画費			千円		
				千円		

事業の目的	地域づくり・地域活性化に関する事業の支援を行うことで、国見町全体の活性化を主な目的とする。
事業の概要	①まちづくり推進協議会事業：希望の光プロジェクト2021助成、ふくしまの元気！応援CM大賞助成、ビッグツリー・イルミネーション助成、地域コミュニティ育成（小坂まちづくり、大木戸歴史むらづくり）、町フォトコンテスト実施 ※義経まつりはコロナのため中止 ②くにみもたんクリーニング他
事業の成果	各種事業について、コロナ禍により一部事業規模を縮小しながらもまちづくりの取組みを実施することができた。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。



令和3年度「定住化促進総合対策事業」の成果

決算書頁 35～37頁

所管課名 企画調整課

所管係名 総合政策係

総合計画	目標	6	町として生きるまちづくり	政策名	2	人が集まりまた来なくなるまち	施策名	2	移住定住と関係人口創出
------	----	---	--------------	-----	---	----------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	589 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	13,577 千円	金額	14,166 千円	0 千円	7,380 千円	0 千円	2,640 千円	4,146 千円				
増減率	2,305.1 %	構成率	100.0 %	0.0 %	52.1 %	0.0 %	18.6 %	29.3 %				
本年度 最終予算額	14,679 千円	特定財源の名称		地域創生総合支援事業6,930千円、移住支援金給付事業450千円				みらいを描く市町村等支援事業2,640千円				
執行率	96.51 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	7	報償費	57 千円	UIターン定住新築奨励金	
		10	需用費	30 千円	印刷製本費	
項	項名称	12	委託料	13,199 千円	プロモーションビデオ制作3,959千円、公民連携による産業再生事業アドバイザー（リノベーションまちづくり）9,240千円	
1	総務管理費	18	負担金補助及び交付金	880 千円	福島圏域移住定住協議会負担金22千円、移住支援金給付補助金600千円、宅地購入資金利子補給258千円	
目	目名称					
8	企画費					

事業の目的	移住、定住の拡大により町の活性化を図る。
事業の概要	①新築奨励金、移住支援金、宅地購入利子補給など移住対策として各種補助を行った。 ②リノベーションまちづくりの手法による産業振興を目的とした遊休不動産（大坂住宅）の活用企画・設計を実施した。 ③二拠点居住者等をターゲットに、ショートムービー「ふたつの空と」を制作した。
事業の成果	各種事業により移住、定住者の確保に向けた取組みを行った。 リノベーションまちづくりによるエリア価値向上を目指す取り組み、シティプロモーションによる関係人口の増加、本町の魅力のPRを実施した。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。



総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	2	生きる力をはぐくむまち	施策名	2	地域とともにある教育
------	----	---	--------------	-----	---	-------------	-----	---	------------

前年度 決算額	7,456 千円	決算額		特定財源							
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他	
増減額	△ 490 千円	金額	6,966 千円	3,473 千円	0 千円	3,493 千円					
増減率	△ 6.6 %	構成率	100.0 %	49.9 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	50.1 %	
本年度 最終予算額	7,522 千円	特定財源の名称		地方創生推進交付金							
執行率	92.61 %										

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	10	消耗品費	19 千円	消耗品費7千円、印刷製本費12千円	
		12	委託料	6,947 千円	エリアデザインラボ880千円、クミノマド2,800千円、公営塾探求授業プロジェクト3,267千円	
項	項名称			千円		
1	総務管理費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
8	企画費			千円		
				千円		

事業の目的	復興、新しいまちづくりの担い手となる地元の高校生、大学生などを対象とした新しい交流・学びの場(ホイスコーレ)づくりに取り組み、人材育成とともに若者の移住定住を促進する。
事業の概要	若者のまちづくりへの参画の機会やチャレンジのきっかけを創出し、若者が<当事者>として考え実践する、地域のまちづくり人材育成プロジェクトの「エリアデザインラボ」、「クミノマド」、「公営塾探求授業プロジェクト」を実施した。
事業の成果	まちづくりへの参画や人材育成により、地域で交流・学び合う機会を活用した若者による地域活性化が図られた。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。



まちづくりについて考える「エリアデザインラボ」

令和3年度「交流連携推進事業」の成果

決算書頁 35～37頁

所管課名 企画調整課

所管係名 総合政策係

総合計画	目標	6	町として生きるまちづくり	政策名	2	人が集まりまた来たくなるまち	施策名	1	交流連携の推進
------	----	---	--------------	-----	---	----------------	-----	---	---------

前年度 決算額	1,702 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額	22,403 千円	10,000 千円	0 千円	0 千円	2,200 千円	10,203 千円				
増減額	20,701 千円	金額	22,403 千円	10,000 千円	0 千円	0 千円	2,200 千円	10,203 千円				
増減率	1,216.3 %	構成率	100.0 %	44.6 %	0.0 %	0.0 %	9.8 %	45.5 %				
本年度 最終予算額	22,794 千円	特定財源の名称		地方創生推進交付金				コミュニティ助成金 2,200千円				
執行率	98.28 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	7	報償費	21 千円	日本語教室講師	
		8	旅費	3 千円	費用弁償	
		10	需用費	11 千円	消耗品費3千円、印刷製本8千円	
1	総務管理費	12	委託料	20,000 千円	官民コンソーシアム創出20,000千円	
		18	負担金補助及び交付金	2,368 千円	国際交流協会10千円、地域活性化センター80千円、福島圏域連携推進協議会78千円、コミュニティ助成2,200千円	
目	目名称			千円		
8	企画費			千円		
				千円		

事業の目的	民間事業者、大学、金融機関、首都圏などと相互に緊密に連携することにより、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進し、地域の経済活性化及び住民の福祉の増進に資することを目的とする。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者との連携によってコンソーシアム（共同体）を創出し、地域の課題解決やビジネス化を目的とした国見町官民共創プラットフォームKUPUCO（カプコ）を設立。 ・外国人向け日本語教室を2回開催。徳江北町内会でコミュニティ助成補助を活用し地域活性化事業備品を購入。大学、金融機関連携はコロナにより中止。
事業の成果	官民、地域などとの連携により一定の交流連携の拡大、意識の醸成が図られた。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。



外国人向け日本語教室「にほんごこんにちは」

令和3年度「地域おこし協力隊活動事業」の成果

決算書頁 35～36頁

所管課名 企画調整課

所管係名 総合政策係

総合計画	目標	6	町として生きるまちづくり	政策名	2	人が集まりまた来なくなるまち	施策名	2	移住定住と関係人口創出
------	----	---	--------------	-----	---	----------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	22,202 千円	決算額		特定財源								一般財源	
増減額	5,791 千円	金額	27,993 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	27,993 千円		千円
増減率	26.1 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %			0.0 %	
本年度 最終予算額	28,321 千円	特定財源の名称										●地方交付税（特別交付税）	
執行率	98.84 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	1	報酬	13,402 千円	地域おこし協力隊報酬7名	
		3	手当	1,972 千円	期末手当7名	
		12	委託料	12,452 千円	活動支援10,472千円、採用委託1,980千円	
1	総務管理費	13	使用料及び賃借料	167 千円	公用車リース	
				千円		
	目			千円		
8	企画費			千円		
				千円		

事業の目的	一定期間(最大3年間)、地域に居住して、「地域協力活動」を行いながら、その地域の活性化を図る。	 <p>収穫体験に参加する桃の木オーナー</p>
事業の概要	協力隊の活動として、町が運営する公営塾「放課後ハル」、関係人口創出事業「クニミノマド」、農家販売促進事業として農産物のインターネット販売などを実施した。	
事業の成果	①放課後塾ハル：小・中学生への集団授業・テーマ学習 三好・佐藤・矢部・逢坂・田邊 ②クニミノマド：1本の木を複数人でシェアする桃の木オーナー制度 岡野 ③農家販売促進：女性生産グループによる野菜・果物のインターネット販売 田上	
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。	

令和3年度「情報管理事業」の成果

決算書頁 38～39頁

所管課名 企画調整課

所管係名 総合政策係

総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	1	持続可能な行財政運営
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	------------

前年度 決算額	92,404 千円	決算額		特定財源							
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他	
増減額	△ 11,048 千円	金額	81,356 千円	7,458 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	73,898 千円	
増減率	△ 12.0 %	構成率	100.0 %	9.2 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	90.8 %	
本年度 最終予算額	81,598 千円	特定財源の名称		番号システム720、マイ ナポイント5,082、地方 創生臨時交付金1,656							
執行率	99.70 %										

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細	
					金額	内容
2	総務費	10	需用費	6,863 千円	トナーほか消耗品費406千円、システム帳票製本印刷費5,185千円、プリンタ・トナー修繕料1,272千円	
		11	役務費	4,990 千円	回線使用料4,860千円、火災保険料130千円	
項	項名称	12	委託料	54,552 千円	イントラ保守21,901千円、総合行政保守29,923千円、番号法保守2,728千円	
1	総務管理費	13	使用料及び賃借料	8,434 千円	電力柱113千円、NTT柱336千円、総合行政システム7,985千円	
		14	工事請負費	1,971 千円	光ケーブル支障移転2件	
目	目名称	17	備品購入費	625 千円	ノートパソコン3台、ファイアウォール、WEB会議機器（スピーカー、カメラ等）	
9	情報管理費	18	負担金及び交付金	3,921 千円	ICT協議会7千円、地方公共団体情報システム機構45千円、中間サーバ2,815千円、セキュリティクラウド1,054千円	
				千円		

事業の目的	職員が業務上使用する端末・システムの整備管理することにより、行政情報の安全、適正な保護を図る。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹系システム保守管理、庁内ネットワークの保守管理、業務利用端末の購入、回線使用料支払、福島県セキュリティクラウド利用料等の支払などを行った。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、分散勤務、WEB会議、テレワークに対応するための環境整備を行った。 	
事業の成果	職員が業務上使用する端末及びシステムを集中管理及び更新を行ったことで、効率的な業務執行ができた。それによって、住民に満足してもらえるサービスを提供することができた。	
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。	

令和3年度「歴史まちづくり事業」の成果

決算書頁 39頁

所管課名 企画調整課
所管係名 地域振興係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）	施策名	4	歴史まちづくりの推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------------	-----	---	------------

前年度 決算額	650 千円	決算額		特定財源								一般財源	
増減額	2,481 千円	金額	3,131 千円	国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減率	381.7 %	構成率	100.0 %	1,485 千円	千円	千円	千円	千円	1,485 千円	千円	161 千円	千円	
本年度 最終予算額	3,553 千円	特定財源の名称		●福島再生加速化交付金						●震災復興特別交付金			
執行率	88.12 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	8	旅費	1 千円	講習会旅費	
		10	需用費	31 千円	事務消耗品	
項	項名称	12	委託料	3,099 千円	歴史まちづくりフォーラム事業（あつかし歴史館分）129千円、国見町魅力向上発信業務（音旅）2,970千円	
1	総務管理費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
10	歴史まちづくり推進費			千円		
				千円		

事業の目的	国見町歴史的風致維持向上計画に基づく「歴史を活かしたまちづくり」への町民意識の醸成・啓蒙活動・調査研究・情報発信に寄与する事業を実施するもの	<p>◀ 国見町のスポット</p>  <p>歴史施設音声ガイド「音旅」</p>
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 国見町魅力向上発信業務委託：歴史施設音声ガイド「音旅」の情報発信（福島再生加速化交付金事業） 歴史まちづくりフォーラム事業：文化財施設の啓蒙活動イベント 	
事業の成果	阿津賀志山防塁等、国見町を代表する歴史資源を活用したイベントを開催することで、住民参画による歴史まちづくりの実践及び町内外への「歴史のまち国見」の啓蒙が図られる。	
次年度以降の見込み	事業の費用対効果を見極めながら、来年度以降も国見町の歴史を町内外に発信していくための事業を実施する。	

令和3年度「歴史公園推進事業」の成果

決算書頁 39頁

所管課名 企画調整課

所管係名 地域振興係

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	3	環境に優しいまち（生活環境）	施策名	2	公園緑地と景観の保全
------	----	---	----------------	-----	---	----------------	-----	---	------------

前年度 決算額	5,188 千円	決算額		特定財源								一般財源
増減額	△ 83 千円	金額	5,105 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	1,119 千円	3,986 千円
増減率	△ 1.6 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	21.9 %	78.1 %			
本年度 最終予算額	4,915 千円	特定財源の名称										●みらいを描く市町村等支援事業助成金
執行率	103.87 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細							
2	総務費	10	需用費	488 千円	水道光熱費146千円、事務消耗品133千円、パンフレット印刷209千円							
		11	役務費	59 千円	浄化槽検査手数料15千円、建物災害共済44千円							
項	項名称	12	委託料	4,063 千円	浄化槽管理委託92千円、施設管理委託1,802千円、式典業務490千円、中尊寺蓮PR事業1,679千円							
1	総務管理費	14	工事請負費	495 千円	支障木伐根248千円、ポンプ用電源121千円 その他工事126千円							
				千円								
目	目名称			千円								
10	歴史まちづくり推進費			千円								
				千円								

事業の目的	あつかし千年公園の施設等について安定した維持管理等を行う。 また、公園等の周知・活用のため各種イベントを開催する。
事業の概要	・あつかし千年公園の施設等に係る維持管理経費（水道光熱費、維持管理委託等） ・あつかし千年公園活用事業
事業の成果	・公園の安定した運営管理及び来場者への利便性の向上等が図られた。 ・公園および町内の歴史文化資源の周知啓発が図られるとともに、公園の活用が推進された。
次年度以降の見込み	継続実施。



くにも蓮まつり2021

令和3年度「統計調査事業」の成果

決算書頁 43～44頁

所管課名 企画調整課

所管係名 総合政策係

総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	1	持続可能な行財政運営
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	------------

前年度 決算額	4,962 千円	決算額		特定財源						一般財源		
増減額	△ 4,697 千円	金額	265 千円	国庫支出金	239 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	26 千円
増減率	△ 94.7 %	構成率	100.0 %		90.2 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %	9.8 %
本年度 最終予算額	346 千円	特定財源の名称		統計調査交付金								
執行率	76.59 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	1	報酬	209 千円	統計調査員報酬209千円	
		10	需用費	10 千円	消耗品費	
項	項名称	11	役務費	20 千円	郵便料10千円、電話料10千円	
5	統計調査費	18	負担金補助 及び交付金	26 千円	町統計調査員協議会育成補助	
				千円		
目	目名称			千円		
1	統計調査総務費			千円		
2	各種統計調査費			千円		

事業の目的	各種統計の作成及び各種活動等の実態を明らかにし、各種事業の基礎資料とすること。
事業の概要	各種統計調査を実施した。 (令和3年度：福島県現住人口調査、学校基本調査、経済センサス活動調査)
事業の成果	統計調査員（のべ5名）の協力により上記調査を完了した。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。



令和3年度「文化財保存事業」の成果

決算書頁 96～97頁

所管課名 企画調整課

所管係名 地域振興係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）	施策名	4	歴史まちづくりの推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------------	-----	---	------------

前年度 決算額	15,602 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	△ 9,952 千円	金額	5,650 千円		千円		千円		千円		千円	5,650 千円	
増減率	△ 63.8 %	構成率	100.0 %	0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %		100.0 %	
本年度 最終予算額	5,574 千円	特定財源の名称											
執行率	101.36 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細								
款 項 目 節	10	教育費	1	報酬	67 千円	文化財保護審議会							
			7	報償費	41 千円	指定文化財等管理							
	5	社会教育費	8	旅費	36 千円	委員費用弁償							
			10	需用費	258 千円	事務消耗品165千円、光熱水費30千円、燃料費63千円、							
			12	委託料	3,175 千円	阿津賀志山防塁管理2,049千円、藤田城跡公園樹木剪定616千円、松田家住宅国登録申請254千円、旧佐藤家住宅燻蒸169千円、藤田城跡除草87千円							
			13	使用料及び賃借料	106 千円	コピー機借上料							
	5	文化財保護費	14	工事請負費	178 千円	防塁案内標示板撤去							
			18	負担金補助及び交付金	1,789 千円	文化財保存事業補助金 3件1,655千円、文化団体育成事業補助金 2件98千円、負担金36千円、							

事業の目的	国見町の歴史・伝統ある文化財施設に係る価値や修景について保存を行うもの。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会の開催 ・阿津賀志山防塁等の管理委託 ・指定文化財等の補助
事業の成果	文化財に係る保存事業を行うことで、国見町の魅力ある歴史資源について持続することができた。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続



有形文化財の国登録予定の「松田家住宅」

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）	施策名	4	歴史まちづくりの推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------------	-----	---	------------

前年度 決算額	5,044 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	1,193 千円	金額	6,237 千円	3,120 千円		千円	2,800 千円		千円	317 千円			
増減率	23.7 %	構成率	100.0 %	50.0 %		0.0 %	44.9 %		0.0 %	5.1 %			
本年度 最終予算額	6,240 千円	特定財源の名称		●歴史活き活き！史跡等総合活用				●史跡等総合活用整備事業債					
執行率	99.95 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
10	教育費	7	報償費	41 千円	整備指導委員報償	
		8	旅費	89 千円	整備指導委員費用弁償	
項	項名称	14	工事請負費	6,107 千円	阿津賀志山防塁下二重堀地区史跡整備工事	
5	社会教育費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
5	文化財保護費			千円		
				千円		

事業の目的	阿津賀志山防塁下二重堀地区の史跡整備計画を進め、史跡整備・周辺整備を行う。
事業の概要	①阿津賀志山防塁下二重堀地区（C地区）の整備工事 ②整備指導委員会の開催
事業の成果	蓮池園地等の周辺整備により、便益性向上と道の駅からの周遊性向上による、観光拠点の形成
次年度以降の見込み	令和4年度 阿津賀志山防塁下二重堀地区の案内看板整備史跡整備報告書の作成



阿津賀志山防塁下二重堀地区と蓮池の現況

令和3年度「町内遺跡発掘事業」の成果

決算書頁 96～97頁

所管課名 企画調整課

所管係名 地域振興係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）	施策名	4	歴史まちづくりの推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------------	-----	---	------------

前年度 決算額	5,510 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	△ 2,133 千円	金額	3,377 千円	2,321 千円								1,056 千円	
増減率	△ 38.7 %	構成率	100.0 %	68.7 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %		31.3 %	
本年度 最終予算額	4,237 千円	特定財源の名称		●町内遺跡発掘事業									
執行率	79.70 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細								
款 項 目 節	10	教育費	10	需用費	734 千円	消耗品110千円、調査報告印刷製本費624千円							
			12	委託料	2,198 千円	阿津賀志山防塁26次調査委託1,040千円、発掘作業623千円、出土遺物保存440千円、調査委託95千円							
	項	項名称	13	使用料及び賃借料	445 千円	発掘調査機材借上料396千円、車両借上料49千円							
	5	社会教育費			千円								
	目	目名称			千円								
	5	文化財保護費			千円								

事業の目的	遺跡範囲確認および内容確認のための調査事業と、出土遺物の整理事業を行い、町内遺跡の保存と活用を図り、開発と保護の調和に備えた情報を得る。
事業の概要	開発に伴う町内遺跡の試掘調査：1件（鹿島遺跡） 史跡整備に伴う調査：1件（阿津賀志山防塁）
事業の成果	町内遺跡の保存と開発の調和を図り、適切な保護行政を実施した。
次年度以降の見込み	次年度以降も各種開発対応、遺跡保護・整備のために事業を継続



史跡整備に伴う阿津賀志山防塁発掘調査

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）	施策名	4	歴史まちづくりの推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------------	-----	---	------------

前年度 決算額	7,514 千円	決算額				特定財源						一般財源	
増減額	176 千円	金額	7,690 千円	千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	千円	7,690 千円
増減率	2.3 %	構成率	100.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %		100.0 %
本年度 最終予算額	7,389 千円	特定財源の名称											
執行率	104.07 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
10	教育費	1	報酬	3,678 千円	会計年度任用職員報酬（3人）	
		3	職員手当等	702 千円	会計年度任用職員期末手当（3人）	
7	報償費		660 千円	サポーター謝礼		
5	社会教育費	8	旅費	119 千円	管理運営委員費用弁償、会計年度任用職員通勤手当	
		10	需用費	570 千円	事務消耗品15千円、光熱水費357千円、歴史館パンフレット増刷198千円	
11	役務費		178 千円	電話料70千円、浄化槽検査料10千円、建物災害共済86千円、安全保険料12千円		
5	文化財保護費	12	委託料	474 千円	消防設備点検55千円、浄化槽管理委託123千円、警備業務296千円	
		13	使用料及び賃借料	594 千円	公用車594千円	
		14	工事請負費	715 千円	貯水タンク撤去防水工事715千円	

事業の目的	国見町文化財センター「あつかし歴史館」の適切な管理と、地域住民と連携した運営により、国見町の歴史・文化の魅力と情報発信を図る。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理（法定点検・光熱水費） 収蔵資料整理作業・常設・特設展示品の充実 あつかし歴史館サポーターによる案内
事業の成果	歴史文化遺産の収蔵・研究・情報発信を行うことで歴史館の魅力が向上し、来館者増加することで、国見町の理解が深まった。（R3年度開館日数296日、来館者数1,886人） 地域の拠り所であった小学校跡地として親しみのある開かれた施設として、維持管理がなされた。
次年度以降の見込み	維持管理、運営事業の継続



国見小学校フィールドワーク

令和3年度「課税管理事務」の成果

決算書頁 40～41頁

所管課名 税務課

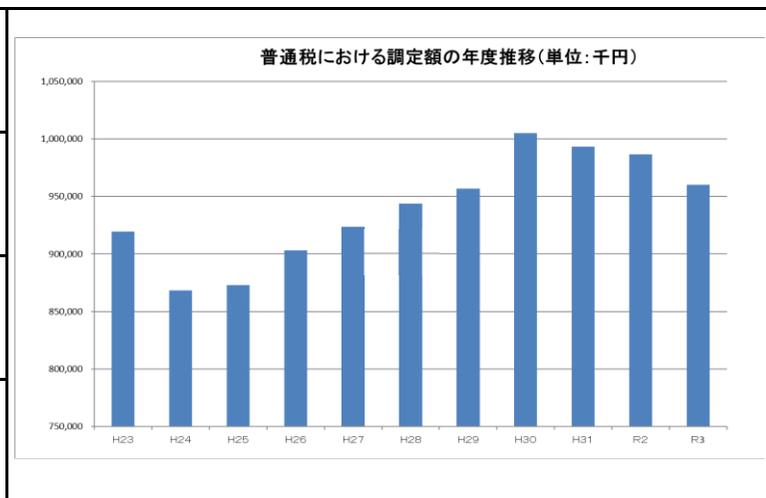
所管係名 課税係

総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	1	持続可能な行財政運営
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	------------

前年度 決算額	25,722 千円	決算額		特定財源								一般財源	
増減額	△ 20,191 千円	金額	5,531 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	千円	5,531 千円	
増減率	△ 78.5 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %			
本年度 最終予算額	6,391 千円	特定財源の名称											
執行率	86.54 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細								
款 項 目 節	2	総務費	8	旅費	3 千円	旅費（課税事務研修等）							
			10	需用費	730 千円	消耗品費460、燃料費17、対外交渉費0、印刷製本費253							
	11	役務費	306 千円	通信運搬費（申告会場臨時電話料）29、手数料（J-LIS軽自動車検査情報等）277									
	2	徴税費	12	委託料	2,664 千円	委託料（給報等データ入力、土地鑑定評価、電子申告送信システム保守、確定申告受付業務）							
			13	使用料及び賃借料	46 千円	使用料及び賃借料（申告会場用コピー機使用料、申告用携帯電話レンタル料）							
	18	負担金補助及び交付金	45 千円	負担金（資産評価システム研修センター負担金）									
2	賦課徴収費	22	償還金及び割引料	1,737 千円	償還金（町税還付金1,510、返還金207、町税還付加算金20）								
				千円									

事業の目的	法令に基づき、自主財源を確保する。
事業の概要	普通税の町税4税目（町民税（個人、法人）、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税）を対象として、適正な課税を行ない、自主財源の確保を図る。
事業の成果	課税実績としては、現年課税分調定額960,244,611円で、前年対比26,381,269円減(約2.67%減)
次年度以降の見込み	次年度以降も恒久的に継続。



令和3年度「地籍管理事務」の成果

決算書頁 41頁

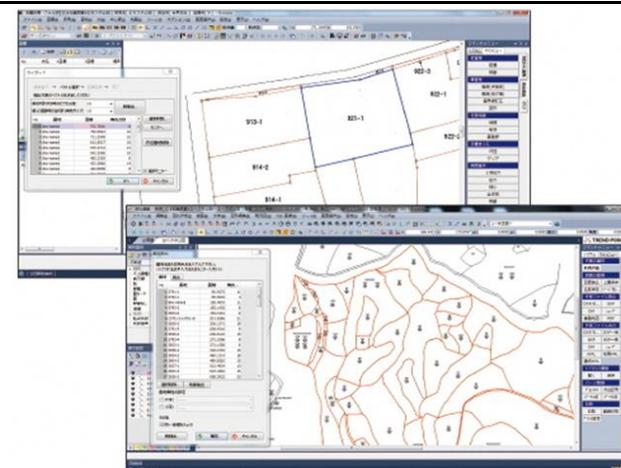
所管課名 税務課
所管係名 課税係

総合計画	目標	2	安全・安心、優しいまちづくり	政策名	2	便利で快適なまち	施策名	1	有効な土地利用
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	---------

前年度 決算額	1,810 千円	決算額		特定財源								一般財源	
増減額	342 千円	金額	2,152 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	千円	2,152 千円	
増減率	18.9 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %			
本年度 最終予算額	2,234 千円	特定財源の名称											
執行率	96.33 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	10	需用費	0 千円	消耗品費	
		12	委託料	701 千円	貝田ほ場整備地図作成539、土地情報管理システム保守162	
項	項名称	13	使用料及び賃借料	1,451 千円	土地情報管理システムリース	
2	徴税費			千円		
目	目名称			千円		
3	地籍管理費			千円		

事業の目的	完了した国土調査事業成果を確実に管理し、社会的インフラの活用に寄与する。
事業の概要	①地籍情報の管理、更新 ②不動産情報の調査 ③システムの維持管理、保守
事業の成果	正確な地籍情報により、土地に対する紛争が減少し、土地の利用や開発又は公正な賦課等を遅滞なく行うことができる。又、諸分野におけるGISシステムの活用を促進し、官民部門の事業効率化が見込める。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。



令和3年度「eLTAX関連事務」の成果

決算書頁 40頁

所管課名 税務課

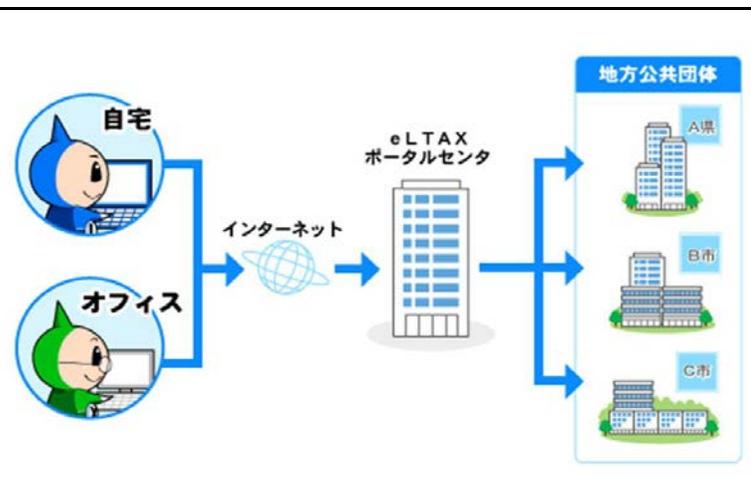
所管係名 課税係

総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	1	持続可能な行財政運営
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	------------

前年度 決算額	3,893 千円	決算額		特定財源								一般財源
増減額	12 千円	金額	3,905 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	千円	3,905 千円
増減率	0.3 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
本年度 最終予算額	3,907 千円	特定財源の名称										
執行率	99.95 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細		
					金額	内容	
款 項 目 節	2 総務費	8	旅費	3 千円	eLTAX研修会		
		12	委託料	3,683 千円	eLTAX運用支援		
	項	項名称	18	負担金補助及び交付金	219 千円	地方税共同機構	
	2	徴税費			千円		
	目	目名称			千円		
	2	賦課徴収費			千円		

事業の目的	地方税における手続きを、インターネットを利用して電子的に行うシステムである「地方税ポータルシステム」の呼称となっている「eLTAX（エルタックス）」により、地方税に関する事務の合理化並びに納税義務及び特別徴収義務者の利便性の向上に寄与する。
事業の概要	・全ての地方公共団体をオンラインで結ぶ地方税ネットワークシステムとして、地方税の電子申告・電子納税、公的年金からの個人住民税の特別徴収や国税連携、給与支払報告書等の電子的提出などのサービスを提供している。
事業の成果	①給与等支払報告書 8,886件/全11,204件=79.31% ②法人町民税申告書 224件/全307件=72.96% ③償却資産申告書 199件/全422件=47.16% ④地方税共通納税システム ・個人町県民税特別徴収831件/全12,380件=6.71% ・法人町民税27件/全292件=9.25%
次年度以降の見込み	・「行政手続の電子化・デジタル化」という社会的要請もあり、今後も、地方税共通納税システムの拡充や電子申告等手続の拡充など、さらなる地方税電子化への取り組みが見込まれている。



令和3年度「収納管理事務」の成果

決算書頁 40頁

所管課名 税務課

所管係名 収納係

総合計画	目標	5 相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1 身近で信頼されるまち	施策名	1 持続可能な行財政運営
------	----	-------------------	-----	--------------	-----	--------------

前年度 決算額	902 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	△ 126 千円	金額	776 千円		千円		千円		千円		575 千円	201 千円	
増減率	△ 14.0 %	構成率	100.0 %	0.0 %		0.0 %		0.0 %		74.1 %	25.9 %		
本年度 最終予算額	1,005 千円	特定財源の名称								延滞金			
執行率	77.21 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
2	総務費	10	需用費	15 千円	消耗品費（納期限一覧表用紙代）	
		11	役務費	761 千円	手数料（コンビニ収納代行業務556、口座振替205）	
項	項名称			千円		
2	徴税費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
2	賦課徴収費			千円		
				千円		

事業の目的	納期内納付を促進し、滞納に陥らないよう早期の対応に努める。
事業の概要	税に対する関心と正しい知識の習得の動機付けを行うとともに、納税しやすい環境を整えることで一層の収納率向上を図る。
事業の成果	個人県民税優良市町村に対する知事感謝状を16回連続受賞。
次年度以降の見込み	納税者の利便性向上を模索しつつ次年度以降も継続して取り組む。

便利な納付方法



令和3年度「滞納管理事務」の成果

決算書頁 40頁

所管課名 税務課

所管係名 収納係

総合計画	目標	5 相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1 身近で信頼されるまち	施策名	1 持続可能な行財政運営
------	----	-------------------	-----	--------------	-----	--------------

前年度 決算額	140 千円	決算額				特定財源						一般財源		
増減額	330 千円	金額	470 千円	千円	千円	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		170 千円
増減率	235.7 %	構成率	100.0 %	%	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	63.8 %	36.2 %	300 千円	36.2 %		
本年度 最終予算額	310 千円	特定財源の名称										雑入（保証金）300		
執行率	151.61 %													

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	8	旅費	1 千円	旅費（滞納整理研修）	
		10	需用費	41 千円	消耗品費41（預貯金調査用紙代、参考図書代）	
	11	役務費	350 千円	手数料（預貯金調査93、債権管理情報利用26、公売システム利用・滞納処分費231）		
	12	委託料		77 千円	滞納者現地調査業務委託77	
			13	使用料及び賃借料	1 千円	研修時駐車料金
2	徴税費					
目	目名称			千円		
2	賦課徴収費			千円		

事業の目的	税の公平性を担保するため、滞納を解消し自主納付を促進する。
事業の概要	早期に納税交渉と財産調査を行うことで滞納原因と担税力を把握するとともに、徴収の緩和制度該当事案については効率的に整理進捗させることで、滞納額の累積化の未然防止と一層の収納率向上を図る。
事業の成果	個人県民税優良市町村に対する知事感謝状を16回連続受賞。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して取り組み滞納繰越額の圧縮を目指す。



令和3年度「交通安全対策事業」の成果

決算書頁 34～35頁

所管課名 住民防災課

所管係名 環境防災係

総合計画	目標	2	安全・安心、優しいまちづくり	政策名	1	安全・安心に暮らせるまち	施策名	3	交通安全・防犯の推進
------	----	---	----------------	-----	---	--------------	-----	---	------------

前年度 決算額	2,388 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	877 千円	金額	3,265 千円	0 千円	1,096 千円	0 千円	20 千円	2,149 千円				
増減率	36.7 %	構成率	100.0 %	0.0 %	33.6 %	0.0 %	0.6 %	65.8 %				
本年度 最終予算額	3,356 千円	特定財源の名称		●交通安全対策特別 交付金				●寄付金				
執行率	97.29 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	1	報酬	1,056 千円	交通安全教育専門員2人（会計年度任用職員報酬）	
		7	報償費	56 千円	新入生児ランドセルカバー19千円、交通安全標語コンクール37千円	
10	需用費	297 千円	交通安全啓発用資材等消耗品203千円、交通標識ポスター代94千円			
1	総務管理費	11	役務費	130 千円	新聞広告料44千円、啓発用看板作製手数料86千円	
		14	工事請負費	1,159 千円	カーブミラー設置等（8箇所）	
18	負担金補助及び交付金	567 千円	各種団体負担金207千円、関係団体補助金360千円			
6	交通安全対策費			千円		
				千円		

事業の目的	交通安全活動の推進により、安全で住みよい街づくりを目指す。
事業の概要	①交通安全の啓発活動により、意識の高揚を図る。 ②関係団体等と連携し、交通安全の推進を図る。 ③カーブミラーの整備により、危険個所の整備を図る。
事業の成果	関係各所と連携し交通安全活動に推進してきた。危険個所等の情報共有を行い、啓発活動等を通して交通安全に寄与している。
次年度以降の見込み	交通事故を1件でも少なくするため、継続的に取り組む。



令和3年度「防犯活動事業」の成果

決算書頁 34～35頁

所管課名 住民防災課

所管係名 環境防災係

総合計画	目標	2	安全・安心、優しいまちづくり	政策名	1	安全・安心に暮らせるまち	施策名	3	交通安全・防犯の推進
------	----	---	----------------	-----	---	--------------	-----	---	------------

前年度 決算額	7,889 千円	決算額		特定財源								一般財源
増減額	6,299 千円	金額	14,188 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	14,188 千円
増減率	79.8 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	
本年度 最終予算額	14,870 千円	特定財源の名称										
執行率	95.41 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細							
2	総務費	10	需用費	6,524 千円	防犯灯電気料4,327千円、防犯灯修繕費2,197千円							
		12	委託料	5,679 千円	安全施設台帳管理システム保守685千円、同システムバージョンアップ4,994千円							
14	工事請負費	1,754 千円	防犯灯新設・建替工事（12箇所）									
1	総務管理費	18	負担金補助及び交付金	231 千円	各種負担金156千円、防犯協会各支部補助金75千円（@15千円×5支部）							
				千円								
	目名称			千円								
6	交通安全対策費			千円								
				千円								

事業の目的	防犯活動の推進により、安全で住みよい街づくりを目指す。
事業の概要	①防犯灯の設置、修繕及び維持管理。 ②安全施設（防犯灯、カーブミラー、消防水利）台帳のシステムによる管理。 ③防犯関係団体への負担金と補助金。
事業の成果	①防犯灯は、安全・安心な街づくりに大いに寄与している。 ②台帳のシステム化により、業務の効率化が図られている。 ③防犯活動の啓発等に、活用されている。
次年度以降の見込み	安全・安心な街づくりに防犯活動は不可欠なため、継続して取り組む。



令和3年度「町内会長事業」の成果

決算書頁 35頁

所管課名 住民防災課

所管係名 環境防災係

総合計画	目標	6	町として生きるまちづくり	政策名	1	力をあわせてつくるまち	施策名	1	協働のまちづくりの推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	10,472 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	2,648 千円	金額	13,120 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	13,120 千円			
増減率	25.3 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %			
本年度 最終予算額	13,574 千円	特定財源の名称											
執行率	96.66 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	7	報償費	11,739 千円	町内会長報償（会長：均等割54,000円・世帯割1,140円）、班長報償（均等割8,000円・世帯割700円）	
		10	需用費	7 千円	会議費（町内会長会議時飲物代）	
	18	負担金補助及び交付金	1,374 千円	町内会長連絡協議会運営補助100千円、町内会集会所改修等補助1,274千円		
1	総務管理費			千円		
	目			千円		
7	自治振興費			千円		

事業の目的	各種行政事務の円滑な実施のため、町内会長を置き、町内会長相互の親睦と地域住民との事務連絡を図るため町内会長連絡協議会を組織する。
事業の概要	町内会長としての見識を高めるための視察研修（コロナ禍により中止） 協議会の運営補助、集会施設改修に対する補助。
事業の成果	町と住民の重要なパイプ役として、行政事務の円滑な実施に寄与している。
次年度以降の見込み	各種行政事務の円滑な実施のため、継続して取り組む。



令和3年度「地域公共交通支援事業」の成果

決算書頁 36～37頁

所管課名 住民防災課

所管係名 環境防災係

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	2	便利で快適なまち	施策名	2	利用しやすい公共交通
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	------------

前年度 決算額	30,074 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	3,452 千円	金額	33,526 千円	0 千円	329 千円	0 千円	29,151 千円	4,046 千円				
増減率	11.5 %	構成率	100.0 %	0.0 %	1.0 %	0.0 %	87.0 %	12.1 %				
本年度 最終予算額	37,230 千円	特定財源の名称		●市町村生活交通対策支援事業				●デマンドタクシー利用料2,722千円、伊達市負担分1,696千円、地方創生推進交付金24,733千円				
執行率	90.05 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	10	需用費	546 千円	藤田総合病院デマンド実証事業ガソリン代406千円、修繕50千円、消耗品45千円、案内チラシ45千円	
		11	役務費	29 千円	藤田総合病院デマンド実証事業端末通信費	
項	項名称	12	委託料	18,536 千円	藤田総合病院デマンド実証事業7,299千円、まちなかタクシー11,237千円	
1	総務管理費	13	使用料及び賃借料	3,412 千円	デマンド実証事業3,258千円、飛沫感染防止車両150千円、JR駐輪場4千円	
		18	負担金補助及び交付金	11,003 千円	まちなかタクシー5,606千円、バス5,372千円、空港16千円、高速4千円、鉄道4千円、港湾1千円	
目	目名称			千円		
8	企画費			千円		
				千円		

事業の目的	地域住民の日常生活に必要な生活交通の確保を図る。
事業の概要	デマンドタクシーは毎週月曜日～金曜日の午前8時30分～午後4時の時間に運行を行った（午前4台・午後2台）。バスは藤田線の運行を行った。
事業の成果	デマンドタクシーは利用者数15,643人(+3,083人)、乗車収入5,241,400円(+925,800円)となった。福島交通バスは利用者数8,641人(△752人)となった。
次年度以降の見込み	バス、デマンドタクシー、病院バスなどの地域公共交通の総合的な運行の見直しを進める。



令和3年度「戸籍事務」の成果

決算書頁 41～42頁

所管課名 住民防災課
 所管係名 戸籍係

総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	1	持続可能な行政運営
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	-----------

前年度 決算額	5,132 千円	決算額				特定財源				一般財源			
		金額		千円		国庫支出金		県支出金				地方債	
増減額	8,370 千円	金額	13,502 千円	千円		千円	16 千円	千円		千円	3,984 千円	千円	9,502 千円
増減率	163.1 %	構成率	100.0 %	%	0.0 %	0.1 %	0.0 %	29.5 %	70.4 %				
本年度 最終予算額	13,559 千円	特定財源の名称				●人口動態調査事務委託金				●使用料及び手数料（戸籍2,174、諸証明43、住基822、印鑑715、臨時運行許可230）			
執行率	99.58 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細	
					金額	千円
2	総務費	8	旅費	0 千円		
		10	需用費	92 千円	消耗品費	
3	戸籍住民基本台帳費	12	委託料	9,911 千円	戸籍システム保守1,716、戸籍副本管理システム保守132、戸籍附票システム改修66、クラウド導入7,997	
		13	使用料及び賃借料	3,235 千円	戸籍システム（ハードウェア1,615、ソフトウェア1,620）賃借	
3	戸籍住民基本台帳費	17	備品購入費	263 千円	契印機	
		18	負担金補助及び交付金	1 千円	福島県戸籍住民基本台帳事務協議会負担金	
1	戸籍住民基本台帳費			千円		
				千円		

事業の目的	・戸籍届出等による身分変動を戸籍簿に記録し、身分関係の公証を行う。
事業の概要	・戸籍届出等の受付・異動処理を行う。戸籍証明書等の公証を迅速に行うため、戸籍システムによる管理を行う。また、緊急時に備え、戸籍簿の副本データをL G W A Nを利用し、国の副本データ管理センターへ日々送信している。また、令和4年度からクラウドサービス導入のためのシステム改修を実施。
事業の成果	・戸籍のシステム化により、戸籍事務の正確化・効率化が図られ、窓口の待ち時間短縮など、住民サービスの向上に繋がる。また、戸籍簿の副本データを国のデータ管理センターに保管することにより、緊急時に備え、万全の体制が図られている。
次年度以降の見込み	・システムを維持管理し、継続して戸籍事務を行う。また戸籍総合システムクラウドサービス開始により緊急時に備えデータ保全の体制を図る。



令和3年度「住民基本台帳事務」の成果

決算書頁 41～42頁

所管課名 住民防災課

所管係名 戸籍係

総合計画	目標	5 相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1 身近で信頼されるまち	施策名	1 持続可能な行政運営
------	----	-------------------	-----	--------------	-----	-------------

前年度 決算額	209 千円	決算額		特定財源								一般財源	
増減額	△ 50 千円	金額	159 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	159 千円	千円	千円
増減率	△ 23.9 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	
本年度 最終予算額	190 千円	特定財源の名称										●使用料及び手数料（住基159）	
執行率	83.68 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	10	需用費	159 千円	消耗品費27、印刷製本費（住民異動届書用紙等）132	
		12	委託料	0 千円	※住民基本台帳及び印鑑登録システム機器保守（企画情報課）	
項	項名称	13	使用料及び賃借料	0 千円	※住民基本台帳及び印鑑登録システム機器使用料及び賃借料（企画情報課）	
3	戸籍住民基本台帳費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
1	戸籍住民基本台帳費			千円		
				千円		

事業の目的	・住民異動届による異動情報を住民基本台帳及び印鑑登録台帳に記録し、住民の居住関係を公証する。
事業の概要	・住民の届出により住民基本台帳に居住関係を記録し公証する。住民基本台帳を基に個人の印鑑を登録し公証する。
事業の成果	・住民基本台帳のシステム化により、事務処理の正確化・効率化が図られ、窓口の待ち時間短縮など、住民サービスの向上に繋がる。
次年度以降の見込み	・システムを維持管理し、継続して住民基本台帳事務を行う。



令和3年度「住民基本台帳ネットワーク事務」の成果

決算書頁 41～42頁

所管課名 住民防災課

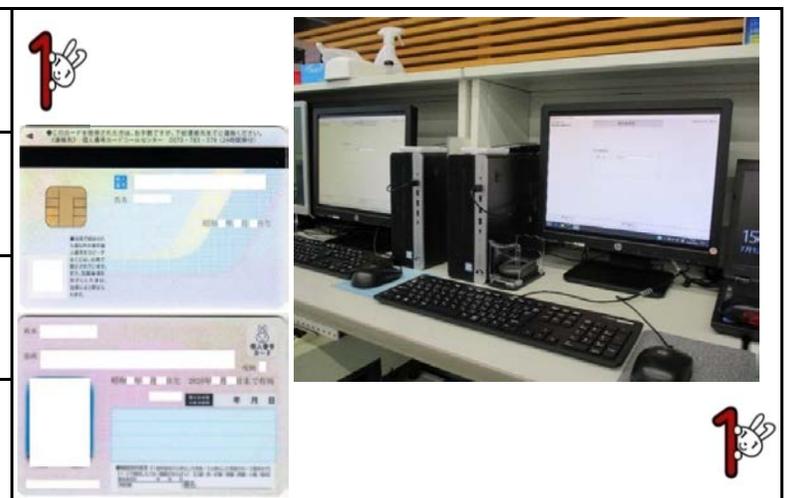
所管係名 戸籍係

総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	1	持続可能な行政運営
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	-----------

前年度 決算額	16,929 千円	決算額				特定財源						一般財源		
		金額	6,760 千円	千円		国庫支出金	6,753 千円	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	7 千円
増減額	△ 10,169 千円	構成率	100.0 %		99.9 %		0.0 %		0.0 %		0.1 %		0.0 %	
増減率	△ 60.1 %													
本年度 最終予算額	9,299 千円	特定財源の名称				●個人番号カード事業費補助金2,892 ●個人番号カード事務費補助金4,244						●使用料及び手数料（カード再発行手数料7）		
執行率	72.70 %													

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	総務費	10	需用費	163 千円	消耗品費137、印刷製本費26	
		11	役務費	200 千円	通信運搬費（マイナンバーカード本人限定受取郵便代（申請時来庁方式））	
	12	委託料	1,747 千円	住基台帳ネットワーク機器保守1,710、裏書印字システム機器保守37		
	13	使用料及び賃借料	1,750 千円	住民基本台帳ネットワーク機器賃借料1,750		
3	戸籍住民基本台帳費	18	負担金補助及び交付金	2,900 千円	通知カード・個人番号カード関連事務の委任に係る事業交付金（J-LIS）	
					※国庫支出金7,136千円中383千円は職員人件費に充当	
1	戸籍住民基本台帳費					

事業の目的	・住民基本台帳、戸籍届出等をもとに、「住民基本台帳ネットワーク」による全国市区町村への住民異動等の通知及び官公庁における本人確認情報の利用に供し、円滑な事務処理を行う。
事業の概要	・市区町村の区域を超えた住民基本台帳事務処理及び国・地方を通じ、各種証明の基礎となる居住関係を公証する。社会保障・税番号制度によるマイナンバーの付番やマイナンバーカードの交付を行う。
事業の成果	・市町村の区域を超えた住民基本台帳に関する事務処理や全国市町村における広域交付住民票の交付など、手続き時間の短縮が図られる。また、マイナンバー制度開始により、各種申請時に必要だった住民票等の添付が不要となるなど、申請手続きの負担が軽減される。
次年度以降の見込み	・システムを維持管理し、継続して住民基本台帳ネットワーク事務を行う。



令和3年度「合併処理浄化槽設置整備事業」の成果

決算書頁 57～58頁

所管課名 住民防災課

所管係名 環境防災係

総合計画	目標	2 安全・安心な優しいまちづくり	政策名	3 環境に優しいまち	施策名	3 上下水道の整備
------	----	------------------	-----	------------	-----	-----------

前年度 決算額	3,754 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額	6,198 千円	1,933 千円	268 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円			
増減額	2,444 千円	金額	6,198 千円	1,933 千円	268 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	3,997 千円		
増減率	65.1 %	構成率	100.0 %	31.2 %	4.3 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	64.5 %			
本年度 最終予算額	6,568 千円	特定財源の名称		●合併処理浄化槽設置整備事業		●合併処理浄化槽整備事業						
執行率	94.37 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
4	衛生費	12	委託料	33 千円	国見町浄化槽台帳管理業務委託	
		18	負担金補助及び交付金	6,165 千円	合併処理浄化槽設置整備事業補助金6,145千円、福島県合併処理浄化槽普及促進協議会会費20千円	
項	項名称			千円		
1	保健衛生費			千円		
目	目名称			千円		
3	環境衛生費			千円		
				千円		

事業の目的	下水道事業計画区域外の公共用水域の水質汚濁防止と生活環境の向上。
事業の概要	国見町に住民登録し、下水道事業計画区域外の個人住宅等で合併処理浄化槽を新たに設置する方に補助金を交付する。補助額：工事費（限度額）【5人槽332千円、7人槽414千円、10人槽548千円】撤去費：30～45千円 宅内配管：限度額300千円（撤去費等は条件あり）
事業の成果	①合併処理浄化槽設置費補助により、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境や公衆衛生の向上を図ることができる。②令和3年度の成果：15基設置【5人槽5基、7人槽10基】
次年度以降の見込み	①循環型社会形成推進地域計画による継続事業。 ②令和4年度は12基の整備を予定。次年度以降も同程度の期数を見込む。



令和3年度「災害廃棄物処理事業」の成果

決算書頁 58頁

所管課名 住民防災課
 所管係名 環境防災係

総合計画	目標	2 安全・安心、優しいまちづくり	政策名	3 環境に優しいまち	施策名	1 循環・再生型社会の実現
------	----	------------------	-----	------------	-----	---------------

前年度 決算額	0 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	70,966 千円	金額	70,966 千円	14,837 千円	0 千円	0 千円	0 千円	11,870 千円	44,259 千円			
増減率	皆増 %	構成率	100.0 %	20.9 %	0.0 %	0.0 %	16.7 %	62.4 %				
本年度 最終予算額	129,556 千円	特定財源の名称		●災害廃棄物処理事業				●特別交付税				
執行率	54.78 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
4	衛生費	14	工事請負費	41,290 千円	公費解体による被災家屋解体3件分	
		19	扶助費	29,676 千円	費用償還による被災家屋解体15件分	
項	項名称			千円		
1	保険衛生費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
3	環境衛生費			千円		
				千円		

事業の目的	令和3年2月13日に発生した福島県沖地震により被災した損壊家屋の解体事業。
事業の概要	災害廃棄物処理事業により、地震で被災した損壊家屋の解体。
事業の成果	①公費解体事業（公費解体・費用償還）申請件数=90件 ②現場における解体完了件数=47件（公費解体分32件・費用償還解体分15件） ③支払完了件数=18件（公費解体分3件・費用償還解体分15件）
次年度以降の見込み	3年度中に解体が未完了の家屋については次年度において解体を実施する（繰越明許）



令和3年度「ごみ減量化対策事業」の成果

決算書頁 60頁

所管課名 住民防災課

所管係名 環境防災係

総合計画	目標	2 安全・安心、優しいまちづくり	政策名	3 環境に優しいまち	施策名	1 循環・再生型社会の実現
------	----	------------------	-----	------------	-----	---------------

前年度 決算額	1,528 千円	決算額				特定財源						一般財源	
増減額	△ 79 千円	金額	1,449 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	202 千円	1,247 千円			
増減率	△ 5.2 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	13.9 %	86.1 %				
本年度 最終予算額	1,887 千円	特定財源の名称				●使用料95千円（一般廃棄物収集運搬許可） 雑入107千円（不燃物収集容器売払）							
執行率	76.79 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
4	衛生費	7	報償費	936 千円	資源ごみ再生化促進事業（約70団体）	
		10	需用費	132 千円	不燃物収集容器（クリーンボックス）	
項	項名称	12	委託料	254 千円	資源ごみ回収業務委託（雑誌・紙パック：4円/kg、段ボール3円/kg）	
2	清掃費	13	使用料及び賃借料	53 千円	使用済小型家電リサイクルボックスセンサーレンタル料	
		18	負担金補助及び交付金	74 千円	ごみ置場改修等補助（約30箇所）	
目	目名称			千円		
3	ごみ減量化対策費			千円		
				千円		

事業の目的	家庭から排出されるごみの減量化とリサイクルの促進。
事業の概要	①家庭ごみの減量化とリサイクル促進のため、リサイクルの日（月1回）に資源ごみの分別収集を行い、資源回収団体に報奨金を交付する事業。②ごみの分別収集に係る不燃物専用容器の購入と啓発用チラシの作成。③ごみ置場の整備に係る補助事業。
事業の成果	①ごみの減量化及び資源化に大きく寄与した。 ②ごみの分別収集もかなり定着している。 ③ごみ置場の環境保持が図られた。
次年度以降の見込み	環境問題の一環として、継続的に取り組む。



令和3年度「消防団運営事業」の成果

決算書頁 77頁

所管課名 住民防災課

所管係名 環境防災係

総合計画	目標	2	安全・安心、優しいまちづくり	政策名	1	安全・安心に暮らせるまち	施策名	2	消防・救急体制の充実
------	----	---	----------------	-----	---	--------------	-----	---	------------

前年度 決算額	21,586 千円	決算額		特定財源								一般財源
増減額	△ 901 千円	金額	20,685 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	20,685 千円
増減率	△ 4.2 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
本年度 最終予算額	24,101 千円	特定財源の名称										
執行率	85.83 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
9	消防費	1	報酬	9,095 千円	団員報酬（条例定数266名）	
		7	報償費	705 千円	団員報奨金（機関団員・訓練指導員・優良団員等）、分団報奨金	
項	項名称	8	旅費	953 千円	費用弁償（定期点検等）	
1	消防費	10	需用費	3,294 千円	消耗品（団員制服等）3,276千円、式典費（初午）18千円	
		11	役務費	6 千円	手数料（クリーニング）2千円、屯所設備点検4千円	
目	目名称	13	使用料及び賃借料	8 千円	自動車借り上げ	
2	非常備消防費	18	負担金補助及び交付金	6,624 千円	災害補償組合負担金等6,599千円、女性防火クラブ補助25千円	
				千円		

事業の目的	国見町消防団の運営。
事業の概要	消防団の運営、活動に関する経費。
事業の成果	消防団活動の維持・推進が図られた。
次年度以降の見込み	町民の生命、身体、財産を守るため、継続して取り組む。



令和3年度「災害対策事業」の成果

決算書頁 78~79頁

所管課名 住民防災課

所管係名 環境防災係

総合計画	目標	2	安全・安心、優しいまちづくり	政策名	1	安全・安心に暮らせるまち	施策名	1	防災と災害時対策の充実
------	----	---	----------------	-----	---	--------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	62,296 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額	7,569 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	7,569 千円	
増減額	△ 54,727 千円	金額	7,569 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	7,569 千円	
増減率	△ 87.8 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
本年度 最終予算額	7,764 千円	特定財源の名称										
執行率	97.49 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
9	消防費	8	旅費	97 千円	普通旅費	
		10	需用費	3,100 千円	消耗品、燃料費、電気料、修繕料	
項	項名称	11	役務費	494 千円	通信運搬費、車検整備手数料、火災保険料、車両保険	
1	消防費	12	委託料	1,611 千円	防災行政無線設備保守点検、戸別受信機設置	
		13	使用料及び賃借料	25 千円	電波使用料	
目	目名称	17	備品購入費	1,078 千円	災害対策用備品（戸別受信機）	
5	災害対策費	18	負担金補助及び交付金	1,139 千円	県総合情報通信ネットワーク事業負担金等、各地区自主防災会連絡協議会補助	
		26	公課費	25 千円	自動車重量税	

事業の目的	災害に対応するための経費。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災行政無線維持管理・県総合情報通信ネットワーク維持管理。 ・ 各地区自主防災会連絡協議会補助金。
事業の成果	災害対応機器の維持、自主防災会の育成に寄与した。
次年度以降の見込み	町の防災体制を強固に維持していくために、継続して取り組む。



令和3年度「国保保険基盤安定負担金事業」の成果

決算書頁 46頁

所管課名 ほけん課

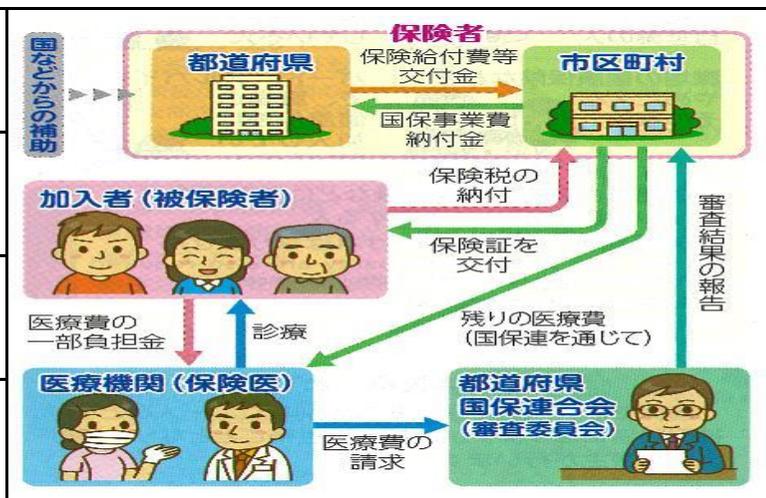
所管係名 国保係

総合計画	目標	1 健やかに暮らせるまちづくり	政策名	1 いつまでの健康に暮らせるまち	施策名	1 地域医療連携の推進
------	----	-----------------	-----	------------------	-----	-------------

前年度 決算額	82,819 千円	決算額		特定財源						一般財源		
増減額	7,891 千円	金額	90,710 千円	国庫支出金	9,552 千円	県支出金	30,562 千円	地方債		その他		50,596 千円
増減率	9.5 %	構成率	100.0 %		10.5 %		33.7 %		0.0 %		0.0 %	55.8 %
本年度 最終予算額	92,556 千円	特定財源の名称		・国民健康保険基盤 安定9,552,789		・保険料軽減分 25,785,875						90,709,667
執行率	98.01 %					・保険者支援分 4,776,394						

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
3	民生費	27	繰出金	90,710 千円	保険基盤安定（保険料軽減分、保険者支援分）、国保事務費等分、財政安定化支援事業分	
				千円		
1	社会福祉費			千円		
				千円		
1	社会福祉総務費			千円		
				千円		

事業の目的	国民健康保険の安定的な運営を図る。
事業の概要	国民健康保険の運営にかかる職員人件費、国保連合会への負担金、国保運営協議会の運営費、国からの国保税軽減分・支援分、財政安定化支援分を国保特別会計に繰り出すもの。
事業の成果	国民健康保険が安定的に運営されている。
次年度以降の見込み	継続実施



令和3年度「高齢者医療事業」の成果

決算書頁 46～48頁

所管課名 ほけん課

所管係名 国保係

総合計画	目標	1	健やかに暮らせるまちづくり	政策名	1	いつまでの健康に暮らせるまち	施策名	1	地域医療連携の推進
------	----	---	---------------	-----	---	----------------	-----	---	-----------

前年度 決算額	165,607 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	△ 10,372 千円	金額	155,235 千円	1,803 千円	24,811 千円	0 千円	9,672 千円	118,949 千円				
増減率	△ 6.3 %	構成率	100.0 %	1.2 %	16.0 %	0.0 %	6.2 %	76.6 %				
本年度 最終予算額	155,298 千円	特定財源の名称		・後期インセンティブ交付金 1,417,088		・後期保険基盤安定事 業24,811,145		高年齢者の保険事業と介 護予防の一体的実施事 業9,672,525				
執行率	99.96 %			・長寿健康増進事業補助金367,012 ・周知広報事業補助金18,937								

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
3	民生費	8	旅費	3 千円	研修会旅費	
		10	需用費	465 千円	パンフレット、指導用教材、消耗品等	
	12	委託料	1,114 千円	データ分析、脳ドック、健康セミナー		
	18	負担金	113,870 千円	後期広域連合への事務費及び医療費分の負担金		
1	社会福祉費	27	繰出金	39,783 千円	後期特別会計への繰出金（事務費、保健事業費、保険基盤安定（保険料軽減）事業分）	
目	目名称			千円		
2	老人福祉費			千円		
				千円		

事業の目的	後期高齢者医療広域連合と町が役割分担して後期高齢者医療制度の安定的な運営を行う。
事業の概要	町は、後期高齢者医療被保険者の被保険者証の交付、保険料の徴収、各種届出や申請の受付、健康診査、高齢者の保険事業と介護予防の一体的実施事業などを行う。
事業の成果	高齢者が安心して医療を受けることができ、健康を維持して生活することができる。
次年度以降の見込み	継続実施



令和3年度「子ども医療関係事業」の成果

決算書頁 51頁

所管課名 ほけん課

所管係名 国保係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	1	安心して子どもを産み育てられるまち	施策名	1	子育て支援の推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------	-----	---	----------

前年度 決算額	25,439 千円	決算額				特定財源						一般財源		
		金額		千円		国庫支出金		県支出金		地方債			その他	
増減額	4,547 千円	金額	29,986	千円		千円	19,349	千円		千円		千円	10,637	千円
増減率	17.9 %	構成率	100.0	%		%	64.5	%		%		0.0	%	35.5 %
本年度 最終予算額	31,402 千円	特定財源の名称				・乳幼児医療費助成事業 1,694,000 ・子どもの医療費助成事業 17,655,308								
執行率	95.49 %													

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	千円
3	民生費	12	委託料	698 千円	子ども医療費助成手数料	
		19	扶助費	26,788 千円	子ども医療費助成	
	項	項名称	27	繰出金	2,501 千円	子ども医療費助成（国保分）国保特会繰出金
2	児童福祉費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
				千円		
1	児童福祉総務費			千円		
				千円		

事業の目的	子どもの医療費の一部を助成することにより、その疾病又は、負傷の治療を促進し、子育て家庭の負担の軽減と子どもの健やかな成長を寄与することを目的とする。
事業の概要	18歳までの子ども（満18歳に達する年度末まで）が病気やケガで医師の診治療を受けたとき、保険診療による一部負担金（2割または3割）と入院時の食事療養費定額負担金を助成し、自己負担を0割とするもの。 （助成するための財源） 県補助 就学前（0歳～6歳） 自己負担額×50%（親の前年所得622万円未満）、 小学4年生～高校3年生（9歳～18歳） 自己負担額×100% 町単独 就学前（0歳～6歳） 自己負担額×50%（県補助所得制限者を含む）、 小学1年生～3年生（6歳～8歳） 自己負担額×100%
事業の成果	助成金額（件数） 29,420,224円（13,202件） うち国保 2,500,585円（1,396件）、うち社保等 26,919,639円（11,838件）
次年度以降の見込み	継続実施



令和3年度「母子保健事業」の成果

決算書頁 55～56頁

所管課名 ほけん課

所管係名 保健係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	1	安心して子どもを産み育てられるまち	施策名	1	子育て支援の推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------	-----	---	----------

前年度 決算額	5,133 千円	決算額		特定財源						一般財源		
増減額	5,087 千円	金額	10,220 千円	国庫支出金	1,646 千円	県支出金	170 千円	地方債	千円	その他	千円	8,404 千円
増減率	99.1 %	構成率	100.0 %		16.1 %		1.7 %		0.0 %		0.0 %	82.2 %
本年度 最終予算額	15,805 千円	特定財源の名称		●児童虐待・DV対策 1,299,000 ●母子衛生費192,000 ●養育医療給付金154,255		●子育て世代包括支援セン ター機能充実事業57,000 ●養育医療給付金112,377						
執行率	64.66 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
4	衛生費	1	報酬	1,967 千円	子ども家庭支援員報酬（総務課）	
		3	職員手当	238 千円	子ども家庭支援員期末手当（総務課）	
項	項名称	4	共済費	339 千円	子ども家庭支援員社会保険料（総務課）	
		7	報償費	639 千円	乳幼児健診医師・援助者報償638,700円	
1	保健衛生費	8	旅費	109 千円	子ども家庭支援員通勤手当（総務課）76,800円、乳幼児健診時援助者等費用弁償31,302円	
		10	需用費	518 千円	消耗品費342,635円（健診パンフレット、エプロン代等）、印刷製本費174,900円（チラシ代）	
1	保健衛生費総務費	11	役務費	493 千円	乳幼児健診医師派遣472,500円、審査手数料18,688円（妊婦健康診査）、特定計量器検査手数料1,400円	
		12	委託料	2,682 千円	3歳児健診71,500円、妊婦健診2,422,450円、新生児聴覚検査187,860円、	
		17	備品購入費	97 千円	乳児健診用体重計96,800円	
		18	担金補助及び交付	2,500 千円	すくすくももさば祝金（新生児誕生祝金）	
		19	扶助費	564 千円	妊婦一般健康診査5,760円、養育医療給付金157,979円、特定不妊治療助成400,000円	
		22	還金利子及び割引	74 千円	母子保健衛生費精算	

事業の目的	切れ目のない一貫した母子保健事業の実施により健やかな子どもの成長を促進する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ニコニコ相談会（保健師講話）</div> 
事業の概要	①母子健康手帳交付（妊娠届受付） ②妊婦健康診査（妊婦16回分+産後1回公費負担） ③乳幼児健診・相談等（3・9か月健診、3歳6か月児健診、思春期体験講座等） ④養育医療給付事業（未熟児の入院費公費助成） ⑤産後ケア（宿泊・日帰り） ⑥子ども家庭総合支援拠点事業 ⑦不妊医療費助成事業	
事業の成果	●妊娠届24件 ●妊婦健康診査（妊婦延295件、産後22件） ●3か月児健診21人、9か月児健診27人、1歳6か月児健診28人、3歳6か月児健診37人、思春期体験講座4人 ●新生児聴覚検査延24人	
次年度以降の見込み	継続実施	

令和3年度「健康づくり推進事業」の成果

決算書頁 55頁

所管課名 ほけん課

所管係名 保健係

総合計画	目標	1 健やかに暮らせるまちづくり	政策名	1 いつまでも健康に暮らせるまち	施策名	2 健康づくりの推進
------	----	-----------------	-----	------------------	-----	------------

前年度 決算額	1,213 千円	決算額		特定財源							
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他	
増減額	47 千円	金額	1,260 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,260 千円	
増減率	3.9 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	
本年度 最終予算額	1,452 千円	特定財源の名称									
執行率	86.78 %										

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
款 項 目 節	4 衛生費	7	報償費	1,260 千円	健康推進員報酬 1,210千円	8020運動 50千円
				千円		
	1 保健衛生費			千円		
				千円		
	1 保健衛生費総務費			千円		
			千円			

事業の目的	健康推進員と連携し、健康づくりに関する各種事業を展開し、町民の健康増進を図る。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ●健康推進員の地域での活動の推進 ●8020運動の推進（歯科保健事業、認定者を表彰15名）
事業の成果	健康推進員活動として、担当地域での各種検診への受診勧奨や住民の健康状態の確認など、町と住民とのパイプ役となり、また、いきいきサロン事業における保健活動との連携を図った。
次年度以降の見込み	継続実施

R 3 健康推進員協議会総会



令和3年度「放射線対策健康管理事業」の成果

決算書頁 55～56頁

所管課名 ほけん課

所管係名 保健係

総合計画	目標	1	健やかに暮らせるまちづくり	政策名	1	いつでも健康に暮らせるまち	施策名	2	健康づくりの推進
------	----	---	---------------	-----	---	---------------	-----	---	----------

前年度 決算額	3,063 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	527 千円	金額	3,590 千円	3,318 千円	266 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	6 千円		
増減率	17.2 %	構成率	100.0 %	92.4 %	7.4 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.2 %		
本年度 最終予算額	4,187 千円	特定財源の名称		福島県再生加速化交付金	放射線健康対策事業							
執行率	85.74 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
4	衛生費	1	報酬	1,697 千円	会計年度任用職員報酬（総務課）1,697千円	
		3	職員手当	220 千円	会計年度任用職員期末手当（総務課）220千円	
		4	共済費	263 千円	会計年度任用職員社会保険料（総務課）263千円	
1	保健衛生費	10	消耗品費	2 千円	長3封筒（同意書返信用）	
		11	役務費	66 千円	ガラスバッジ関係郵便料 ※2-1-2文書広報費（総務課配当）	
目	目名称	12	委託料	1,342 千円	ガラスバッジ 201,850円、健診付加検査（血液・貧血・腎機能） 1,139,262円	
1	保健衛生総務費			千円		
				千円		

事業の目的	原発事故に伴う町民の健康不安解消と、長期的に町民の健康を見守り安心・安全と将来への健康維持、増進につなげる。	
事業の概要	①ガラスバッジによる外部被ばく検査（中学生以下個別通知、一般住民申込み） ②健診受診者への検査項目追加実施（総合検診内と県実施の既存健診外健診受診者）	
事業の成果	①ガラスバッジ：中学生以下 118人、一般 3人 ②総合検診内受診者1,417人（R2 822人）、県実施既存外健診受診者 47人 ※いずれも検査も健康に影響を及ぼす数値の方はいない。	
次年度以降の見込み	継続実施	

令和3年度「食育推進事業」の成果

決算書頁 55頁

所管課名 ほけん課

所管係名 保健係

総合計画	目標	1 健やかに暮らせるまちづくり	政策名	1 いつまでも健康に暮らせるまち	施策名	2 健康づくりの推進
------	----	-----------------	-----	------------------	-----	------------

前年度 決算額	901 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	△ 819 千円	金額	82 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	82 千円		
増減率	△ 90.9 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
本年度 最終予算額	364 千円	特定財源の名称										
執行率	22.53 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
款 項 目 節	4 衛生費	10	需用費	82 千円	消耗品費13,168円（食育教材費等）、賄材料費68,206円（幼稚園食育12,033円、親子料理14,173円、みそ作り材料42,000円）	
				千円		
	1 保健衛生費			千円		
				千円		
	1 保健衛生総務費			千円		

事業の目的	町民の心身の健康の増進と豊かな人間形成、子どもの食育の推進、地域の特色ある食文化の継承及び地域の活性化等を図る。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ●くにも幼稚園食育教室：食べ物の観察や食事のマナー、豆つかみなど様々な体験を通して、食や自分の体に関心を持ち、正しい知識を身に着けることを目的として累計36回実施。 ●親子料理教室：小学生親子を対象に料理教室と講話を実施。 	
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ●くにも幼稚園食育教室：延733人 ●親子料理教室：12組25名参加 子から親へ食育の内容を伝えることにより、保護者の生活面でも変化がみられた。（バランスの良い食事を考えるようになったなど）	
次年度以降の見込み	継続実施	

令和3年度「結核予防事業」の成果

決算書頁 57頁

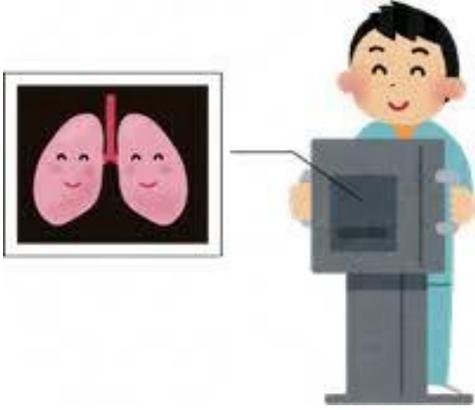
所管課名 ほけん課

所管係名 保健係

総合計画	目標	1 健やかに暮らせるまちづくり	政策名	1 いつまでも健康に暮らせるまち	施策名	3 継続的な保健事業の推進
------	----	-----------------	-----	------------------	-----	---------------

前年度 決算額	834 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	624 千円	金額	1,458 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,458 千円		
増減率	74.8 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
本年度 最終予算額	1,848 千円	特定財源の名称										
執行率	78.90 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
款 項 目 節	4 衛生費	12	委託料	1,458 千円	結核胸部X線間接撮影	
				千円		
	1 保健衛生費			千円		
				千円		
	2 予防費			千円		
				千円		

事業の目的	結核の罹患率の高くなる65歳以上の者に対し結核健康診断を実施することで、結核を早期発見し集団感染を防止し、また患者の重症化を予防する。	
事業の概要	65歳以上の町民を対象に、例年6月に実施している「総合検診」において、胸部X線間接撮影を実施する。	
事業の成果	結核胸部X線間接撮影 963人（R2年度552人）	
次年度以降の見込み	継続実施	

令和3年度「予防接種事業」の成果

決算書頁 57頁

所管課名 ほけん課

所管係名 保健係

総合計画	目標	1 健やかに暮らせるまちづくり	政策名	1 いつまでも健康に暮らせるまち	施策名	2 健康づくりの推進
------	----	-----------------	-----	------------------	-----	------------

前年度 決算額	21,877 千円	決算額				特定財源						一般財源	
増減額	△ 1,863 千円	金額	20,014 千円		1,005 千円	45 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	18,964 千円		
増減率	△ 8.5 %	構成率	100.0 %		5.0 %	0.2 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	94.8 %			
本年度 最終予算額	23,342 千円	特定財源の名称				感染症予防事業 1,005,000		風しん対策事業45,000					
執行率	85.74 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
4	衛生費	10	需用費	152 千円	消耗品70千円（風しんクーポン券用紙等）、印刷製本82千円（麻しん風しん、子宮頸がん、インフルエンザ予診票）	
		12	委託料	19,710 千円	各種予防接種18,906,699円 クーポン印刷委託362,456円、ロタウイルスシステム改修440,000円	
	項	項名称	19	扶助費	32 千円	予防接種費用償還払い 31,952円
1	保健衛生費	22	借入金利息及び割引料	120 千円	感染症予防事業精算	
目	目名称					
2	予防費					

事業の目的	予防接種の実施により、各種感染症の発生、重症化、まん延を防ぎ、町民の健康を保持する。	
事業の概要	<p>【定期接種】</p> <p>乳幼児：ロタウイルス、BCG、四種混合、麻しん風しん、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎 児童・生徒：二種混合、日本脳炎、子宮頸がんワクチン 成人男性（S37.4.2～S54.4.1生）：風しん抗体検査・予防接種 65歳以上高齢者：高齢者肺炎球菌、インフルエンザ</p> <p>【任意接種】成人：麻しん風しん、小児（18歳以下）及び妊婦：インフルエンザ</p>	
事業の成果	<p>●定期予防接種①乳幼児・児童・生徒：延857人 ②季節性インフル（65歳以上）：2,088人 ③成人風しん（第5期）：抗体検査127人、予防接種37人 ④高齢者肺炎球菌：123人</p> <p>●任意予防接種①風しん対策助成事業（麻しん風しん混合）：8人 ②季節性インフル（18歳以下・妊婦）：433人</p>	
次年度以降の見込み	継続実施	

令和3年度「感染症予防事業」の成果

決算書頁 57頁

所管課名 ほけん課

所管係名 新型コロナウイルス対策室

総合計画	目標	1	健やかに暮らせるまちづくり	政策名	1	いつまでも健康に暮らせるまち	施策名	1	地域医療の連携
------	----	---	---------------	-----	---	----------------	-----	---	---------

前年度 決算額	0 千円	決算額				特定財源				一般財源		
		金額	361 千円	千円	千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他			
増減額	361 千円	金額	361 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
増減率	皆増 %	構成率	100.0 %	%	0.0 %	%	0.0 %	%	0.0 %	%	0.0 %	%
本年度 最終予算額	538 千円	特定財源の名称										
執行率	67.10 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	千円
4	衛生費	10	需用費	361 千円	感染症対策消耗品216,070円、啓発チラシ84,700円、消毒剤59,400円	
				千円		
				千円		
項	項名称			千円		
				千円		
1	保健衛生費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
				千円		
2	予防費			千円		
				千円		

事業の目的	新型コロナウイルスほか各種感染症予防のための消毒用資材、抗原検査キットを備え、感染症予防を行う。
事業の概要	町の各種事業等で用いる感染症予防のための消毒用資材等の購入 感染予防啓発チラシ等の作成
事業の成果	各場面において消毒剤等を用意し、利用してもらうことで感染症予防につながる。また、啓発チラシ等を作成し周知することで感染症予防の意識付けとなる。
次年度以降の見込み	毎年継続して実施していく。



令和3年度「健康増進事業」の成果

決算書頁 57頁

所管課名 ほけん課

所管係名 保健係

総合計画	目標	1	健やかに暮らせるまちづくり	政策名	1	いつまでも健康に暮らせるまち	施策名	2	健康づくりの推進
------	----	---	---------------	-----	---	----------------	-----	---	----------

前年度 決算額	2,991 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	3,736 千円	金額	6,727 千円	743 千円	2,568 千円						3,416 千円		
増減率	124.9 %	構成率	100.0 %	11.0 %	38.2 %		0.0 %		0.0 %		50.8 %		
本年度 最終予算額	7,600 千円	特定財源の名称		感染症予防事業743,000		●地域創生総合支援事業 2,056,000 ●健康増進事業512,000							
執行率	88.51 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細							
4	衛生費	10	需用費	653 千円	消耗品費161,005円（運動パンフレット、運動チューブ代等）、賄材料費22,498円（減塩料理教室材料代）、印刷製本費469,150円（減塩カレンダー等）							
		12	委託料	4,524 千円	減塩教室440,000円 尿中塩分測定48,180円、減塩アンケート調査1,254,000円、健康管理システム改修1,650,000円、健康管理システム保守委託539,000円							
項	項名称			千円	運動教室委託592,020円（日中の部136,620円・夜の部455,400円） ※日中の部は、国保特会で別途318,780円支払い							
1	保健衛生費			千円	※財源は日中の部：健康増進事業（補助率2/3）、夜の部：地域創生総合支援事業（補助率3/4）							
		13	使用料及び賃借料	560 千円	健康管理データバンクシステム借上							
目	目名称	17	備品購入費	990 千円	身体測定器「インボディ」購入							
2	予防費			千円								
				千円								

事業の目的	生活習慣病の予防・改善、糖尿病重症化予防を図るため、「運動習慣」と「食習慣」の両面から町民の健康増進に繋がる事業を展開する。
事業の概要	●運動教室：健康運動指導士による指導、トレーニング及びデータ管理・集計・評価を実施 ●減塩対策事業：①尿中塩分測定、②減塩料理教室、③減塩カレンダー配布 ④塩分摂取量アンケート調査
事業の成果	●運動教室：9割の参加者に体重減少の効果があつた。 ●減塩対策事業：塩分摂取量調査や尿中塩分測定により、自分（家庭）の塩分摂取量の傾向を知ることができた。また、料理教室や減塩カレンダーの配布により減塩の必要性や減塩方法について理解を深めることができた。
次年度以降の見込み	継続実施



令和3年度「集団検診」の成果

決算書頁 57頁

所管課名 ほけん課

所管係名 保健係

総合計画	目標	1	健やかに暮らせるまちづくり	政策名	1	いつまでも健康に暮らせるまち	施策名	3	継続的な保健事業の推進
------	----	---	---------------	-----	---	----------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	10,817 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額		構成率		国庫支出金		県支出金		地方債		
増減額	5,643 千円	金額	16,460 千円	構成率	100.0 %	0 千円	512 千円	0 千円	1,180 千円	14,768 千円		
増減率	52.2 %					0.0 %	3.1 %	0.0 %	7.2 %	89.7 %		
本年度 最終予算額	18,387 千円	特定財源の名称				健康増進事業 512,000				繰入金 (国保特会1,179,300)		
執行率	89.52 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
4	衛生費	10	需用費	97 千円	消耗品費70,988円(総合検診資材等) 印刷製本費25,300円(歯科健康診査受診録)	
		12	委託料	16,363 千円	各種健(検)診16,112,241円、カルテ印字250,250円	
項	項名称			千円		
1	保健衛生費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
2	予防費			千円		
				千円		

事業の目的	成人の健診体制を整え、受診勧奨し、生活習慣病等の早期発見・治療・予防につなげ、町民の健康の保持増進を図る。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ●集団検診：総合検診（胸部レントゲン検診（結核・肺がん検診）、胃・大腸がん検診、健康診査、肝炎・前立腺・骨粗鬆症の各検診、肺がん喀痰検査 ●施設検診：子宮頸部・乳がん検診、歯科健康診査、脳ドック（社保対象）、胃がん（内視鏡）
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ●総合検診受診者数（胃がん検診449人、大腸がん検診1,071人、胸部1,198人、肝炎101人、前立腺436人、骨粗鬆症77人、特定健診750人、健康診査1,226人） ●喀痰（肺がん検診）43人 ●歯科健康診査 51人 ●脳ドック57人 ●子宮頸がん検診278人 ●乳がん検診298人 ●胃がん検診（内視鏡）94人
次年度以降の見込み	継続実施



令和3年度「フッ化物洗口事業」の成果

決算書頁 57頁

所管課名 ほけん課

所管係名 保健係

総合計画	目標	1	健やかに暮らせるまちづくり	政策名	1	いつまでも健康に暮らせるまち	施策名	2	健康づくりの推進
------	----	---	---------------	-----	---	----------------	-----	---	----------

前年度 決算額	10 千円	決算額				特定財源						一般財源	
増減額	0 千円	金額	10 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	10 千円	10 千円	
増減率	0.0 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	
本年度 最終予算額	47 千円	特定財源の名称											
執行率	21.28 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
4	衛生費	11	役務費	10 千円	薬剤保管手数料	
				千円		
項	項名称			千円		
1	保健衛生費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
2	予防費			千円		
				千円		

事業の目的	虫歯を予防するとともに、歯と口の健康を意識するきっかけづくりとし、理想的な生活習慣を確立することを目指す。
事業の概要	くにみ幼稚園の年中・年長児及び国見小学校の児童の希望者を対象として、1週間に1回、集団でフッ化物洗口を行う。
事業の成果	くにみ幼稚園の年中・年長児：延1,786人 ※国見小学校はコロナウイルス感染拡大防止の観点から未実施
次年度以降の見込み	継続実施



総合計画	目標	1 健やかに暮らせるまちづくり	政策名	II 人が輝くまち	施策名	2 健康づくり・地域医療の推進
------	----	-----------------	-----	-----------	-----	-----------------

前年度 決算額	5,184 千円	決算額				特 定 財 源						一般財源			
		金額		千円		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		千円	
増減額	96,762 千円	金額	101,946	千円	101,946	千円		千円		千円		千円		0	千円
増減率	1,866.6 %	構成率	100.0	%	100.0	%	0.0	%	0.0	%	0.0	%	0.0	%	
本年度 最終予算額	107,687 千円	特定財源の名称				新型コロナウイルスワクチン 接種実施負担金、新型コロナウイルス ワクチン接種体制確 保事業補助金									
執行率	94.67 %														

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細	
					千円	
2	総務費	4	共済費	1,424 千円	共済費1,423,313円(会計年度任用職員)	
				千円		
項	項名称			千円		
1	総務管理費			千円		
目	目名称			千円		
1	一般管理費			千円		
4	衛生費	1	報酬	8,981 千円	会計年度任用職員報酬8,980,179円	
		3	職員手当等	1,330 千円	会計年度任用職員期末手当1,329,185円	
		7	報償費	811 千円	ワクチン接種報償(医師・看護師)810,900円	
項	項名称	8	旅費	176 千円	会計年度任用職員通勤手当167,760円 普通旅費3,900円 ワクチン接種費用弁償4,033円	
1	保健衛生費	10	需用費	3,691 千円	消耗品費1,667,988円 燃料費1,164,273円 光熱水費700,000円 印刷製本費157,740円	
		11	役務費	2,101 千円	通信運搬費1,654,000円 国保連審査手数料446,400円	
		12	委託料	81,984 千円	システム改修984,500円 接種費58,552,230円 受付業務18,521,281円 送迎委託217,000円 電算処理3,648,986円 廃棄物処理59,180円	
目	目名称	13	使用料及び賃借料	738 千円	スマートフォン使用料105,105円 ヒーター借上料31,900円 バイアルホルダー賃借料660円 車両レンタル料600,000円	
6	新型感染症対策費	17	備品購入費	710 千円	備品購入費709,720円	
				千円		

事業の目的	新型コロナウイルスの蔓延を防ぐとともに、罹患した場合の重症化を予防するためワクチンを円滑に接種する
事業の概要	ワクチン接種対象者への接種券作成・発送、ワクチン接種予約管理システムの運営（コールセンター運営含む）、ワクチン接種、国が構築する接種記録システムと予防接種管理台帳システムとの連携
事業の成果	3月末の対象者別接種率 1回目7,462人(92.0%)、2回目7,426人(91.5%)、3回目4,316人(56.0%)
次年度以降の見込み	予防接種法に基づく大臣命令は9月末までとなっており、以降の実施は未定



令和3年度「社会福祉事業」の成果

決算書頁 44～46頁

所管課名 福祉課
所管係名 社会福祉係

総合計画	目標	1 健やかに暮らせるまちづくり	政策名	2 共に支えあい暮らせるまち（福祉）	施策名	4 地域で支える福祉の推進
------	----	-----------------	-----	--------------------	-----	---------------

前年度 決算額	13,853 千円	決算額				特定財源						一般財源	
増減額	74,925 千円	金額	88,778 千円		72,178 千円	1,895 千円				80 千円	14,625 千円		
増減率	540.9 %	構成率	100.0 %		81.3 %	2.1 %			0.0 %	0.1 %	16.5 %		
本年度 最終予算額	171,310 千円	特定財源の名称				●住民税非課税世帯に対する臨時給付金				●民生委員推薦会 ●結婚新生活支援事業 ●人権啓発活動地方委託金 ●福祉灯油給付事業補助金		●ふれあい福祉基金利子 ●各種清算金及び返還金 (行旅人旅費清算金)	
執行率	51.82 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
款項目節	3 民生費	1	報酬	65 千円	民生委員推薦会	
		7	報償費	2,661 千円	協議会委員報償25千円、民生委員報償2,636千円	
		8	旅費	53 千円	協議会委員費用弁償50千円、会議等旅費3千円	
	1 社会福祉費	10	需用費	378 千円	消耗品81千円、人権の花運動及び啓発活動171千円、福祉避難所配置品126千円	
		12	委託料	3,423 千円	戦没者追悼式245千円、システム改修2,178千円、要援護者避難支援プラン策定業務1,000千円	
目	目名称	18	負担金補助及び交付金	8,630 千円	保護司会11千円、人権擁護委員協議会18千円、社会福祉協議会7,980千円、婦人会447千円、結婚新生活支援事業費補助金174千円	
1 社会福祉総務費		19	扶助費	73,512 千円	行旅病人等旅費27千円、福祉灯油費3,485千円、非課税世帯臨時特別給付金70,000千円	
		24	積立金	56 千円	ふれあい福祉基金積立金57千円	

事業の目的	地域福祉に関する基盤を整備することで、人々が安心して生活できるようになる
事業の概要	<p>①各種団体に係る事業推進及び補助の実施 民生児童委員、保健と福祉の地域づくり推進協議会、人権擁護委員、保護司、町社会福祉協議会、婦人会</p> <p>②結婚新生活支援事業補助 低所得の新婚世帯に対し、住居費等の一部補助</p> <p>③灯油価格の高騰に伴い、生活困窮世帯を対象に灯油購入費の一部を助成するため1世帯当たり5,000円分の福祉灯油券を配布</p> <p>④新型コロナウイルスによる影響を受けている非課税世帯を支援する為、1世帯当たり100,000円を給付</p>
事業の成果	<p>①各種団体に係る事業推進及び補助の実施 民生児童委員協議会定例会、人権の花運動・啓発活動、町社協への補助（ボランティアセンター・福祉活動相談員）、要援護者避難支援プラン作成委託</p> <p>②結婚新生活支援事業補助 申請件数 1件</p> <p>③福祉灯油費助成世帯 697世帯</p> <p>④非課税世帯臨時特別給付金 700世帯</p>
次年度以降の見込み	継続実施（③以外）



令和3年度「若者交流事業」の成果

決算書頁 45頁

所管課名 福祉課
所管係名 社会福祉係

総合計画	目標	6	町として生きるまちづくり	政策名	2	人が集まりまた来たくなるまち	施策名	2	移住定住と関係人口創出
------	----	---	--------------	-----	---	----------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	109 千円	決算額		特 定 財 源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	76 千円	金額	185 千円		千円		千円		千円		千円	185 千円	千円
増減率	69.7 %	構成率	100.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %	100.0 %	%
本年度 最終予算額	199 千円	特定財源の名称											
執行率	92.96 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細	
					千円	
3	民生費	7	報償費	65 千円	世話やき人研修会謝礼10千円、世話やき人報償55千円	
		10	需用費	120 千円	消耗品4千円、チラシ作成116千円	
項	項名称			千円		
1	社会福祉費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
1	社会福祉総務費			千円		
				千円		

事業の目的	世話やき人制度を活用し、結婚したい独身男女の出会い・交流の機会を創出することにより、町内外の若者の交流活性化を促す。	
事業の概要	結婚世話やき人の研修会・情報交換会を開催し、スキルアップを図るとともに、若者が出会い、交流することのできる機械（イベント）や相談の場を創出する。	
事業の成果	結婚世話やき人は、情報交換会（11回）や研修会（1回）の実施により、スキルアップや情報共有を図りながら活動した。また、世話やき人同士の登録者（26件）の情報交換にも力を注いだ。定期相談会は10回開催し、4件の相談があった。	
次年度以降の見込み	継続実施	

令和3年度「こさかふるさと館（小坂くらし館）事業」の成果

決算書頁

45頁

所管課名

福祉課

所管係名

長寿介護係

総合計画	目標	1	健やかに暮らせるまちづくり	政策名	2	共に支えあい暮らせるまち	施策名	1	高齢者の日常生活支援
------	----	---	---------------	-----	---	--------------	-----	---	------------

前年度 決算額	1,083 千円	決算額				特定財源						一般財源		
		金額		千円		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		千円
増減額	342 千円	金額	1,425	千円		千円		千円		千円		千円	1,425	千円
増減率	31.6 %	構成率	100.0	%	0.0	%	0.0	%	0.0	%	0.0	%	100.0	%
本年度 最終予算額	1,629 千円	特定財源の名称												
執行率	87.48 %													

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細									
3	民生費	10	需用費	378 千円	消耗品費53、光熱水費308、修繕費17									
		11	役務費	124 千円	電話料32、手数料2、火災保険料90									
	12	委託料	923 千円	消防設備保守点検83、施設警備309、自動ドア保守点検44、施設管理120、環境整備367										
1	社会福祉費			千円										
	目名称			千円										
1	社会福祉総務費			千円										
				千円										

事業の目的	こさかふるさと館（旧小坂小学校）を活用し、高齢者の介護予防事業の拠点として、また、子供から高齢者まで多世代にわたり利用可能な交流施設として活用する。
事業の概要	こさかふるさと館の維持管理に係る経費
事業の成果	こさかふるさと館を拠点として、高齢者の介護予防教室等の会場、小坂地区の交流の場として活用されている。 【R3実績】月平均1.7日、利用者数220人 【R2実績】月平均4.1日、利用者数505人
次年度以降の見込み	継続して維持管理を行う。



令和3年度「老人福祉事業」の成果

決算書頁 46～48頁

所管課名 福祉課
所管係名 長寿介護係

総合計画	目標	1 健やかに暮らせるまちづくり	政策名	2 共に支えあい暮らせるまち	施策名	1 高齢者の日常生活支援
------	----	-----------------	-----	----------------	-----	--------------

前年度 決算額	19,646 千円	決算額		特定財源								一般財源					
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他							
増減額	29,195 千円	金額	48,841 千円	63 千円	29,870 千円				1,051 千円	17,857 千円							
増減率	148.6 %	構成率	100.0 %	0.1 %	61.2 %			0.0 %	2.2 %	36.6 %							
本年度 最終予算額	49,802 千円	特定財源の名称		●高齢者にやさしい住まいづくり事業（社総金）		●老人クラブ活動等社会活動促進事業		●低所得者利用料軽減補助事業		●地域医療介護総合確保基金事業		●生きがいデイサービス利用者負担分		●生活支援ショートステイ事業一部負担金		●軽度生活援助事業一部負担金	
執行率	98.07 %																

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
3	民生費	7	報償費	30 千円	講師謝礼	
		8	旅費	17 千円	費用弁償	
項	項名称	12	委託料	16,561 千円	生きがいデイ4,573、配食サービス4,471、緊急通報3,366、いきいきサロン3,582、除雪支援549、生活支援ショート20	
1	社会福祉費	13	使用料及び賃借料	1,190 千円	生きがいデイ送迎車(まちなかタクシー)	
		18	負担金補助及び交付金	30,931 千円	老人クラブ1,135、JAさくら会27、高齢者住まい180、低所得者法人利用負担軽減90、地域医療介護総合確保基金事業29,499	
目	目名称	19	扶助費	112 千円	高齢者運転免許返納(タクシー券)	
2	老人福祉費			千円		
				千円		

事業の目的	在宅の高齢者に対し各種のサービスを提供することによって、高齢者の生きがいづくりや心身機能の維持向上等を図り、健康でいきいきと日常生活を営むことができるよう支援することを目的とする。
事業の概要	高齢者の閉じこもり解消や生きがいづくり活動として「いきいきサロン交流事業」や「生きがい活動支援通所(デイサービス)事業」を行うほか、「高齢者配食サービス事業」、「緊急通報システム運営事業」等の高齢者の生活支援事業を行う。
事業の成果	【いきいきサロン】 町内24か所で月1回開催 令和4年3月末 月延べ参加者130人 協力者39人 【生きがいデイ】 令和4年3月末で57人が登録し、月3回のデイサービスを利用 令和4年3月実績 月延べ利用人数 145人 1日平均 8.1人
次年度以降の見込み	継続実施



令和3年度「敬老事業」の成果

決算書頁 46～47頁

所管課名 福祉課
所管係名 長寿介護係

総合計画	目標	1 健やかに暮らせるまちづくり	政策名	2 共に支えあい暮らせるまち	施策名	1 高齢者の日常生活支援
------	----	-----------------	-----	----------------	-----	--------------

前年度 決算額	5,929 千円	決算額		特定財源									
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
増減額	△ 1,498 千円	金額	4,431 千円	千円		千円		千円		千円		千円	4,431 千円
増減率	△ 25.3 %	構成率	100.0 %	0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %		100.0 %	
本年度 最終予算額	4,461 千円	特定財源の名称											
執行率	99.33 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細							
3	民生費	7	報償費	4,276 千円	敬老祝金1,850、敬老会町記念品2,426							
		10	需用費	155 千円	印刷製本(敬老会しおり・封筒)							
	項	項名称	13	使用料及び賃借料	0 千円	敬老会送迎バス(小坂・大木戸・石母田)						
1	社会福祉費			千円								
				千円								
目	目名称			千円								
2	老人福祉費			千円								
				千円								

事業の目的	多年にわたって社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに高齢者が健康を守り、生きる意欲を高め、健康で生きがいのある社会が築かれるよう敬老会を開催するとともに、敬老祝金を支給する。
事業の概要	75歳以上の高齢者を対象に町内3か所で敬老会（式典及びアトラクション）を開催。小坂地区、石母田地区、大木戸地区は会場へのバス送迎をする。敬老祝金は90歳10,000円、99歳50,000円、100歳200,000円（施設入所者50,000円）支給。
事業の成果	敬老会を通して、高齢者が地域の人から祝福され、新たな生きがいを見出し、生きる意欲につなげることができる。 令和3年度敬老会…対象者1,923人 ※新型コロナにより中止 令和3年度敬老祝金…90歳60人、99歳5人、100歳5人
次年度以降の見込み	敬老会…継続実施（敬老会の在り方検討） 敬老祝金…継続実施



令和3年度「老人ホーム事業」の成果

決算書頁 46～48頁

所管課名 福祉課
 所管係名 長寿介護係

総合計画	目標	1 健やかに暮らせるまちづくり	政策名	2 共に支えあい暮らせるまち	施策名	1 高齢者の日常生活支援
------	----	-----------------	-----	----------------	-----	--------------

前年度 決算額	16,677 千円	決算額		特定財源						一般財源		
増減額	△ 538 千円	金額	16,139 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	4,278 千円	11,861 千円
増減率	△ 3.2 %	構成率	100.0 %	0.0 %		0.0 %		0.0 %		26.5 %	73.5 %	
本年度 最終予算額	20,372 千円	特定財源の名称								●老人福祉施設入所者負担金		
執行率	79.22 %											

款 項 目 節	款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細					
		3	民生費	8	旅費	0 千円	入所実態調査旅費				
			18	負担金補助及び交付金	30 千円	養護老人ホーム入所判定会負担金					
	項	項名称	19	扶助費	16,109 千円	老人福祉施設入所措置費					
	1	社会福祉費			千円						
	目	目名称			千円						
	2	老人福祉費			千円						
					千円						

事業の目的	高齢者の生活環境の向上と安心・安全の確保（家庭環境の調整、身体的・精神的健康の保持・向上）を目的とする。
事業の概要	老人福祉法に基づく養護老人ホームの措置に関する事業
事業の成果	入所者（令和4年3月末現在） 桑折緑風園4名、福島恵風園3名、国見の里1名
次年度以降の見込み	継続実施



令和3年度「障がい者福祉事業」の成果

決算書頁 48～50頁

所管課名 福祉課

所管係名 社会福祉係

総合計画	目標	1	健やかに暮らせるまちづくり	政策名	2	共に支えあい暮らせるまち（福祉）	施策名	3	障がい者の自立支援
------	----	---	---------------	-----	---	------------------	-----	---	-----------

前年度 決算額	206,479 千円	決算額				特定財源				一般財源						
増減額	2,760 千円	金額	209,239 千円		国庫支出金	92,212 千円	県支出金	94,206 千円	地方債		千円	その他	2,227 千円	千円	20,594 千円	千円
増減率	1.3 %	構成率	100.0 %			44.1 %		45.0 %		0.0 %			1.1 %		9.8 %	
本年度 最終予算額	217,282 千円	特定財源の名称				<ul style="list-style-type: none"> ●更生医療 ●障害者自立支援給付費 ●育成医療給付費 ●地域生活支援事業 		<ul style="list-style-type: none"> ●重度心身障害者医療費 ●障害者自立支援 ●地域生活支援事業 				<ul style="list-style-type: none"> ●諸収入（重度医療高額分） 				
執行率	96.30 %															

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細			
款 項 目 節	3 民生費	7	報償費	252 千円	障害者支援区分認定審査会委員報償			
		8	旅費	4 千円	障害者支援区分認定審査会委員交通費			
	項	項名称	10	需用費	80 千円	消耗品費29千円、窓あき封筒51千円		
	1 社会福祉費	目	目名称	11	役務費	253 千円	主治医意見書作成料74千円、国保連等手数料179千円	
				12	委託料	2,048 千円	相談支援事業750千円、基幹相談支援センター運営608千円、地域生活拠点コーディネーター175千円、障害者虐待防止対策事業90千円ほか	
			18	負担金補助及び交付金	95 千円	県身体障害者スポーツ協会6千円、町身体障害者福祉会75千円、重度医療医療費助成事業申請書等印刷負担金15千円		
	3 障がい者福祉費	19	扶助費	202,091 千円	重度心身障がい者医療費24,213千円、介護給付費73,876千円、訓練給付費86,807千円、地域生活支援事業8,102千円ほか			
		22	償還金利息及び割引料	4,416 千円	前年度精算による償還金			

事業の目的	障がいのある方が、安心して自立した生活を送ることができるように各種障がい福祉サービスの提供や助成を行う。	
事業の概要	障害者総合支援法に基づく福祉サービスの提供、医療費等の給付 重度心身障がい者医療費、人工透析患者通院費、在宅重度障がい者対策事業、更生医療給付費、補装具給付費、福祉タクシー助成事業、介護給付費、訓練給付費、地域生活支援事業、障がい者通所交通費助成事業、在宅酸素濃縮器利用助成事業、計画相談支援給付費、育成医療給付費、軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業 手帳所持者（身体330人、精神75人、療育78人）※R4.3.31現在	
事業の成果	障がい者の日常生活を支援することで、社会において安心した生活を送ることができるようになる。	
次年度以降の見込み	継続実施	

総合計画	目標	1	健やかに暮らせるまちづくり	政策名	2	共に支えあい暮らせるまち	施策名	2	介護予防・支援の推進
------	----	---	---------------	-----	---	--------------	-----	---	------------

前年度 決算額	8,083 千円	決算額				特定財源						一般財源			
増減額	5,919 千円	金額	14,002 千円	千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	7,224 千円	千円	6,778 千円	千円
増減率	73.2 %	構成率	100.0 %	%	0.0 %	%	0.0 %	%	0.0 %	%	51.6 %	%	48.4 %	%	
本年度 最終予算額	14,017 千円	特定財源の名称										●デイサービスセンター事業収入			
執行率	99.89 %														

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
3	民生費	10	需用費	6,238 千円	燃料費1,596、光熱水費4,114、修繕費528	
		11	役務費	177 千円	手数料146、建物災害共済保険料31	
	12	委託料	1,238 千円	地下タンク保守614、消防設備46、空調設備383、自家用電気工作物保守80、鼠族・衛生害虫防除管理47、施設警備68		
1	社会福祉費	17	備品購入費	6,349 千円	浴室機械浴	
				千円		
4	高齢者福祉施設費			千円		
				千円		

事業の目的	利用者が住み慣れた町でいきいきと暮らせるように、また、家族の身体的、精神的な介護負担の軽減を図るため、日替りの通所による介護サービスの提供を実施する。
事業の概要	国見町デイサービスセンターの運営を指定管理者である国見町社会福祉協議会が行っている。同施設の維持管理費を町が一旦負担し、年度末に国見町社会福祉協議会の事業収入から戻し入れる（10万円以上の経年劣化に伴う施設修繕については町負担）。
事業の成果	令和4年3月の利用者数(延べ人数) 536人（一般型321人、認知症型148人、総合事業通所型67人）1日当たり利用者数は20.6人
次年度以降の見込み	継続実施。 ・指定管理者 社会福祉法人国見町社会福祉協議会 ・指定期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日（平成31年4月～令和4年3月31日）



令和3年度「児童福祉事業」の成果

決算書頁 50～51頁

所管課名 福祉課

所管係名 社会福祉係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	1	安心して子どもを産み育てられるまち（子育て）	施策名	1	子育て支援の推進
------	----	---	--------------	-----	---	------------------------	-----	---	----------

前年度 決算額	112,290 千円	決算額				特定財源						一般財源	
		金額	206,172 千円	国庫支出金	167,062 千円	県支出金	18,022 千円	地方債	千円	その他	千円	21,088 千円	千円
増減額	93,882 千円	構成率	100.0 %		81.0 %		8.7 %		0.0 %		0.0 %		10.2 %
増減率	83.6 %	特定財源の名称				●児童手当 ●障害児施設措置費 ●特別児童扶養手当事務 ●子育て世帯への臨時特別給付金(事業費・事務費) ●子ども子育て支援事業費補助金 ●低所得の子育て世帯に対する給付金(事業費・事務費)							
本年度 最終予算額	210,097 千円												
執行率	98.13 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
3	民生費	10	需用費	54 千円	印刷製本費	
		11	役務費	204 千円	通信運搬費160千円、国保連事務手数料44千円	
	項	項名称	12	委託料	3,278 千円	子育て世帯への臨時特別給付金システム改修業務
2	児童福祉費	18	負担金補助及び交付金	3,350 千円	低所得の子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分)	
		19	扶助費	194,751 千円	①就学遺児奨励金219千円②ひとり親家庭医療費助成1,717千円③児童手当79,405千円④子育て世帯への臨時特別給付金95,200千円	
目	目名称			千円	障害児通所給付費17,274千円、障害児計画相談給付費936千円	
1	児童福祉総務費	22	償還金利子及び割引料	4,535 千円	児童手当、障害児入所給付費前年度精算	
				千円		

事業の目的	各種児童福祉サービスの提供、手当の支給、医療費助成等を行うことにより、子どもが安心して健全な生活を送ることができるように支援する。	
事業の概要	①就学遺児奨励金は、ひとり親家庭の児童(小中学生)に対し、図書カード3,000円分を配布 ②ひとり親家庭医療費助成は、母子家庭、父子家庭の親と児童、父母のいない世帯の児童を対象に、月1,000円を超えた医療費を助成 ③児童手当(15歳まで)児童の年齢、受給者の所得要件により、月5,000～15,000円を6・10・2月に支給 ④障害児通所給付費及び計画相談 療育を必要とする児童の福祉サービス利用費等の給付 ⑤子育て世帯への臨時特別給付金は、国の新型コロナウイルス感染症対策事業として、18歳未満の児童を対象に1人あたり100,000円を給付⑥低所得の子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分)は、低所得の子育て世帯の生活の支援を行うため、18歳未満の児童を対象に1人あたり50,000円を給付	
事業の成果	①就学遺児奨励金支給実績 73名 ②ひとり親家庭医療費助成受給者 51名 ③児童手当 7,303名(延べ児童数)※実児童数571名 ④障害児通所給付費及び計画相談 利用者 23名 ⑤子育て世帯への臨時特別給付金支給対象者 954名 ⑥低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援給付金(その他世帯)67名	
次年度以降の見込み	継続実施(⑤以外)	

令和3年度「災害援助事業」の成果

決算書頁 55頁

所管課名 福祉課
所管係名 社会福祉係

総合計画	目標	1	健やかに暮らせるまちづくり	政策名	2	共に支えあい暮らせるまち	施策名	4	地域で支える福祉の推進
------	----	---	---------------	-----	---	--------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	5,425 千円	決算額				特 定 財 源						一般財源			
		金額		千円		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		千円	
増減額	2,934 千円	金額	8,359 千円	千円		千円		千円		千円		6,644 千円	千円	1,715 千円	千円
増減率	54.1 %	構成率	100.0 %	%	0.0 %	%	0.0 %	%	0.0 %	%	79.5 %	%	20.5 %	%	
本年度 最終予算額	8,460 千円	特定財源の名称										東日本大震災災害援 護貸付金償還金			
執行率	98.81 %														

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細	
					千円	
3	民生費	19	扶助費	1,715 千円	R3福島県沖地震による罹災救助給付金	
		22	償還金利子及び割引料	6,644 千円	東日本大震災災害援護資金貸付金償還金	
項	項名称			千円		
3	災害救助費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
1	災害救助費			千円		
				千円		

事業の目的	災害時、被災者に対し早期に生活再建を目的として、見舞金の支給及び災害援護貸付金の事業を実施するもの	
事業の概要	①罹災救助給付金 被災者に対し、基準に基づき見舞金を支給する ②災害援護貸付金償還金 東日本大震災時の災害援護資金貸付金の償還を借受人より受け、また、県へ返還する	
事業の成果	①R3.2.13福島県沖地震により罹災救助給付金を支給(全壊1件、半壊以上33件) ②貸付件数27件	
次年度以降の見込み	継続実施	

令和3年度「労働諸費事業」の成果

決算書頁 60～61頁

所管課名 産業振興課

所管係名 商工観光係

総合計画	目標	1 健やかに暮らせるまちづくり	政策名	2 共に支えあい暮らせるまち	施策名	1 高齢者の日常生活支援
------	----	-----------------	-----	----------------	-----	--------------

前年度 決算額	24,463 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	△ 9,194 千円	金額	15,269 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	3,000 千円	12,269 千円			
増減率	△ 37.6 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	19.6 %	80.4 %				
本年度 最終予算額	15,269 千円	特定財源の名称		●労働者金融対策預託金回収金								
執行率	100.0 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
5	労働諸費	18	負担金補助及び交付金	3,221 千円	福島県シルバー人材センター連合会負担金21,000、シルバー人材センター運営補助金3,200,000	
		20	貸付金	3,000 千円	東北ろうきん自治体提携融資預託金3,000,000	
		22	償還金利子及び割引料	9,048 千円	令和2年度緊急雇用創出事業償還金9,048,000	
1	労働諸費			千円		
目	目名称			千円		
1	労働諸費			千円		

事業の目的	●町内に住む若者から高齢者までが、町内で安全安心に生きがいをもって働くために、国（職業安定所）や県、シルバー人材センター等と連携し支援に取り組む。	 
事業の概要	●町シルバー人材センターの運営に対する補助 ●町内在住、在勤の勤労者向けの教育・介護資金の融資（実績なし）	
事業の成果	●町内に住む若者から高齢者まで、町内で安全安心に働くことができるよう、シルバー人材センター支援とろうきん提携融資預託に取り組んだ。	
次年度以降の見込み	●継続	

令和3年度「農業経営基盤強化促進事業」の成果

決算書頁 63～64頁

所管課名 産業振興課

所管係名 農林振興係

総合計画	目標	4 恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1 おいしい農産物のあるまち	施策名	2 担い手の育成と経営支援
------	----	--------------------	-----	----------------	-----	---------------

前年度 決算額	700 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	4,400 千円	金額	5,100 千円	0 千円	3,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	2,100 千円		
増減率	628.6 %	構成率	100.0 %	0.0 %	58.8 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	41.2 %			
本年度 最終予算額	5,100 千円	特定財源の名称		●次世代人材投資事業補助金									
執行率	100.0 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
6	農林水産業費	18	負担金補助及び交付金	3,000 千円	次世代人材投資事業（経営開始型） 2名	
		20	貸付金	2,100 千円	経営開始資金（新規就農） 3名	
項	項名称			千円		
1	農業費			千円		
目	目名称			千円		
3	農業振興費			千円		

事業の目的	<p>【次世代人材投資事業】 ●新規就農者の就農直後の経営確立を支援する資金交付</p> <p>【経営開始資金】 ●農業に必要な技術の習得及び条件整備のため、町独自で資金貸付</p>
事業の概要	<p>【次世代人材投資事業】</p> <p>●新規就農後最大5年間資金を交付（150万円×3年・120万円×2年）</p> <p>【経営開始資金】</p> <p>●対象経費 ⇒①営農調査研究 ②条件整備 ③技能資格取得 ④モデル経営研修</p> <p>●貸付限度額 ⇒70万円以内 ※ただし5年後も就農継続であれば償還免除</p>
事業の成果	<p>【次世代人材投資事業】 ●2名に交付</p> <p>【経営開始資金】 ●3名に貸付</p>
次年度以降の見込み	<p>【次世代人材投資事業】 ●新規就農者の支援制度大幅変更</p> <p>【経営開始資金】 ●継続</p>



令和3年度「農業振興事業」の成果

決算書頁 62～63頁

所管課名 産業振興課

所管係名 農林振興係

総合計画	目標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1	おいしい農産物のあるまち	施策名	2	担い手の育成と経営支援
------	----	---	------------------	-----	---	--------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	47,707 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	△ 17,926 千円	金額	29,781 千円	0 千円	24,409 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	5,372 千円		
増減率	△ 37.6 %	構成率	100.0 %	0.0 %	82.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	18.0 %		
本年度 最終予算額	29,781 千円	特定財源の名称		●遊休農地等再生対策支援事業175 ●福島県営農再開支援事業24,234								
執行率	100.0 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細		
					金額	内容	
款 項 目 節	6 農林水産業費	18	負担金補助及び交付金	1,000 千円	農業共済加入促進対策事業補助金（収入保険）		
		18	負担金補助及び交付金	300 千円	農業共済加入促進対策事業補助金（果樹共済）		
	項	項名称	18	負担金補助及び交付金	24,234 千円	福島県営農再開支援事業補助金（果樹改植）	
	1 農業費	18	負担金補助及び交付金	30 千円	生活教室開設事業補助金		
			負担金補助及び交付金	4,000 千円	桃せん孔細菌病防除補助金		
	目	目名称	18	負担金補助及び交付金	175 千円	遊休農地等再生対策支援事業補助金（1名）	
3 農業振興費		18	負担金補助及び交付金	42 千円	国見町耕作放棄地再生支援交付金（1名）		
				千円			

事業の目的	●国・県の制度を活用し、農業振興や課題の解決を行うもの	
事業の概要	●福島県営農再開支援事業：果樹（もも、かき等）の改植費用を補助（10/10） ●遊休農地等再生対策支援事業：再生費を補助（1/2）※町補助30千円/10a（認定農業者） ●農業共済加入促進対策事業：果樹共済・収入保険の加入に対する補助（定額）	
事業の成果	●福島県営農再開支援事業：果樹改植面積8.89ha ●遊休農地等再生対策支援事業：遊休農地の再生面積14a ●農業共済加入促進対策事業：果樹共済加入面積3,387.7a、収入保険26,413.64a ●人・農地プランの実質化完了	
次年度以降の見込み	●継続実施	

令和3年度「農業災害緊急支援事業」の成果

決算書頁 63～64頁

所管課名 産業振興課

所管係名 農林振興係

総合計画	目標	4 恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1 おいしい農産物のあるまち	施策名	2 担い手の育成と経営支援
------	----	--------------------	-----	----------------	-----	---------------

前年度 決算額	50,846 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	24,641 千円	金額	75,487 千円	0 千円	53,051 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	22,436 千円		
増減率	48.5 %	構成率	100.0 %	0.0 %	70.3 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	29.7 %			
本年度 最終予算額	80,930 千円	特定財源の名称		●農業等災害対策事業 38,552 ●産地生産力強化総合対策事業14,499								
執行率	93.3 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
6	農林水産業費	18	負担金補助及び交付金	14,499 千円	【凍霜害支援】	農業機械導入支援事業補助金（スピードスプレーヤー×10台）
		18	負担金補助及び交付金	6,000 千円	【凍霜害支援】	果樹産地育成対策事業／桃せん孔細菌病防除（当初予算4,000千円に6,000千円を上乗せ）
	項	項名称	18	負担金補助及び交付金	2,000 千円	【凍霜害支援】
1	農業費	18	負担金補助及び交付金	35 千円	【凍霜害支援】	青色申告支援事業補助金（@35,000円×1名）
		18	負担金補助及び交付金	38,244 千円	【凍霜害支援】	被害割合が30%以上の樹園地におけるせん除作業経費（@36,000円/10a×106.23ha）
目	目名称	18	負担金補助及び交付金	925 千円	【凍霜害支援】	燃焼資材の購入経費（アイスバリア、霜ガードなど）
3	農業振興費	18	負担金補助及び交付金	10,529 千円	【米価下落支援】	令和3年産米が前年から27.2%下落したことから支援（出荷米と種子に@300円/30kg）
		18	負担金補助及び交付金	3,255 千円	【燃料高騰支援】	ガソリン、灯油、電気等が約20%値上げしたことから支援（認定農業者限定で上限10万円内）

事業の目的	度重なる自然災害等により農業者の生産意欲が減退しないよう支援策を実施 ●令和元年⇒台風第19号の冠水 ●令和2年⇒桃せん孔細菌病の蔓延 ●令和3年⇒凍霜害、米価下落、燃料費高騰 ●令和4年⇒ひょう被害、生産資材高騰
事業の概要	【凍霜害支援】 平成以降では最悪の凍霜害となったため、緊急支援策として6事業を実施 【米価下落支援】 27.2%の大幅下落となったため、緊急支援策として下落分の一部を補填 【燃料高騰支援】 20%程度の値上げとなったため、緊急支援策として値上げの一部を補填
事業の成果	●突然の農業災害発災時に、適切かつ円滑な支援策を講じることで、営農意欲の減退を防止
次年度以降の見込み	●農業災害の状況を的確に捉えた上で継続



令和3年度「経営所得安定対策等推進事業」の成果

決算書頁 63～64頁

所管課名 産業振興課

所管係名 農林振興係

総合計画	目標	4 恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1 おいしい農産物のあるまち	施策名	2 担い手の育成と経営支援
------	----	--------------------	-----	----------------	-----	---------------

前年度 決算額	3,797 千円	決算額		特 定 財 源								一般財源
増減額	△ 637 千円	金額	3,160 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	3,160 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	0 千円
増減率	△ 16.8 %	構成率	100.0 %		0.0 %		100.0 %		0.0 %		0.0 %	0.0 %
本年度 最終予算額	3,160 千円	特定財源の名称		●経営所得安定対策等推進事業								
執行率	100.0 %											

款 項 目 節	款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細					
	6	農林水産業費	18	負担金補助及び交付金	3,160 千円	経営所得安定対策推進等に係る経費					
	項	項名称			千円						
1	農業費				千円						
	目	目名称			千円						
3	農業振興費				千円						

事業の目的	●農家の経営安定に資するため、需要に応じた生産で経営所得安定対策の普及推進活動等の取り組みを実施
事業の概要	●システム運用など経営所得安定対策等の運営に必要な経費、対策の推進作付面積の確認等
事業の成果	●経営所得安定対策加入状況 120件
次年度以降の見込み	●経営所得安定対策加入の推進の強化



令和3年度「有害鳥獣対策事業」の成果

決算書頁 62～64頁

所管課名 産業振興課

所管係名 農林振興係

総合計画	目標	4 恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1 おいしい農産物のあるまち	施策名	1 農業生産基盤の整備充実
------	----	--------------------	-----	----------------	-----	---------------

前年度 決算額	6,041 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	153 千円	金額	6,194 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	782 千円	5,412 千円			
増減率	2.5 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	12.6 %	87.4 %				
本年度 最終予算額	6,194 千円	特定財源の名称		●諸収入（ふくしま未来・伊達果負担金）200 ●諸収入（実施隊活動費）582								
執行率	100.0 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
6	農林水産業費	1	報酬	943 千円	鳥獣被害対策実施隊員報酬	
		8	旅費	5 千円	会議・研修旅費	
項	項名称	10	需用費	608 千円	有害鳥獣駆逐用花火、実施隊銃弾、捕獲エサ代、実施隊隊員ベスト等	
1	農業費	11	役務費	307 千円	対象鳥獣止め刺し手数料、罨免許取得等手数料、檻カメラ通信料	
		12	委託料	53 千円	町鳥獣被害対策実施隊射撃訓練業務委託	
目	目名称	15	原材料費	339 千円	侵入防止柵修繕用資材	
3	農業振興費	17	備品購入費	600 千円	野生動物撃退装置設置	
		18	負担金補助 及び交付金	3,339 千円	南奥羽協議会負担金、鳥獣被害防止資材購入補助（電気柵）、再生協議会補助等	

事業の目的	●有害鳥獣による農作物被害の防止
事業の概要	●町鳥獣被害対策実施隊（町被害防止計画対象鳥獣：イノシシ、カラス等の捕獲・駆除等） ●町地域農業再生協議会事業（イノシシ罨購入等） ●町単独事業（電気柵資材購入支援、新規わな免許取得支援）
事業の成果	●町鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣捕獲頭数 イノシシ21頭 ツキノワグマ4頭 ニホンザル2頭 ハクビシン37匹 カラス5羽 スズメ4羽 ●電気柵支援 16件 ●野生動物撃退装置設置 1台
次年度以降の見込み	●町鳥獣被害対策実施隊を中心とした有害鳥獣の捕獲活動の強化 ●被害対策講習会等による有害鳥獣対策の意識啓蒙 ●ICTを活用した効率的な捕獲技術の実証



令和3年度「町農産物PR事業」の成果

決算書頁 62頁

所管課名 産業振興課

所管係名 農林振興係

総合計画	目標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1	おいしい農産物のあるまち	施策名	3	ブランド開発と販路拡大
------	----	---	------------------	-----	---	--------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	1,144 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	19 千円	金額	1,163 千円	0 千円	1,163 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
増減率	1.7 %	構成率	100.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %		
本年度 最終予算額	1,163 千円	特定財源の名称		●「ふくしまプライド」販売力強化支援事業								
執行率	100.0 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
6	農林水産業費	7	報償費	49 千円	ミスピーチキャンペーンクルー謝礼	
		8	旅費	340 千円	PR旅費	
項	項名称	10	需用費	374 千円	PRに係る送料燃料費、対外交流費、賄材料費、対外交流費	
1	農業費	11	役務費	357 千円	PRに係る送料、保険料	
		13	使用料及び賃借料	43 千円	レンタカー代、駐車料金	
目	目名称			千円		
3	農業振興費			千円		
				千円		

事業の目的	●県外において、国見町の農産物をPRし、その美味しさ、品質の良さを多くの人に知ってもらい、風評払拭
事業の概要	●交流町村などで国見町の農産物PR・販売を行い、国見町の農産物の美味しさ、品質の良さを消費者に対面方式で直接説明
事業の成果	●岩手県平泉町、栃木県茂木町、岐阜県池田町などにおいて、直接消費者にPRすることで販路拡大・販売力強化を構築
次年度以降の見込み	●継続実施



令和3年度「くにみ農業ビジネス訓練所事業」の成果

決算書頁 63~64頁

所管課名 産業振興課

所管係名 農林振興係

総合計画	目標	4 恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1 おいしい農産物のあるまち	施策名	2 担い手の育成と経営支援
------	----	--------------------	-----	----------------	-----	---------------

前年度 決算額	19,029 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	△ 1,570 千円	金額	17,459 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	5,135 千円	12,324 千円			
増減率	△ 8.3 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	29.4 %	70.6 %				
本年度 最終予算額	19,424 千円	特定財源の名称						●農産物販売収入				
執行率	89.9 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
6	農林水産業費	1,3	報酬 職員手当等	5,363 千円	会計年度任用職員報酬2名	
		7	報償費	280 千円	短期研修講師謝礼、受入農家謝礼	
		8	旅費	189 千円	短期研修講師費用弁償、職員旅費、会計年度任用職員通勤手当2名	
1	農業費	10	需用費	4,922 千円	栽培用資材、燃料費、光熱水費（電気・ガス・水道）、修繕料	
		11	役務費	464 千円	電話料、各種手数料、建物保険料、車両保険料	
目	目名称	12	委託料	5,762 千円	浄化槽管理、機械警備、施設管理（再生協）、作業委託（シルバー）、出荷（まち会社）	
4	農業ビジネス 訓練所費	13,18	使用料 負担金	131 千円	テレビ受信料、電子図書館使用料、コピー機借上料、道の駅組合費、GAP研修負担金	
		14,15	工事請負費 原材料費	348 千円	排水工事、パルプ取付工事、砕石	

事業の目的	●町の基幹産業である農業の担い手の育成と、主要農産物である水稻、果樹に次ぐ野菜の多品目栽培による園芸作物の振興を図り、「稼げる農業」のビジネスモデルを構築していくことを目的としてくにみ農業ビジネス訓練所を運営
事業の概要	●町内外の青年層や会社を退職したIUJターンによる就農希望者等を対象とし、農業経営の実践者を講師とした研修カリキュラムによる知識や技術の実践的研修を行い、新規就農者の支援と担い手を育成
事業の成果	●研修部門 ①長期研修生 6名 ②短期研修 全20回 延べ207名 ③体験研修 コロナで中止 ●栽培部門 養液栽培によるミニトマトの生産、露地やパイプハウスでの野菜の多品目栽培により「道の駅国見あつかしの郷」及びJA、一般市場へ出荷・販売
次年度以降の見込み	●令和4年度は、長期研修生4名入講 ●IUJターンの就農促進及び研修生の確保と国見町の風土に合った野菜の多品目栽培により、年間を通じた農産物の生産・販売の安定供給



令和3年度「畜産振興事業」の成果

決算書頁 65頁

所管課名 産業振興課

所管係名 農林振興係

総合計画	目標	4 恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1 おいしい農産物のあるまち	施策名	2 担い手の育成と経営支援
------	----	--------------------	-----	----------------	-----	---------------

前年度 決算額	136 千円	決算額				特定財源						一般財源	
増減額	0 千円	金額	136 千円	0 千円	136 千円	136 千円							
増減率	0.0 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	100.0 %	
本年度 最終予算額	136 千円	特定財源の名称											
執行率	100.0 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					千円	
6	農林水産業費	10	需用費	100 千円	特定家畜伝染病予防用消石灰	
		18	負担金補助及び交付金	36 千円	県北家畜衛生推進協議会、県畜産振興協会負担金	
項	項名称			千円		
1	農業費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
5	畜産業費			千円		
				千円		

事業の目的	●畜産農家において特定家畜伝染病は発病すると経営に大打撃を受けてしまい近隣畜産農家にも影響を与えてしまう。そのため、消毒が必要不可欠でありその支援として現物提供を行うものである。
事業の概要	●畜産農家（牛、豚、鶏に限る）における特定家畜伝染病の予防を支援するために消石灰を配付する。
事業の成果	●畜産農家5戸 ●消石灰配付個数 計122袋（20kg/袋）
次年度以降の見込み	●継続



令和3年度「大枝湛水防除施設事業」の成果

決算書頁 65～66頁

所管課名 産業振興課

所管係名 農林振興係

総合計画	目標	4 恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1 おいしい農産物のあるまち	施策名	1 農業生産基盤の整備充実
------	----	--------------------	-----	----------------	-----	---------------

前年度 決算額	8,037 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	△ 5,399 千円	金額	2,638 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,079 千円	1,559 千円				
増減率	△ 67.2 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	40.9 %	59.1 %					
本年度 最終予算額	2,666 千円	特定財源の名称						●伊達市負担金					
執行率	98.9 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
6	農林水産業費	10	需用費	1,576 千円	電気料370、修繕費1,198、消耗品費8	
		11	役務費	201 千円	電話料44、公有物件共済分担金71、浄化槽6、地下タンク定期点検70、危険物取扱保安講習10	
		12	委託料	861 千円	定期点検395、電気工作物109、浄化槽39、環境整備198、消防点検120	
1	農業費			千円		
				千円		
				千円		
6	農地費			千円		
				千円		

事業の目的	●排水機場の適切な管理・運営により被害を最小限に抑え、農業の安定経営と地域住民の生活安定に寄与
事業の概要	●大枝排水機場施設の運営・維持管理
事業の成果	●R3年度緊急運転実績なし ●定期点検を年間8回実施及び修繕・環境整備を実施し、有事に備え
次年度以降の見込み	●引き続き大枝排水機場施設の運営・維持管理を実施



令和3年度「中山間地域等直接支払交付金事業」の成果

決算書頁 65～66頁

所管課名 産業振興課

所管係名 農林振興係

総合計画	目標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1	おいしい農産物のあるまち	施策名	1	農業生産基盤の整備充実
------	----	---	------------------	-----	---	--------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	14,625 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	△ 225 千円	金額	14,400 千円	0 千円	9,635 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	4,765 千円		
増減率	△ 1.5 %	構成率	100.0 %	0.0 %	66.9 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	33.1 %		
本年度 最終予算額	14,400 千円	特定財源の名称		●中山間地域等直接支払/ 事業費9,530 ●中山間地域等直接支払/ 推進費105								
執行率	100.0 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
6	農林水産業費	10	需用費	35 千円	消耗品	
		11	役務費	30 千円	郵便料	
項	項名称	13	使用料 及び賃借料	40 千円	コピー機使用料	
1	農業費	18	負担金補助 及び交付金	14,295 千円	中山間地域等直接支払交付金（負担割合：国1/3、県1/3、町1/3）	
				千円		
目	目名称			千円		
6	農地費			千円		
				千円		

事業の目的	●耕作放棄地の発生防止、山間部の多面的機能の確保を図り、農業生産条件の不利を補正するため、中山間地域直接支払を実施
事業の概要	●集落協定に基づき農業生産活動等を継続するための活動（耕作放棄地発生防止、鳥獣害対策等）に取り組む団体に対し、交付金を交付
事業の成果	●協定地区 ⇒9地区（内谷山越、内谷清上、内谷桐目木、鳥取沼田、貝田、小坂、石母田、高城、山根） ●協定面積⇒1,401,968㎡ ●交付額⇒14,294,916円
次年度以降の見込み	●令和4年度 協定面積 1,401,968㎡、交付額 14,294,916円



令和3年度「多面的支払交付金事業」の成果

決算書頁 65～66頁

所管課名 産業振興課

所管係名 農林振興係

総合計画	目標	4 恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1 おいしい農産物のあるまち	施策名	1 農業生産基盤の整備充実
------	----	--------------------	-----	----------------	-----	---------------

前年度 決算額	14,674 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	4,680 千円	金額	19,354 千円	0 千円	14,640 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	4,714 千円			
増減率	31.9 %	構成率	100.0 %	0.0 %	75.6 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	24.4 %				
本年度 最終予算額	19,354 千円	特定財源の名称		●多面的機能支払交付金/ 事業費14,140 ●多面的機能支払交付金/ 推進費500									
執行率	100.0 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					千円	
6	農林水産業費	10	需用費	500 千円	消耗品費	
		18	負担金補助 及び交付金	18,854 千円	多面的機能支払交付金補助金（負担割合：国1/2、県1/4、町1/4）	
項	項名称			千円		
1	農業費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
6	農地費			千円		
				千円		

事業の目的	●農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るため、それを支える地域活動、農業生産活動の継続、自然環境の保全に資する農業生産活動を支持
事業の概要	●水路等の農業用施設の保安全管理、農村の景観形成に対する活動支援のための対象農地に応じて、交付金を交付
事業の成果	●国見町環境保全会（R3より広域組織化） ●面積 農地維持支払42,422 a、資源向上支払42,422 a ●交付額 18,853,656円
次年度以降の見込み	●令和4年度 農地維持支払42,333a 11,001,700円 資源向上支払42,333a 7,807,424円 計 18,809,124円



令和3年度「林業振興事業」の成果

決算書頁 67頁

所管課名 産業振興課

所管係名 農林振興係

総合計画	目標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1	おいしい農産物のあるまち	施策名	1	農業生産基盤の整備充実
------	----	---	------------------	-----	---	--------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	57,301 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	11,262 千円	金額	68,563 千円	0 千円	55,216 千円	0 千円	12,475 千円	871 千円					
増減率	19.7 %	構成率	100.0 %	0.0 %	80.5 %	0.0 %	18.2 %	1.3 %					
本年度 最終予算額	81,115 千円	特定財源の名称		●ふくしま森林再生事業 52,011				●地方交付税（震災復興特 別交付税）12,474					
執行率	84.5 %			●森林環境交付金1,288				●国見町森林環境譲与税基 金利子1					
				●森林環境譲与税1,917									

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
6	農林水産業費	8	旅費	4 千円	会議等旅費	
		10	需用費	163 千円	消耗品費	
項	項名称	12	委託料	65,715 千円	ふくしま森林再生事業64,485、桜の森環境整備306、木育DIY教室業務委託234、誕生祝品作成業務690	
2	林業費	13	使用料 及び賃借料	171 千円	森林クラウドシステム使用料132、桜の森賃借料39	
		15	原材料費	112 千円	誕生祝品用木材	
目	目名称	18	負担金補助 及び交付金	252 千円	県林業協会負担金14、阿武隈川流域林業活性化C負担金35、日本さくらの会負担金5、緑化推進委員会補助金198	
2	林業振興費	24	積立金	1,917 千円	国見町森林環境譲与税基金	
		27	繰出金	228 千円	大木戸財産区103、入山財産区125	

事業の目的	●森林整備により森林が持つ多面的機能を維持・増進させる。また、木育事業を推進し、地域材で制作した誕生祝品の贈呈のほか各種事業を実施	
事業の概要	①ふくしま森林再生事業（森林整備35.15ha、路網整備1,563m他） ②木育事業（誕生祝品贈呈、DIY教室開催） ③財産区事業（大木戸、入山）	
事業の成果	●健全な森林の育成	
次年度以降の見込み	●継続（ふくしま森林再生事業を中心に町内森林の整備を推進）	

令和3年度「商工業振興事業」の成果

決算書頁 68～69頁

所管課名 産業振興課

所管係名 商工観光係

総合計画	目標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	2	魅力あふれる働きがいのあるまち	施策名	1	商業の活性化
------	----	---	------------------	-----	---	-----------------	-----	---	--------

前年度 決算額	107,405 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	△ 27,974 千円	金額	79,431 千円	0 千円	61,846 千円	0 千円	11,366 千円	6,219 千円					
増減率	△ 26.0 %	構成率	100.0 %	0.0 %	77.9 %	0.0 %	14.3 %	7.8 %					
本年度 最終予算額	81,531 千円	特定財源の名称		●地方創生臨時交付金104,051千円の内				●諸収入(中小企業預託金回収金)10,000千円 ●諸収入(支障物撤去保証金)1,366千円					
執行率	97.4 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
7	商工費	1,7	報酬 報償費	23 千円	国見町工場等設置審議会委員報酬19,500、謝礼2,540	
		8	旅費	12 千円	普通旅費11,700	
項	項名称	10	需用費	2,756 千円	プレミアム商品券印刷製本費(商品券、引換券、チラシ・ポスター)2,755,314	
1	商工費	11	役務費	1,059 千円	プレミアム商品券手数料(販売、新聞折込)1,058,695	
		12	委託料	44,495 千円	アドバイザー委託999,900、プレミアム商品券事業43,495,079	
目	目名称	14	工事請負費	2,145 千円	工業団地案内看板撤去工事1,595,000、街路灯看板撤去工事550,000	
1	商工総務費	18	負担金補助 及び交付金	18,941 千円	負担金72,900、補助金18,867,728(通常補助4,330,000+コロナ関連補助14,537,728)	
2	商工振興費	20	貸付金	10,000 千円	中小企業経営合理化資金融資預託金10,000,000	

事業の目的	●町経済の原動力である中小企業・小規模企業及び創業したい方が、町内で安全安心に経営できるように、国や県、商工会、金融機関、その他関係支援機関と連携して、企業に寄り添う伴走型支援の一体的な取り組みと、6次総計に基づく町の産業振興施策を着実に実行する。	
事業の概要	①くみにみプレミアム商品券事業 47,309,088円 ②国見町新型コロナウイルス感染症小規模事業者経営継続支援事業補助金 4件 1,595,806円 ③国見町新型コロナウイルス対策特別資金信用保証料補助金 32件 4,109,379円 ④国見町新型コロナウイルス対策特別資金融資制度利子補給補助金 37件 2,868,401円 ⑤国見町6次産業化新商品開発事業補助金 2件 1,552,142円 ⑥国見町ポストコロナ社会を見据えた設備投資応援補助金 5件 3,812,000円 ⑦ふくしま感染防止対策認定店支援補助金 12店舗 600,000円	
事業の成果	●町内中小企業・小規模企業の創業準備期から創業～成長～成熟～衰退～承継期まで切れ目ない支援を一体的に取り組み、中小企業・小規模企業が安全安心に経営できる。	
次年度以降の見込み	●継続	

令和3年度「消費者行政活性化事業」の成果

決算書頁 68～69頁

所管課名 産業振興課

所管係名 商工観光係

総合計画	目標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1	おいしい農産物のあるまち	施策名	3	ブランド開発と販路拡大
------	----	---	------------------	-----	---	--------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	4,170 千円	決算額		特定財源								一般財源
増減額	△ 369 千円	金額	3,801 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	3,516 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	285 千円
増減率	△ 8.8 %	構成率	100.0 %		0.0 %		92.5 %		0.0 %		0.0 %	7.5 %
本年度 最終予算額	3,801 千円	特定財源の名称		●消費者風評対策市 町村支援事業交付金 4,000千円の内								
執行率	100.0 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
7	商工費	7	報償費	40 千円	くにみマルシェ事業支援報償40,000	
		8	旅費	38 千円	くにみマルシェ事業支援費用弁償38,129	
項	項名称	10	需用費	304 千円	くにみマルシェ消耗品224,335、チラシポスター印刷製本79,989	
1	商工費	11	役務費	37 千円	新聞折込手数料37,455	
		12	委託料	3,382 千円	事業支援30,250、会場設営1,122,000、会場装飾499,400、運営業務930,600、FMラジオ800,000	
目	目名称			千円		
2	商工振興費			千円		
				千円		

事業の目的	●国見町産の農産物を生産者等が直接消費者へ安全性を説明しながら販売し、風評被害の払拭を図る。
事業の概要	●開催日時 10月23.24日の2日間 ●開催場所 道の駅国見あつかしの郷 ●開催内容 農産物や6次化商品等を生産者や出店者が安全性を説明しながら対面販売、放射能の基本的知識のパネル展示及びチラシ配布、アンケート調査等
事業の成果	●県外から訪れた道の駅来場者に町産品の安全性が認知され風評被害が払拭される。
次年度以降の見込み	●継続予定



令和3年度「観光振興事業」の成果

決算書頁 69～70頁

所管課名 産業振興課

所管係名 商工観光係

総合計画	目標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	2	魅力あふれる働きがいのあるまち	施策名	3	道の駅利活用と観光振興
------	----	---	------------------	-----	---	-----------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	12,825 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額	2,064 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	2,064 千円	
増減額	△ 10,761 千円	金額	2,064 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	2,064 千円	
増減率	△ 83.9 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
本年度 最終予算額	2,236 千円	特定財源の名称										
執行率	92.3 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
7	商工費	8	旅費	9 千円	費用弁償（くにみ案内人）9,100	
		10	需用費	433 千円	消耗品費7,098、印刷製本費（国見町周遊マップ）425,700	
1	商工費	11	役務費	14 千円	損害保険料（くにみ案内人スポーツ保険）13,600	
		12	委託料	184 千円	観光PR物品（鎌倉殿13人タペストリー）183,700	
目	目名称	13	使用料及び賃借料	53 千円	用地借地料53,215	
		14	工事請負費	1,210 千円	阿津賀志山整枝工事1,210,000	
3	観光費	18	負担金補助及び交付金	161 千円	県観光復興推進委員会負担金116,000、観光物産交流協会負担金45,000	
				千円		

事業の目的	●米や桃・りんご・あんぼ柿などの農作物、阿津賀志山や防塁などの名所・旧跡、義経まつりや鹿島神社例大祭などのイベント、観光案内拠点・情報提供窓口の道の駅国見あつかしの郷といった町内外に誇れる町の宝（地域資源）を観光という視点で結びつけ、国見町の魅力を増大させ、町経済の活性化に資する。
事業の概要	●町のシンボル阿津賀志山環境整備・PR強化（草刈、トイレ清掃、ビッグツリー） ●国見町周遊マップの広域配布、JR小さな旅・商工会主催地域振興事業への協力等
事業の成果	●町経済が活性化し、観光客が気持ちよく「国見町に来て良かった」と思い、また再訪し、迎える町の一人一人が国見町の観光の顔として、おもてなしの心と町への愛着心を持つ。
次年度以降の見込み	●継続



令和3年度「道の駅推進事業」の成果

決算書頁 70～71頁

所管課名 産業振興課

所管係名 商工観光係

総合計画	目標	4 恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	2 魅力あふれる働きがいのあるまち	施策名	3 道の駅利活用と観光振興
------	----	--------------------	-----	-------------------	-----	---------------

前年度 決算額	29,475 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	△ 2,017 千円	金額	27,458 千円	3,030 千円	0 千円	0 千円	0 千円	21,970 千円	2,458 千円			
増減率	△ 6.8 %	構成率	100.0 %	11.0 %	0.0 %	0.0 %	80.0 %	9.0 %				
本年度 最終予算額	27,458 千円	特定財源の名称		●道の駅管理負担金				●ふるさと振興基金 繰入金				
執行率	100.0 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
7	商工費	7	報償費	82 千円	第三者評価選定委員会委員報償82,400	
		8	旅費	141 千円	第三者評価選定委員会委員費用弁償132,818、普通旅費7,800	
項	項名称	10	需用費	280 千円	消耗品費29,150、※教育委員会学校教育課へ公用車所管替え：燃料費59,647、修繕費190,872	
1	商工費	11	役務費	482 千円	合併浄化槽手数料33,260、火災保険料414,945、※教育委員会学校教育課へ公用車所管替え：損害保険料33,820	
		12	委託料	1,366 千円	消防設備点検220,000、自家用電気工作物553,476、特定建築物定期検査542,300、除草50,050	
目	目名称	13	使用料及び賃借料	5 千円	道の駅使用料4,800	
4	まちづくり 交流推進費	18	負担金補助及び交付金	25,095 千円	指定管理料25,000,000、東北連絡会負担金75,000、全国連絡会負担金20,000	
		26	公課費	7 千円	自動車重量税6,600	

事業の目的	●年間129万人が訪れ、町活性化に寄与する道の駅国見あつかしの郷（国見町農産物加工施設含む）の安定した維持管理等を行う。
事業の概要	●道の駅国見あつかしの郷、国見町農産物加工施設に係る維持管理費、指定管理料 ●道の駅設置自治体が加入する各道の駅連絡会会費 ●第三者評価選定委員会（4回実施）
事業の成果	●道の駅国見あつかしの郷、国見町農産物加工施設の安定した管理運営及び来場者・利用者への利便性の向上等が図られた。
次年度以降の見込み	●継続



令和3年度「農業施設整備事業」の成果

決算書頁 66頁

所管課名 建設課

所管係名 管理係

総合計画	目標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1	おいしい農産物のあるまち	施策名	1	農業生産基盤の整備充実
------	----	---	------------------	-----	---	--------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	82,151 千円	決算額		特定財源						一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債			
増減額	△ 37,519 千円	金額	44,632 千円	30,465 千円	0 千円	1,400 千円	0 千円	12,767 千円			
増減率	△ 45.7 %	構成率	100.0 %	68.3 %	0.0 %	3.1 %	0.0 %	28.6 %			
本年度 最終予算額	55,717 千円	特定財源の名称		●震災対策農業水利 施設整備事業補助金		●農地債（県営土地 改良事業負担金債）					
執行率	80.10 %										

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
6	農林水産業費	8	旅費	4 千円	普通旅費	
		10	需用費	63 千円	消耗品29、大滝公園電気料29、大滝公園水道料5	
		11	役務費	47 千円	大滝公園浄化槽法定検査手数料10、火災保険料9、損害保険料28	
1	農業費	12	委託料	30,767 千円	ため池耐震診断30,465、浄化槽管理115、土砂撤去187	
		13	使用料及び賃借料	27 千円	借地料3、積算システム24	
目	目名称	14	工事請負費	10,491 千円	水路修繕工事等38件	
6	農地費	18	負担金補助及び交付金	3,233 千円	県土地連事業等負担金1,463、伊達西根堰事業負担金1,770	
				千円		

事業の目的	農業用施設(水路、農道、ため池等)についての整備、維持管理を行う。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 農業用施設(水路、農道、ため池等)の整備、維持管理 伊達西根堰事業に対する補助
事業の成果	農業生産基盤の整備や維持管理により、農業の生産性向上につながった。
次年度以降の見込み	継続して維持管理に努める。



令和3年度「林道整備事業」の成果

決算書頁 67～68頁

所管課名 建設課

所管係名 管理係

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	2	便利で快適なまち	施策名	4	道路・河川の整備
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	----------

前年度 決算額	1,693 千円	決算額		特定財源								一般財源
増減額	4,496 千円	金額	6,189 千円	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		6,189 千円
増減率	265.6 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
本年度 最終予算額	9,326 千円	特定財源の名称										
執行率	66.36 %											

款 項 目 節	款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細					
	6	農林水産業費	10	需用費	10 千円	消耗品費					
		12	委託料	953 千円	林道橋点検診断909、スズメバチ駆除44						
	項	項名称	14	工事請負費	5,226 千円	林道維持管理(阿津賀志線、原町線、水晶森線、泉田線、南半田・赤坂線、北口線)					
2	林業費				千円						
					千円						
	目	目名称			千円						
3	林道費				千円						
					千円						

事業の目的	森林資源の有効活用を図るため林道の維持管理を行う。	
事業の概要	林道の維持管理及び林道橋の点検診断	
事業の成果	林道を安心して通行ができている。	
次年度以降の見込み	継続して維持管理に努める。	

令和3年度「土木総務管理事業」の成果

決算書頁 71頁

所管課名 建設課

所管係名 建設係

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	2	便利で快適なまち	施策名	4	道路・河川の整備
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	----------

前年度 決算額	945 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	291 千円	金額	1,236 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,236 千円		
増減率	30.8 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
本年度 最終予算額	1,281 千円	特定財源の名称											
執行率	96.49 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細						
8	土木費	10	需用費	17 千円	消耗品						
		13	使用料及び賃借料	1,177 千円	公用車リース526、積算システム機器202、システム使用料449						
	18	負担金補助及び交付金	42 千円	県道路整備促進協議会25、県建設技術協会17							
1	土木管理費			千円							
	目			千円							
1	土木総務費			千円							
				千円							

事業の目的	土木関係共通経費
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車のリース ・積算システムの借上げ及び保守点検
事業の成果	維持管理工事等の現地調査や積算を行い、事業推進が図れた。
次年度以降の見込み	継続して借上げや保守点検を行う。



令和3年度「道路維持事業(共通経費)」の成果

決算書頁 72頁

所管課名 建設課

所管係名 建設係

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	2	便利で快適なまち	施策名	4	道路・河川の整備
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	----------

前年度 決算額	2,021 千円	決算額		特定財源						一般財源		
増減額	348 千円	金額	2,369 千円	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		2,369 千円
増減率	17.2 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
本年度 最終予算額	2,371 千円	特定財源の名称										
執行率	99.92 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
8	土木費	11	役務費	39 千円	自動車損害共済39	
		12	委託料	2,330 千円	道路台帳異動処理2,330	
項	項名称			千円		
2	道路橋梁費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
1	道路橋梁総務費			千円		
				千円		

事業の目的	道路台帳の整備等を行う。
事業の概要	道路台帳の異動処理
事業の成果	道路台帳の整備により維持管理等を効率的・効果的に行うことができた。
次年度以降の見込み	継続して道路台帳異動処理とシステム構築を行う。



令和3年度「道路維持事業(道路維持・除雪)」の成果

決算書頁 72頁

所管課名 建設課
所管係名 建設係・管理係

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	2	便利で快適なまち	施策名	4	道路・河川の整備
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	----------

前年度 決算額	71,201 千円	決算額				特定財源				一般財源	
		金額	124,398 千円	40,718 千円	0 千円	20,000 千円	2,660 千円	61,020 千円			
増減額	53,197 千円	金額	124,398 千円	40,718 千円	0 千円	20,000 千円	2,660 千円	61,020 千円			
増減率	74.7 %	構成率	100.0 %	32.7 %	0.0 %	16.1 %	2.1 %	49.1 %			
本年度 最終予算額	130,777 千円	特定財源の名称		●社総金(道路ストック事業)		●道路橋梁債(橋梁補修事業)		●道路占用料 ●行政財産使用料			
執行率	95.12 %										

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
8	土木費	1	報酬	1,812 千円	道路監視員 2 名	
		3	職員手当等	365 千円	道路監視員 2 名・期末手当	
項	項名称	8	旅費	58 千円	道路監視員 2 名・通勤手当	
2	道路橋梁費	10	需用費	2,134 千円	消耗品2,063、電気料71	
		12	委託料	92,364 千円	測量設計861、植樹管理217、嘱託登記61、除雪22,953、橋梁点検68,272	
目	目名称	13	使用料及び賃借料	30 千円	町道用地借地料	
2	道路維持費	14	工事請負費	26,435 千円	町道修繕15件11,034、撤去2件225、町道維持37件15,176	
		15	原材料費	1,158 千円	路面補修材	
		16	公有財産購入費	42 千円	用地買収(待避所用地等)	
				千円		

事業の目的	生活道路の安全安心を保持するため維持管理を行う。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・町道の維持管理（除雪を含む） ・道路施設の長寿命化のための橋梁点検・修繕設計 	
事業の成果	生活に密着した道路が安心して通行できている。	
次年度以降の見込み	継続して維持管理に努める。	

令和3年度「橋梁維持事業」の成果

決算書頁 72～73頁

所管課名 建設課

所管係名 建設係

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	2	便利で快適なまち	施策名	4	道路・河川の整備
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	----------

前年度 決算額	77 千円	決算額		特定財源								一般財源
増減額	105 千円	金額	182 千円	国庫支出金		県支出金		地方債		その他		182 千円
増減率	136.4 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
本年度 最終予算額	187 千円	特定財源の名称										
執行率	97.33 %											

款 項 目 節	款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細					
	8	土木費		10	需用費	82 千円	徳江大橋街路灯電気料				
14				工事請負費	100 千円	徳江大橋水銀灯ランプ取替					
2	道路橋梁費				千円						
					千円						
3	橋梁維持費				千円						
					千円						

事業の目的	既存橋梁の維持管理を行う。
事業の概要	既存橋梁の維持管理、外灯電気料
事業の成果	既存橋梁の適正な維持管理により安全な通行ができる。
次年度以降の見込み	継続して維持管理に努める。



令和3年度「道路改良舗装事業」の成果

決算書頁 73頁

所管課名 建設課

所管係名 建設係

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	2	便利で快適なまち	施策名	4	道路・河川の整備
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	----------

前年度 決算額	7,715 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額		構成率		国庫支出金		県支出金		地方債		
増減額	47,439 千円	金額	55,154 千円	構成率	100.0 %	24,758 千円	0 千円	19,000 千円	0 千円	11,396 千円		
増減率	614.9 %					44.9 %	0.0 %	34.4 %	0.0 %	20.7 %		
本年度 最終予算額	96,635 千円	特定財源の名称				●社総金(道路事業)		●道路橋梁債(町道111号、町道2058号、町道4078号)				
執行率	57.07 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
8	土木費	10	需用費	118 千円	消耗品7、燃料費111	
		12	委託料	24,909 千円	道路測量設計22,500、調査測量352、土地鑑定評価935、物件調査1,122	
項	項名称	14	工事請負費	12,826 千円	町道2046号改良	
2	道路橋梁費	16	公有財産購入費	12,935 千円	用地買収5件	
		21	補償補填及び賠償金	4,366 千円	立木補償等4件	
目	目名称			千円		
4	道路橋梁新設改良費			千円		
				千円		

事業の目的	狭隘道路、未舗装道路を改良、舗装して安全安心な町道の整備を行う。
事業の概要	町道2046号の拡幅改良工事
事業の成果	町道の整備を進めることができた。
次年度以降の見込み	<ul style="list-style-type: none"> 優先順位を整理し、必要な路線の整備を進める。 国道4号拡幅に関連する町道等の整備を継続して進める。



令和3年度「河川維持管理事業」の成果

決算書頁 73~74頁

所管課名 建設課

所管係名 建設係

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	2	便利で快適なまち	施策名	4	道路・河川の整備
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	----------

前年度 決算額	5,011 千円	決算額		特定財源						一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債			
増減額	37,553 千円	金額	42,564 千円	0 千円	86 千円	41,400 千円	836 千円	242 千円			
増減率	749.4 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.2 %	97.3 %	2.0 %	0.6 %			
本年度 最終予算額	55,182 千円	特定財源の名称		●河川水門管理委託金		●河川管理事業債(緊急自然災害防止対策事業)		●緊急河川整備受託金			
執行率	77.13 %										

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
8	土木費	10	需用費	161 千円	消耗品	
		12	委託料	4,284 千円	県河川雑草木刈払836、嘱託登記3,362、河川水門管理86	
項	項名称	16	公有財産購入費	21,351 千円	滑川用地買収23件	
3	河川費	18	負担金補助及び交付金	52 千円	県砂防協会5、県治水協会40、阿武上期成同盟会7	
		21	補償補填及び賠償金	16,716 千円	滑川立木等補償9件	
目	目名称			千円		
1	河川総務費			千円		
2	河川維持費			千円		

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 河川の維持管理を図る。 河川氾濫・災害等への対応として県と連携し滑川の改修整備を進める。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 県からの受託となる樋門管理等の業務 滑川改修整備に係る用地買収と立木等補償
事業の成果	河川の災害対策と維持作業による管理が図られた。
次年度以降の見込み	<ul style="list-style-type: none"> 継続して維持管理に努める。 県と連携し滑川改修整備を進める。



令和3年度「都市計画事業」の成果

決算書頁 74～75頁

所管課名 建設課

所管係名 管理係

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	2	便利で快適なまち	施策名	1	有効な土地利用
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	---------

前年度 決算額	17,507 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額	10,876 千円	624 千円	312 千円	0 千円	314 千円	9,626 千円				
増減額	△ 6,631 千円	金額	10,876 千円	624 千円	312 千円	0 千円	314 千円	9,626 千円				
増減率	△ 37.9 %	構成率	100.0 %	5.7 %	2.9 %	0.0 %	2.9 %	88.5 %				
本年度 最終予算額	12,087 千円	特定財源の名称		●社総金(住宅耐震診断者派遣事業)		●住宅耐震診断者派遣事業		●屋外広告物許可申請手数料 ●町有地貸付料				
執行率	89.98 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細		
					金額	内容	
款 目 節	8	8	旅費	3 千円	旅費		
			10	需用費	184 千円	消耗品3、駅前・ニュータウン街路灯、公園・電気料151、公園・水道料30	
	4	11	役務費	94 千円	ニュータウン公園建物火災保険		
			12	委託料	4,332 千円	消防設備点検99、公園植栽957、施設維持(トイレ清掃、外灯点灯調査)113、都計図作成1,555、耐震診断1,608	
				14	工事請負費	1,279 千円	公園外灯、駅前街路灯、公園遊具修繕
1	都市計画総務費	18	負担金補助及び交付金	4,984 千円	都市計画協会28、県区画整理協会6、コンパクトなまちづくり推進協議会10、街路事業負担金4,940		

事業の目的	都市計画区域内の均衡ある発展と非耐震の木造住宅改修等の支援を行い、安心安全な都市環境の保全を図る。
事業の概要	都市計画関連業務、公園管理、木造耐震改修等支援
事業の成果	均衡ある都市環境の形成と安心安全な居住環境の確保に資することができた。
次年度以降の見込み	継続して関連施設の維持管理及び耐震改修等の支援を行う。



令和3年度「都市再生整備計画推進事業」の成果

決算書頁 75頁

所管課名 建設課

所管係名 建設係

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	2	便利で快適なまち	施策名	1	有効な土地利用
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	---------

前年度 決算額	156,178 千円	決算額				特定財源					一般財源		
		金額	128,027 千円	金額	63,522 千円	金額	0 千円	金額	57,400 千円	金額		0 千円	
増減額	△ 28,151 千円	構成率	100.0 %	構成率	49.6 %	構成率	0.0 %	構成率	44.8 %	構成率	0.0 %	構成率	5.5 %
本年度 最終予算額	182,504 千円	特定財源の名称				●社総金(都市再生整備計画推進事業) ●景観改善推進事業費補助金		●都市再生整備事業債(歴史公園整備)					
執行率	70.15 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
8	土木費	12	委託料	15,908 千円	工事監理9,968、景観計画策定業務5,940	
		14	工事請負費	111,555 千円	案内看板設置3,630、歴史公園整備107,925	
	項	項名称	22	償還金利子及び割引料	564 千円	償還金
4	都市計画費			千円		
				千円		
目	目名称			千円		
				千円		
3	都市再生整備計画推進費			千円		
				千円		

事業の目的	町内の史跡等を観光施設として整備し、町内外の人々が町全体を周遊し、地域との交流を推進する。	
事業の概要	前年度継続事業（歴史公園整備、景観計画策定業務）	
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 歴史公園整備工事の完了と開園ができた。 景観計画素案の作成が完了した。 	
次年度以降の見込み	令和4年度に事業効果分析調査を行い、現計画の事業が終了する。	

令和3年度「住宅維持管理事業」の成果

決算書頁 75~76頁

所管課名 建設課

所管係名 管理係

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	2	便利で快適なまち	施策名	3	住宅の整備と空家対策
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	------------

前年度 決算額	15,314 千円	決算額				特定財源						一般財源	
		金額	16,506 千円	2,970 千円	0 千円	0 千円	13,536 千円	0 千円	0 千円	82.0 %	0.0 %		
増減率	7.8 %	構成率	100.0 %	18.0 %	0.0 %	0.0 %	82.0 %	0.0 %					
本年度 最終予算額	17,671 千円	特定財源の名称				●社総金(老朽公営住宅除却事業)						●町営・定住促進住宅使用料 ●町営・定住促進住宅駐車場使用料 ●住宅防火施設整備補助事業	
執行率	93.41 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
8	土木費	7	報償費	80 千円	町営住宅管理人	
		8	旅費	4 千円	普通旅費	
	10	需用費	3,086 千円	消耗品84、印刷製本5、電気料592、水道料22、修繕料93件2,383		
	11	役務費	514 千円	各種検査、口座振替、火災保険442		
		12	委託料	3,803 千円	消防設備点検431、浄化槽156、排水管清掃625、受水槽164、植栽161、EV1,452、特定建築物検査517、除却設計297	
14	工事請負費	9,009 千円	住宅修繕21件6,699、老朽公営住宅除却1件2,310			
1	住宅管理費	18	負担金補助及び交付金	10 千円	地域住宅協議会	
				千円		

事業の目的	住宅困窮者の生活の安定と社会福祉の増進を図る
事業の概要	町営住宅の維持管理
事業の成果	住宅に困窮している人へ低価な家賃での住宅提供により、安心した生活の場を確保させることができた。
次年度以降の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して維持管理に努める。 ・住宅使用料の収納率向上に向けて、完納相談の実施、訴訟や調停などの対策を進める。



令和3年度「原発災害対策事業(建設)」の成果

決算書頁 80頁

所管課名 建設課
 所管係名 建設係

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	3	環境に優しいまち	施策名	1	循環・再生型社会の実現
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	-------------

前年度 決算額	416,284 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	△ 135,590 千円	金額	280,694 千円	0 千円	280,694 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
増減率	△ 32.6 %	構成率	100.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %		
本年度 最終予算額	361,276 千円	特定財源の名称		●除染対策事業交付金								
執行率	77.70 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
9	消防費	10	需用費	862 千円	消耗品781、燃料費81	
		11	役務費	54 千円	手数料23、損害保険料31	
項	項名称	12	委託料	153,890 千円	測量設計19,030、施設管理113,286、機器保守825、運搬77、発注者支援20,672	
2	原発災害対策費	13	使用料及び賃借料	16,822 千円	公用車リース855、用地借地料15,862、システム使用料105	
		14	工事請負費	109,066 千円	施設整備等	
目	目名称			千円		
2	原発災害対策費			千円		
				千円		

事業の目的	原発事故由来の放射性物質による環境汚染が町民の健康または生活環境に及ぼす影響について低減させること。	
事業の概要	仮置場原状回復工事等	
事業の成果	仮置場の原状回復により周辺住民等の不安が解消された。	
次年度以降の見込み	令和4年度にすべての仮置場の原状回復と返地を行い、事業完了となる。	

令和3年度「監査運営事務」の成果

決算書頁 44頁

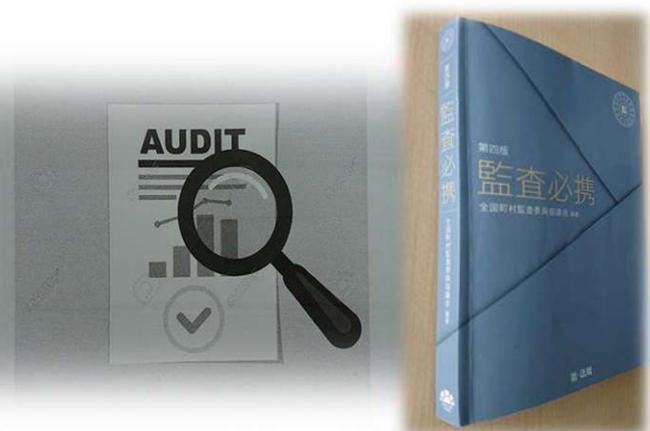
所管課名 監査委員事務局

所管係名 —

総合計画	目標	5	相互理解と共感のあるまちづくり	政策名	1	身近で信頼されるまち	施策名	1	持続可能な行財政運営
------	----	---	-----------------	-----	---	------------	-----	---	------------

前年度 決算額	571 千円	決算額				特定財源				一般財源	
増減額	△1 千円	金額	570 千円	0 千円	570 千円						
増減率	△0.2 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	
本年度 最終予算額	570 千円	特定財源の名称									
執行率	100.00 %										

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細		
款 項 目 節	2 総務費	1	報酬	565 千円	監査委員報酬（識見委員360、議選委員205）		
		8	旅費	0 千円			
	項	項名称	10	需用費	5 千円	消耗品費（監査用パイプ式ファイル3、アルコール除菌等2）	
	6 監査委員費	目	18	負担金補助及び交付金	0 千円		
						千円	
1	監査委員費			千円			

事業の目的	地方自治法第195条に基づいて設置する独任制の執行機関である監査委員によって、町の行財政の適法性、能率性の保障を期するため。	
事業の概要	地方自治法、地方公共団体の財政の健全化に関する法律及び地方公営企業法の規定に基づき、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、監査、検査及び審査を実施し、その結果に関する報告を決定し、これを議会及び町長等に提出、公表する。	
事業の成果	町の財務事務の執行や経営に係る事業の管理、行政事務一般について、合規性、正確性、経済性、効率性、有効性の視点により監査等を実施することで、これらの事務の適法性・能率性の確保が図られた。	
次年度以降の見込み	令和2年4月1日施行の地方自治法の改正により自治体監査制度の充実強化が図られるなど、監査の役割は重要となっている。より一層監査機能の充実を図り、住民の福祉の増進に寄与するため、法令の規定に基づき実施していく。	

令和3年度「学力向上対策事業」の成果

決算書頁 83頁

所管課名 学校教育課

所管係名 学校教育係

総合計画	目標	3 未来につながるまちづくり	政策名	2 生きる力をはぐくむまち（義務教育）	施策名	3 学習環境の充実
------	----	----------------	-----	---------------------	-----	-----------

前年度 決算額	1,491 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額		構成率		国庫支出金		県支出金		地方債		
増減額	△ 339 千円	金額	1,152 千円	構成率	100.0 %	0 千円	338 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	814 千円
増減率	△ 22.7 %					0.0 %	29.3 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %		70.7 %
本年度 最終予算額	1,301 千円	特定財源の名称				●森林環境交付金						
執行率	88.55 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
10	教育費	7	報償費	220 千円	講師謝金	
		8	旅費	30 千円	費用弁償、特別旅費	
項	項名称	10	需用費	54 千円	消耗品	
1	教育総務費	12	委託料	731 千円	学力診断テスト、バス運行委託	
		13	使用料及び賃借料	2 千円	自動車借上料	
目	目名称	18	負担金補助及び交	115 千円	中学2・3年生英語数学検定試験1/2負担金	
3	学力向上対策費			千円		
				千円		

事業の目的	学力向上、運動能力向上・体力向上 英語教育の充実、不登校児童・生徒のサポート
事業の概要	小中学生学力テスト、体力テストの実施 森林環境交付金事業 英会話体験活動事業(中学2年生) 英語・数学検定試験助成(中学2・3年生)
事業の成果	学力テスト、体力テストの結果を分析し、課題を把握し学力・体力向上の充実を図ることができた。また、森林環境学習を行い、自然とのかかわりを学ぶことができた。2年生の英会話体験事業では、他町のATL等を講師として、生きた英語を学ぶことができた。2・3年生対象の英語・数学検定試験は英検が58名が助成を受け、検定試験を受けた。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施



令和3年度「育英事業」の成果

決算書頁 83頁

所管課名 学校教育課

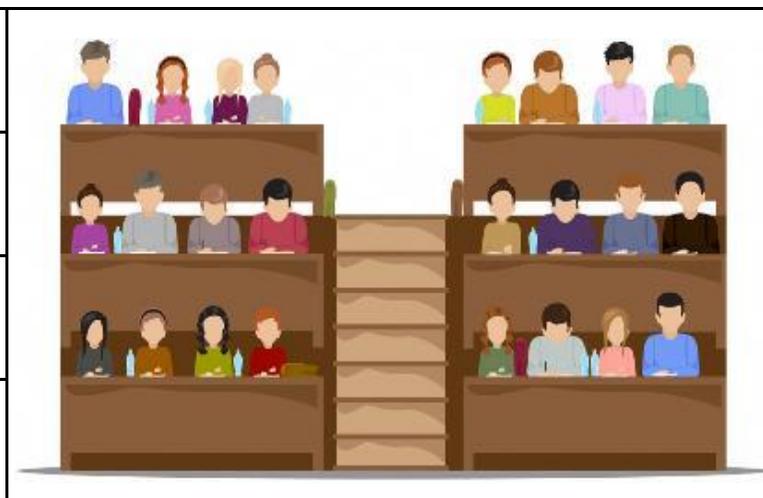
所管係名 学校教育係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）	施策名	3	学習環境の充実
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------	-----	---	---------

前年度 決算額	2,100 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額	1,345 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,343 千円	2 千円		
増減額	△ 755 千円	金額	1,345 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,343 千円	2 千円			
増減率	△ 36.0 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	99.9 %	0.1 %				
本年度 最終予算額	2,645 千円	特定財源の名称				<ul style="list-style-type: none"> ●奨学基金利子 ●奨学基金繰入金 ●奨学資金返還金 						
執行率	50.85 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
10	教育費	11	役務費	2 千円	手数料	
		20	貸付金	1,340 千円	修学資金	
		24	積立金	3 千円	積立金	
1	教育費総務費			千円		
				千円		
				千円		
4	育英事業費			千円		
				千円		

事業の目的	町内出身の学生が能力があるにもかかわらず経済的な理由により修学困難と認められたとき、奨学資金を貸与することで教育の機会均等を図り、健全な社会の発展に資する。
事業の概要	高校、高等専門学校、大学で学びたい学生に奨学金、入学支度金を貸与する。 (修学資金、入学支度金学の増額改定)
事業の成果	修学資金 5名 (大学4名、専門学校1名) 入学支度金 1名 (令和4年度入学予定者)
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施



令和3年度「小学校管理事業」の成果

決算書頁 83~85頁

所管課名 学校教育課

所管係名 学校教育係

総合計画	目標	3 未来につながるまちづくり	政策名	2 生きる力をはぐくむまち（義務教育）	施策名	3 学習環境の充実
------	----	----------------	-----	---------------------	-----	-----------

前年度 決算額	93,693 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額		千円		国庫支出金		県支出金		地方債		
増減額	△ 20,387 千円	金額	73,306 千円	2,717 千円	2,354 千円	0 千円	188 千円	68,047 千円				
増減率	△ 21.8 %	構成率	100.0 %	3.7 %	3.2 %	0.0 %	0.3 %	92.8 %				
本年度 最終予算額	74,882 千円	特定財源の名称		●地方創生臨時交付金 ●学校保健特別対策事業費補助金		●スクールソーシャル ワーカー緊急派遣事業				●売電収入 ●日本スポーツ振興センター掛金保護者納付分		
執行率	97.90 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					千円	内容
10	教育費	1	報酬	17,371 千円	学校医・学校歯科医・薬剤師、会計年度任用職員報酬	
		3	職員手当等	2,652 千円	会計年度任用職員期末手当	
		7	報償費	1,180 千円	非常勤講師（英語）	
		8	旅費	690 千円	スクールソーシャルワーカー家庭訪問移動、支援員児童引率、会計年度任用職員通勤手当	
2	小学校費	10	需用費	9,656 千円	事務用品、燃料費、光熱水費、校舎等修繕等	
		11	役務費	1,178 千円	郵便料、電話料、各種検査手数料、建物災害共済等	
		12	委託料	35,214 千円	スクールバス運行業務、ICT環境保守運用、施設保守点検業務	
1	学校管理費	13	使用料及び賃借料	1,349 千円	駐車場敷地借用料、コピー機借上料等	
		14	工事請負費	3,344 千円	施設整備工事、換気扇取付工事	
		17	備品購入費	398 千円	ファンヒーター、ノートパソコン	
		18	負担金補助及び交	274 千円	日本スポーツ振興センター負担金	

事業の目的	社会の変化に対応した、安全安心な教育環境の提供
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎等の維持管理（ICT環境整備、法定整備点検等） ・SSW,学校医,英語教育非常勤講師等の配置 ・スクールバスの運行
事業の成果	教育環境の整備に努めることで、児童及び保護者、教職員が安心して効果的に学習活動に取り組むことが出来た。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施



令和3年度「小学校教育振興事業」の成果

決算書頁 85～86頁

所管課名 学校教育課

所管係名 学校教育係

総合計画	目標	3 未来につながるまちづくり	政策名	2 生きる力をはぐくむまち（義務教育）	施策名	3 学習環境の充実
------	----	----------------	-----	---------------------	-----	-----------

前年度 決算額	10,613 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	22,765 千円	金額	33,378 千円	27,594 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	5,784 千円		
増減率	214.5 %	構成率	100.0 %	82.7 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	17.3 %			
本年度 最終予算額	33,816 千円	特定財源の名称		●地方創生臨時交付金 ●公立学校情報機器整備費補助 ●特別支援教育奨励費								
執行率	98.70 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
10	教育費	7	報償費	217 千円	総合学習講師報償、卒業記念品	
		10	需用費	1,411 千円	教材費、楽器等修繕	
項	項名称	11	役務費	33 千円	モバイルルーター通信料	
2	小学校費	12	委託料	27,492 千円	知能テスト、校外学習送迎委託業務、ICT活用環境整備業務（繰越）、学習ソフトウェア導入業務（繰越）	
		13	使用料及び賃借料	1,621 千円	電子黒板リース、i-FILTERライセンス	
目	目名称	17	備品購入費	2,099 千円	オルガン、大型提示装置、ノートパソコン、児童図書	
2	教育振興費	19	扶助費	505 千円	要保護・準用保護児童就学援助費、特別支援教育就学奨励費補助金	
				千円		

事業の目的	すべての児童の情報活用能力及び言語能力に支えられた学習の基盤となる資質・能力の育成。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教材備品・ICT環境の充実 ・要保護・準用保護児童就学援助及び特別支援教育就学奨励費補助金
事業の成果	創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することで、主体的・対話的で深い学びを実現し、すべての児童の学力の向上、豊かな心の育成、健康・体力の向上を図った。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施



令和3年度「中学校管理事業」の成果

決算書頁 86～88頁

所管課名 学校教育課

所管係名 学校教育係

総合計画	目標	3 未来につながるまちづくり	政策名	2 生きる力をはぐくむまち（義務教育）	施策名	3 学習環境の充実
------	----	----------------	-----	---------------------	-----	-----------

前年度 決算額	51,426 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額	33,831 千円	5,383 千円	千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	22,665 千円		
増減額	△ 17,595 千円	金額	33,831 千円	5,383 千円	千円	5,700 千円	83 千円	22,665 千円				
増減率	△ 34.2 %	構成率	100.0 %	15.9 %	0.0 %	16.8 %	0.2 %	67.0 %				
本年度 最終予算額	35,219 千円	特定財源の名称				●地方創生臨時交付金 ●学校保健特別対策事業費補助金 ●学校施設環境改善交付金		●県北中学校火災報知設備更新事業債		●日本スポーツ振興センター掛金保護者納付分		
執行率	96.06 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
10	教育費	1	報酬	3,395 千円	学校医・学校歯科医・薬剤師、会計年度任用職員報酬	
		3	職員手当等	418 千円	会計年度任用職員期末手当	
		8	旅費	78 千円	支援員児童引率、会計年度任用職員通勤手当	
		10	需用費	7,877 千円	事務用品、燃料費、光熱水費、校舎等修繕等	
		11	役務費	1,205 千円	郵便料、電話料、各種検査手数料、建物災害共済等	
3	中学校費	12	委託料	5,420 千円	ICT環境保守運用、施設保守点検業務	
		13	使用料及び賃借料	756 千円	コピー機借上料等	
		14	工事請負費	13,897 千円	施設整備工事、換気扇取付工事、自動火災報知設備改修（繰越）	
1	学校管理費	17	備品購入費	599 千円	カーテン、ストーブ等	
		18	負担金補助及び交	186 千円	日本スポーツ振興センター負担金	
				千円		

事業の目的	社会の変化に対応した、安全安心な教育環境の提供
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎等の維持管理（ICT環境整備、法定整備点検等） ・スクールカウンセラー、学校医、英語教育非常勤講師等の配置
事業の成果	教育環境の整備に努めることで、生徒及び保護者、教職員が安心して効果的に学習活動に取り組むことが出来た。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施



令和3年度「中学校教育振興事業」の成果

決算書頁 88～89頁

所管課名 学校教育課

所管係名 学校教育係

総合計画	目標	3 未来につながるまちづくり	政策名	2 生きる力をはぐくむまち（義務教育）	施策名	3 学習環境の充実
------	----	----------------	-----	---------------------	-----	-----------

前年度 決算額	16,848 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額	31,081 千円	国庫支出金	19,653 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	
増減率	84.5 %	構成率	100.0 %		63.2 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %	36.8 %
本年度 最終予算額	31,726 千円	特定財源の名称				●地方創生臨時交付金、●公立学校情報機器整備費補助、●特別支援教育奨励費、●理科教育設備整備費等補助金						
執行率	97.97 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
10	教育費	7	報償費	465 千円	総合学習講師報償、卒業記念品、スクールカウンセラー	
		8	旅費	15 千円	スクールカウンセラー費用弁償	
		10	需用費	1,630 千円	教材費、楽器等修繕	
		11	役務費	36 千円	モバイルルーター通信料	
		12	委託料	19,482 千円	知能テスト、伊達地区音楽祭送迎委託業務、ICT活用環境整備業務（繰越）、学習ソフトウェア導入業務（繰越）	
3	中学校費	13	使用料及び賃借料	2,954 千円	PCシステムリース、電子黒板リース、i-FILTERライセンス、教材借上料等	
		17	備品購入費	3,492 千円	バスクラリネット、薬品庫、顕微鏡、ノートパソコン、大型提示装置、生徒用図書	
		18	担金補助及び交付	1,625 千円	部活動補助金	
2	教育振興費	19	扶助費	1,382 千円	要保護・準用保護児童就学援助費、特別支援教育就学奨励費補助金	

事業の目的	すべての生徒の情報活用能力及び言語能力に支えられた学習の基盤となる資質・能力の育成
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教材備品・ICT環境の充実 ・要保護・準用保護児童就学援助及び特別支援教育就学奨励費補助金 ・部活動補助金
事業の成果	創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することで、主体的・対話的で深い学びを実現し、すべての児童の学力の向上、豊かな心の育成、健康・体力の向上を図った。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施



令和3年度「学校給食事業」の成果

決算書頁 101～103頁

所管課名 学校教育課

所管係名 給食センター

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	2	生きる力をはぐくむまち	施策名	1	子どもの生きる力の育成
------	----	---	--------------	-----	---	-------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	92,270 千円	決算額				特定財源				一般財源			
		国庫支出金		県支出金		地方債		その他					
増減額	2,466 千円	金額	94,736 千円		4,056 千円		1,229 千円		7,800 千円		5,645 千円	76,006 千円	
増減率	2.7 %	構成率	100.0 %		4.3 %		1.3 %		8.2 %		6.0 %	80.2 %	
本年度 最終予算額	96,624 千円	特定財源の名称				●学校施設環境改善交付金		●学校給食モニタリング事業 (297千円) ●学校給食等地産地消推進事業 (932千円)		●給食センター空調設備更新事業債		●地方交付税(震災復興特別交付税60+673=733千円) ●諸収入(給食事業収入 現年 4,912千円)	
執行率	98.05 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
10	教育費	1	報酬	47 千円	給食センター運営委員会	
		8	旅費	2 千円	給食センター運営委員会	
		10	需用費	50,583 千円	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料(排水処理施設ばっ気槽担体架台修繕他)、賄材料費	
項	項名称	11	役務費	564 千円	電話料、車検、各種検査、火災保険料、損害保険料	
6	保健体育費	12	委託料	32,097 千円	調理・配膳業務、毎食放射能検査、各種点検保守、環境整備他、実施設計(繰越分)	
		13	使用料及び賃借料	19 千円	清掃用具	
		14	工事請負費	10,918 千円	施設改修工事、空調設備改修工事(繰越分)	
目	目名称	17	備品購入費	470 千円	学校給食用食器一式購入(幼稚園用)	
3	学校給食費	18	負担金補助及び交付金	16 千円	学校給食研究会費、栄養士部会負担金、栄養教諭期成福島県支部会費、栄養職員協議会福島県支部会費	
		26	公課費	20 千円	自動車重量税(配送トラック、軽トラック)	

事業の目的	学校給食における児童生徒の健康増進、体位の向上と望ましい食習慣の形成を目指し、より一層安全で「喜ばれる学校給食」を提供する。	 <p>給食配膳の風景</p>  <p>職場訪問の1コマ</p>
事業の概要	①安全・安心な学校給食の提供 ②給食指導の充実 ③給食センター運営委員会 ④学校給食献立作成委員会 ⑤給食センター施設の管理運営	
事業の成果	学校給食を活用した食育を推進することで、「健康増進」「正しい食習慣」「感謝の心」「郷土愛」「生産・流通・消費」について学習することができた。	
次年度以降の見込み	次年度以降も継続事業	

令和3年度「地域学校協働本部事業」の成果

決算書頁 81~82頁

所管課名 生涯学習課

所管係名 生涯学習係

総合計画	目標	3 未来につながるまちづくり	政策名	2 生きる力をはぐくむまち	施策名	2 地域とともにある教育
------	----	----------------	-----	---------------	-----	--------------

前年度 決算額	2,868 千円	決算額		特定財源									
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
増減額	6,965 千円	金額	9,833 千円		千円	6,458 千円	千円		千円		千円	3,375 千円	千円
増減率	242.9 %	構成率	100.0 %	0.0 %		65.7 %		0.0 %		0.0 %		34.3 %	
本年度 最終予算額	10,402 千円	特定財源の名称		地域学校協働活動補助事業 地域学校協働活動6,263千円 家庭教育支援活動195千円									
執行率	94.53 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
10	教育費	7	報償費	2,948 千円	コーディネーター1,479円、学校支援員1,048円、講師等419千円	
		8	旅費	343 千円	費用弁償343千円	
	10	需用費	532 千円	消耗品費426千円、燃料費5千円、印刷製本費100千円		
1	教育総務費	11	役務費	88 千円	電話料金88千円	
		12	委託料	5,922 千円	公営塾運営業務	
目	目名称			千円		
2	事務局費			千円		
				千円		

事業の目的	地域の人材等を活用し、郷土教育や体験活動の充実など地域に根差した豊かな学びを推進するもの。また、個に応じた多様な学びができるよう放課後等に学習できる環境づくりを推進する。
事業の概要	地域学校協働補助事業を活用する。 ①ボランティアによる学校支援活動、②学校と地域の協働活動、③放課後等学習支援活動
事業の成果	①地域人材の活用図った。②学校と地域のコーディネートにより協働活動を実施できた。③放課後等に学習等の支援を実施した。
次年度以降の見込み	子どもたちの成長に合わせ、継続的な取り組みが必要



令和3年度「社会教育事業」の成果

決算書頁 91～92頁

所管課名 生涯学習課

所管係名 生涯学習係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち	施策名	1	生涯学習の推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------	-----	---	---------

前年度 決算額	5,324 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	△ 2,575 千円	金額	2,749 千円		千円		千円		千円		千円	2,749 千円	千円
増減率	△ 48.4 %	構成率	100.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %	100.0 %	%
本年度 最終予算額	2,881 千円	特定財源の名称											
執行率	95.42 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細								
款 項 目 節	10	教育費	1	報酬	56 千円	社会教育委員報酬							
			7	報償費	314 千円	謝礼等（成人式）							
	項	項名称	10	需用費	353 千円	消耗品費200千円、式典費98千円、印刷製本費55千円							
	5	社会教育費	11	役務費	46 千円	クリーニング代（成人式）							
			12	委託料	1,105 千円	はたちのつどい1,100千円、駐車場整理5千円							
目	目名称	18	負担金補助及び交付金	875 千円	補助金（青少年育成町民会議他）854千円、負担金（県社連他）21千円								
1	社会教育総務費			千円									
				千円									

事業の目的	町の社会教育に係る方針の決定や指導を行い、社会教育の向上を目指すもの。
事業の概要	本予算での実施事業は、①社会教育委員会議の運営、②成人式
事業の成果	①社会教育委員会議を実施した。②成人式及びはたちのつどいを実施した。
次年度以降の見込み	年齢に応じた社会教育を推進するため、継続的な取り組みが必要



令和3年度「公民館事業」の成果

決算書頁 92～93頁

所管課名 生涯学習課

所管係名 生涯学習係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち	施策名	1	生涯学習の推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------	-----	---	---------

前年度 決算額	2,879 千円	決算額		特定財源							
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他	
増減額	598 千円	金額	3,477 千円		千円	9 千円		千円		千円	3,468 千円
増減率	20.8 %	構成率	100.0 %	0.0 %		0.3 %		0.0 %		0.0 %	99.7 %
本年度 最終予算額	4,039 千円	特定財源の名称		ふくしまの未来へつなぐ体験 応援事業補助金9千円							
執行率	86.09 %										

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
款 項 目 節	10 教育費	7	報償費	847 千円	地域学校協働活動推進員275千円、わんぱく広場スタッフ378千円、講師194千円	
		8	旅費	27 千円	学生ボランティア5千円、わんぱく広場・仲間づくり教室引率等22千円	
	10	需用費	1,995 千円	パフォーマンスチャージ866千円、消耗品費1,119千円、給食費10千円		
	5 社会教育費	11	役務費	191 千円	切手2千円、損害保険料189千円	
		12	委託料	417 千円	仲間づくり教室バス送迎委託等417千円	
目	目名称			千円		
2 公民館費				千円		
				千円		

事業の目的	青少年教育、成人教育など教室や講座などを実施し、町の生涯教育の充実を図る。
事業の概要	①青少年教育、②成人教育
事業の成果	①国見っ子わんぱく広場、少年仲間づくり教室、ジュニア応援団などの事業を実施 ②成人教室、女性教室、あつかし学級などの事業を実施
次年度以降の見込み	青少年の健全な育成の促進や年齢に応じた生涯学習を推進するため、継続的な取り組みが必要



令和3年度「図書館事業」の成果

決算書頁 95～96頁

所管課名 生涯学習課

所管係名 生涯学習係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち	施策名	1	生涯学習の推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------	-----	---	---------

前年度 決算額	10,929 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額	3,477 千円	千円	千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	千円	千円	
増減額	△ 7,452 千円	金額	3,477 千円	千円	千円	9 千円	千円	千円	千円	千円	千円	3,468 千円
増減率	△ 68.2 %	構成率	100.0 %	%	0.0 %	0.3 %	%	0.0 %	%	0.0 %	%	99.7 %
本年度 最終予算額	5,859 千円	特定財源の名称				ふくしまの未来へつなぐ体験 応援事業補助金9千円						
執行率	59.34 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細								
款 項 目 節	10	教育費	7	報償費	568 千円	委員報酬20千円、講師謝礼等23千円、移動図書館92千円、蔵書点検等128千円、読書フォーラム303千円							
			8	旅費	72 千円	費用弁償72千円							
	5	社会教育費	10	需用費	864 千円	消耗品費702千円、給食費20千円、印刷製本費142千円							
			11	役務費	4 千円	郵便料4千円							
	4	図書館費	12	委託料	1,483 千円	図書管理システム1,307千円、読書フォーラム他176千円							
			13	使用料及び賃借料	264 千円	蔵書購入検索システム							
4	図書館費	17	備品購入費	1,576 千円	図書1,344千円、ブックポスト232千円								
		18	負担金補助及び交付金	40 千円	日本図書館協会37千円、県図書館協会3千円								

事業の目的	図書館の利用の促進、図書に関する教育等に取り組み、読書のまちづくりを推進する。
事業の概要	①子ども移動図書館、②ブックスタート、③子ども司書講座、④図書館運営
事業の成果	①小学校低学年への貸出を実施、②乳児への絵本の贈呈と読み聞かせを実施した、③司書に必要なスキルの習得を図った、④図書館の維持管理・運営に取り組んだ
次年度以降の見込み	蔵書の入れ替え、本に親しむ環境づくりなど、継続した取り組みが必要



令和3年度「地区中央集会所施設維持管理事業」の成果

決算書頁 92～93頁

所管課名 生涯学習課
 所管係名 文化スポーツ係

総合計画	目標	3 未来につながるまちづくり	政策名	3 誰もがいつまでも学び続けられるまち	施策名	1 生涯学習の推進
------	----	----------------	-----	---------------------	-----	-----------

前年度 決算額	9,895 千円	決算額		特定財源								一般財源	
増減額	△ 4,093 千円	金額	5,802 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	千円	5,802 千円	
増減率	△ 41.4 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %			
本年度 最終予算額	5,802 千円	特定財源の名称											
執行率	100.00 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細							
10	教育費	10	需用費	2,268 千円	消耗品費147,669円、燃料費73,870円、光熱水費1,331,205円、修繕料715,517円							
		11	役務費	148 千円	火災保険料117,718円、水質検査手数料30,000円							
項	項名称	12	委託料	1,911 千円	除草251,055円、集会所施設管理3団体600,000円、自動ドア点検66,000円、消防設備点検161,700円、浄化槽管理614,460円、排水パイプ保守管理218,169円							
5	社会教育費	13	使用料及び賃借料	285 千円	AED借上料200,200円、テレビ受信料56,124円、清掃用具借上料28,444円							
		14	工事請負費	1,190 千円	施設修繕工事882,200円、電気工事308,000円							
目	目名称			千円								
2	公民館費			千円								
				千円								

事業の目的	地区中央集会所を活用した地域活動の推進		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国見町森江野町民センター（S63） ・国見町国見東部高齢者等活性化センター（H5） ・国見町大木戸ふれあいセンター（H8） ・国見町小坂農村総合管理センター（H16） ※（ ）内の数字は建設年度		
事業の成果	各町内会の協力により使用申込の対応など適切に運営されている。 設備の保守点検結果をもとに施設の維持修繕を実施。		
次年度以降の見込み	建設から30年を超える施設もあり、引き続き計画的なメンテナンスに務める。		

令和3年度「観月台文化センター維持管理事業」の成果

決算書頁 93～95頁

所管課名 生涯学習課

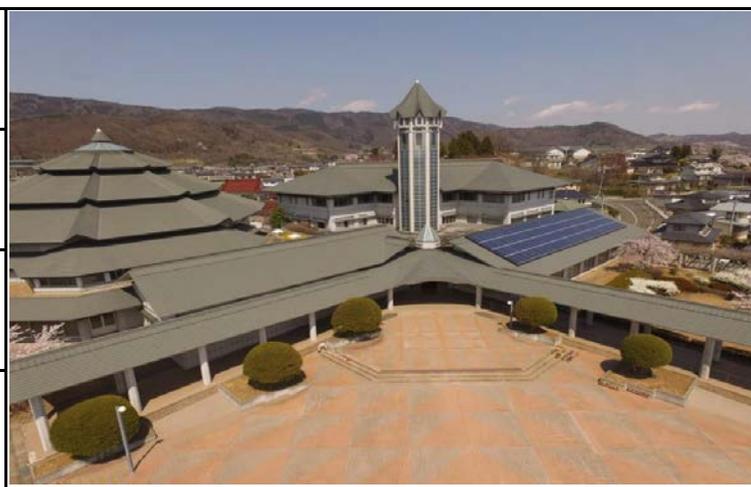
所管係名 文化スポーツ係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち	施策名	2	芸術文化の振興
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------	-----	---	---------

前年度 決算額	91,553 千円	決算額				特定財源				一般財源						
増減額	△ 16,786 千円	金額	74,767 千円	千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	27,800 千円	千円	その他	751 千円	千円	46,216 千円	千円
増減率	△ 18.3 %	構成率	100.0 %		0.0 %		0.0 %		37.2 %			1.0 %			61.8 %	
本年度 最終予算額	103,314 千円	特定財源の名称				●観月台文化センター修繕事業債				●使用料及び手数料（文化センター施設使用料）733,665円、 雑入（電話使用料）17,620円						
執行率	72.37 %															

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
10	教育費	1	報酬	1,836 千円	会計年度任用職員報酬	
		3	職員手当等	347 千円	会計年度任用職員期末手当	
項	項名称	10	需用費	13,253 千円	消耗品費816,820円、燃料費4,068,636円、給食費等6,610円、光熱水費6,544,599円、修繕料1,816,210円	
5	社会教育費	11	役務費	1,784 千円	通信運搬費750,569円、検査等手数料549,835円、火災保険料424,887円、自動車損害保険料58,600円	
		12	委託料	18,705 千円	施設管理業務等18,704,582円	
目	目名称	13	使用料及び賃借料	210 千円	テレビ受信料28,055円、AED借上料85,800円、清掃用具借上料92,612円、無線機電波利用料4,000円	
3	文化センター費	14	工事請負費	36,842 千円	案内看板設置等149,600円、施設改修工事等36,691,930円	
		17	備品購入費	1,781 千円	新型コロナウイルス対策ベルトパーテーション286,000円、感染防止対策事業サーマルカメラ210,100円、LEDライト36,300円	
		26	公課費	9 千円	自動車重量税8,800円	

事業の目的	観月台文化センターの持つ機能や設備を活用した学習の推進
事業の概要	観月台文化センターの維持管理に係る事業
事業の成果	既存不適格及び震災の復旧のためのエレベーターの改修や、消防施設の修繕を適宜進めるなど適正な維持管理に務めた。
次年度以降の見込み	竣工から満28年を経過しており、経年劣化により施設自体の修繕箇所が増加している。計画的な修繕や大規模改修が必要である。



令和3年度「芸術文化振興事業」の成果

決算書頁 98～99頁

所管課名 生涯学習課
 所管係名 文化スポーツ係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち	施策名	2	芸術文化の振興
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------	-----	---	---------

前年度 決算額	50,222 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額	9,045 千円	1,340 千円	千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	千円	千円	
増減額	△ 41,177 千円	金額	9,045 千円	1,340 千円	千円		千円		千円	298 千円	千円	7,407 千円
増減率	△ 82.0 %	構成率	100.0 %	14.8 %	%		0.0 %		0.0 %	3.3 %	%	81.9 %
本年度 最終予算額	10,558 千円	特定財源の名称		●文化芸術振興費補助金1,340,000円						●雑入（入場料収入）298,000円		
執行率	85.67 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細		
					金額	内容	
10	教育費	7	報償費	26 千円	コンサート謝礼		
		10	需用費	755 千円	消耗品費258,960円、給食費等11,531円、印刷製本費288,200円、修繕料195,800円		
	項	項名称	11	役務費	101 千円	ピアノ調律55,000円、無線局免許更新手数料46,000円	
	5	社会教育費	12	委託料	5,142 千円	ホール施設管理等5,142,473円	
13			使用料及び賃借料	26 千円	著作権使用料8,785円、入場料16,800円		
目	目名称	14	工事請負費	781 千円	施設修繕工事（ドア塗装）396,000円、撤去工事（ホール時計）385,000円		
6	芸術文化振興費	18	負担金補助及び交付金	2,214 千円	公立文化施設協議会負担金30,000円、県芸術祭負担金11,000円、キッズシアター1,423,400円、文化芸術振興事業補助金50,000円、文化団体連絡協議会補助金700,000円		
				千円			

事業の目的	優れた文化芸術に触れる機会の拡充を図る。 文化芸術活動の奨励を図り、文化意識の高揚に務める。
事業の概要	観月台文化センターの維持管理に係る事業及び文化センターホールの維持管理に係る経費
事業の成果	文化センターホールが新型コロナウイルス感染症のワクチン集団接種会場となったこともあり、文化芸術での稼働率は低いものであった。文連においては結成50年を迎え、記念誌の作成を行うなど、文化芸術への取り組みでは一定の成果もあった。
次年度以降の見込み	文化センターホールが新型感染症のワクチン集団接種会場となっているため、代替会場でも可能な事業を模索する。2年のうちに2回の大きな地震被害もあったこともあり、施設の災害復旧を早期完成させ、震災前に行っていた各種の文化芸術に触れる機会の拡充を図る。



ワクチン集団接種会場となった文化センターホール



松本蘭バイオリンコンサート

令和3年度「保健体育事業」の成果

決算書頁 99～100頁

所管課名 生涯学習課

所管係名 文化スポーツ係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち	施策名	3	スポーツの推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------	-----	---	---------

前年度 決算額	7,713 千円	決算額				特定財源				一般財源	
増減額	△ 724 千円	金額	6,989 千円	千円	千円	千円	千円	千円	137 千円	千円	6,852 千円
増減率	△ 9.4 %	構成率	100.0 %	%	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	2.0 %	%	98.0 %
本年度 最終予算額	6,989 千円	特定財源の名称								●雑入（参加料、施設利用料）137,050円	
執行率	100.00 %										

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
10	教育費	1	報酬	2,746 千円	スポーツ推進委員227,500円、会計年度任用職員報酬2,518,506円	
		3	職員手当等	467 千円	会計年度任用職員期末手当	
6	社会教育費	7	報償費	358 千円	スポーツ教室講師謝礼61,600円、スポーツ大会賞品296,520円	
		10	需用費	260 千円	消耗品費164,011円、印刷製本費96,250円	
1	保健体育総務費	11	役務費	423 千円	タブレット回線使用料	
		12	委託料	437 千円	スポーツ大会49,500円、スポーツ教室バス送迎265,852円、スイミングスクールスポーツ教室121,800円	
		13	使用料及び賃借料	119 千円	スポーツ大会・教室施設使用料76,800円、スポーツ教室機材借上41,800円	
		18	負担金補助及び交付金	2,051 千円	負担金78,306円、保険料19,600円、町体協・スポ少補助金552,309円、市町村対抗各団体補助金1,400,000円	

事業の目的	幼年期から高齢期の誰もが主体的な健康づくりやスポーツの習慣化を促進することで、町民の健康増進を図る。
事業の概要	スポーツ推進委員活動、スポーツ教室・スポーツ大会の実施、社会体育団体の育成補助、総合型地域スポーツクラブ設立の検討。
事業の成果	新型コロナウイルス対策をしつつ、スポーツ教室やスポーツ大会を実施することで、多くの世代に健康づくりの機会を創出し、町民の健康の維持増進につながった。 総合型地域スポーツクラブ設立の検討を進めた。
次年度以降の見込み	継続的な取り組みを図り、健康の維持増進に努める。



令和3年度「体育施設事業」の成果

決算書頁 99～100頁

所管課名 生涯学習課
 所管係名 文化スポーツ係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち	施策名	3	スポーツの推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------	-----	---	---------

前年度 決算額	25,551 千円	決算額				特定財源						一般財源
		金額	29,839 千円	千円	千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	千円	千円	
増減額	4,288 千円	金額	29,839 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	4,378 千円	千円	25,461 千円
増減率	16.8 %	構成率	100.0 %	%	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	14.7 %	%	85.3 %	
本年度 最終予算額	31,065 千円	特定財源の名称				●使用料及び手数料 (体育施設使用料)						
執行率	96.05 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細		
					金額	内容	
款 目 節	10 教育費	10	需用費	8,760 千円	消耗品費683,011円、燃料費11,483円、光熱水費5,491,563円、修繕料2,574,330円		
		11	役務費	794 千円	通信運搬費194,976円、検査等手数料95,400円、火災保険料412,094円、自動車損害保険料91,430円		
	項	項名称	12	委託料	7,799 千円	施設管理業務等7,798,994円	
	6 社会教育費	13	使用料及び賃借料	334 千円	AED借上料162,192円、清掃用具借上料170,664円、共架電柱使用料1,188円		
		14	工事請負費	11,351 千円	観月台体育館バスケットゴール設置工事6,050,000円、上野台運動公園看板撤去工事1,210,000円外		
目	目名称	17	備品購入費	801 千円	乗用芝刈機726,000円、アルコール噴霧器74,800円		
2 体育施設費				千円			
				千円			

事業の目的	体育施設の充実及びその効果的運営の促進を図ることにより、町民の心身の健全な発達及び豊かな人間性の涵養への寄与する	 <p>上野台運動公園グリーンアリーナ923</p>  <p>上野台運動公園柏葉体育館</p>
事業の概要	①観月台文化センター体育館 ②上野台運動公園（上野台体育館、テニスコート、総合運動場、グリーンアリーナ923、柏葉体育館） ③森江野町民センター森江野第2体育館 ④国見東部高齢者等活性化センター 体育館	
事業の成果	各体育施設の安全性を考慮し、利用者に対して快適な施設を提供することができた。施設利用において需要のあるグリーンアリーナの芝改修や観月台体育館のバスケットゴールの設置を行った。	
次年度以降の見込み	引き続き各施設の利用状況や破損等の把握に努める。	

令和3年度「藤田保育所運営事業」の成果

決算書頁 52～53頁

所管課名 幼児教育課

所管係名 幼児教育係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	1	安心して子どもを産み育てられるまち	施策名	1	子育て支援の推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------	-----	---	----------

前年度 決算額	120,850 千円	決算額				特定財源				一般財源	
		金額	59,330 千円	1,756 千円	2,336 千円	地方債	0.0 千円	その他	13,423 千円		
増減額	△ 61,520 千円	構成率	100.0 %	3.0 %	3.9 %	0.0 %	22.6 %	41,815 千円	70.5 %		
増減率	△ 50.9 %	執行率	97.16 %	特定財源の名称				●子ども・子育て支援交付金●地方創生臨時交付金	●子ども・子育て支援交付金●子ども・子育て支援交付金(コロナ)●被災した子どもの健康生活対策総合支援事業補助金	●分担金及び負担金●諸収入(保険掛金、給食事業収入)	

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
3	民生費	1	報酬	33,399 千円	会計年度任用職員報酬	
		3	職員手当等	5,432 千円	会計年度任用職員期末手当	
		7	報償費	181 千円	サークル講師謝礼、健康診断医師、記念品	
2	児童福祉費	8	旅費	929 千円	会計年度任用職員通勤手当	
		10	需用費	10,998 千円	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料、賄材料費、医薬材料費	
		11	役務費	701 千円	通信運搬費、手数料、火災保険料	
2	常設保育所施設費	12	委託料	6,450 千円	連絡網サービス、消防設備点検、空調設備、給食調理、施設警備、電気工作物、除草、害虫防除	
		13	使用料及び賃借料	198 千円	コピー機借上、清掃用具借上、AED借上	
2	常設保育所施設費	14	工事請負費	243 千円	LED街灯設置工事、お出迎えカメラ・モニター設置工事	
		17	備品購入費	667 千円	抗菌マット、除菌ボックス、フリーフックスタンド、ウッドエアテーブル、絵本 他	
		18	負担金補助金及び交付金	60 千円	スポーツ保険、県社協負担金、保育協議会負担金	
		22	償還金利子及び割引料	72 千円	保育料還付金	

事業の目的	地方自治法第244条第1項及び児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、保護者の委託を受けて、保育を必要とする乳幼児を保育する。
事業の概要	①藤田保育所において0歳児からの保育 ②延長・一時預かり等の特別保育を実施 ③子育て支援センターでの育児相談・指導、情報提供 ④子育てサークル等の育成支援
事業の成果	乳幼児に適切な保育と生活の場を提供することにより、保護者が仕事や出産等に専念することができた。(令和4年3月末現在65名) 一時預かりの利用も多く、子育てサークル等も積極的に活動することができた。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。



総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	1	安心して子どもを産み育てられるまち	施策名	1	子育て支援の推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------	-----	---	----------

前年度 決算額	14,726 千円	決算額		特定財源						一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債			
増減額	△ 163 千円	金額	14,563 千円	4,975 千円	4,854 千円					4,734 千円	
増減率	△ 1.1 %	構成率	100.0 %	34.2 %	33.3 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	32.5 %		
本年度 最終予算額	15,248 千円	特定財源の名称		●子ども・子育て支援 交付金●地方創生臨時 交付金		●子ども・子育て支援交 付金●子ども・子育て支 援交付金（コロナ）					
執行率	95.51 %										

款 目 節	款名称	節	節名称	支出済額	明 細	
					金額	内容
3	民生費	10	需用費	301 千円	消耗品費	
		12	委託料	14,262 千円	子育て支援センター「つながる～む」運営委託料	
2	児童福祉費					
3	児童健全育成費					

事業の目的	乳幼児のいる子育て中の親子（未就学児とその保護者）の交流や育児相談等のできる場を提供する。
事業の概要	①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ②子育てに関する相談、援助、情報提供 ③子育てサークルや子育て家庭と地域の世代交流に係る支援 ④施設を活用した一時預かり
事業の成果	道の駅という立地条件と木のおもちゃによる施設の特徴を活かした子育て支援事業を実施することができた。また、町内の屋内遊び場「ももたん広場」と連携し、県内外からの親子の交流の場としても定着し、子育て支援のための充実した施設となっている。 ●来場者数：H30年度 25,856人、R元年度 20,267人、R2年度 2,958人、R3年度 2,435人
次年度以降の見込み	子どもや子育て中の保護者が満足できる施設となるよう、様々な検討を進めていく。



令和3年度「くにみももたん広場運営事業」の成果

決算書頁 53～54頁

所管課名 幼児教育課

所管係名 幼児教育係

総合計画	目標	3 未来につながるまちづくり	政策名	1 安心して子どもを産み育てられるまち	施策名	1 子育て支援の推進
------	----	----------------	-----	---------------------	-----	------------

前年度 決算額	10,435 千円	決算額		特定財源						一般財源		
増減額	1,519 千円	金額	11,954 千円	国庫支出金	253 千円	県支出金	7,753 千円	地方債	千円	その他	767 千円	3,181 千円
増減率	14.6 %	構成率	100.0 %		2.1 %		64.9 %		0.0 %		6.4 %	26.6 %
本年度 最終予算額	12,569 千円	特定財源の名称		●地方創生臨時交付金		●被災した子どもの健康・生活対策総合支援事業補助金				●諸収入（加工施設電気料精算金）		
執行率	95.11 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
3	民生費	1	報酬	7,319 千円	会計年度任用職員報酬	
		3	職員手当等	1,421 千円	会計年度任用職員期末手当	
2	児童福祉費	7	報償費	28 千円	記念品	
		8	旅費	146 千円	会計年度任用職員通勤手当	
10	需用費	10	需用費	2,542 千円	消耗品費、燃料費、光熱水費、医薬材料費、修繕費	
		11	役務費	62 千円	火災保険料、電話料	
3	児童健全育成費	12	委託料	187 千円	消防設備点検、施設警備	
		14	工事請負費	38 千円	コンセント増設工事	
		17	備品購入費	211 千円	サーマルカメラ購入	

事業の目的	震災後、屋外で安心して遊べない状況があったことから、町内の身近な場所に屋内遊び場を設置し、子どもたちがのびのびと体を動かし、遊ぶことができる環境を提供する。
事業の概要	既存の森江野町民センター体育館内に、大型遊具を設置した屋内遊び場「くにみももたん広場」を運営する。
事業の成果	児童が遊びの量や質を高め、親子のストレス解消につながると同時に、保護者同士が交流する「子育ての場」「地域のコミュニケーションの場」ともなっている。また、道の駅と連携した子育て支援の充実した施設となっている。 ●来場者数：H30年度 29,687人、R元年度 26,213人、R2年度 9,609人、R3年度 6,024人
次年度以降の見込み	県補助金を財源としており、県補助の動向を注視しつつ運営方針を検討していく。



令和3年度「子どもクラブ運営事業（国見小学校）」の成果

決算書頁 53～54頁

所管課名 幼児教育課

所管係名 幼児教育係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	1	安心して子どもを産み育てられるまち	施策名	1	子育て支援の推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------	-----	---	----------

前年度 決算額	34,233 千円	決算額			特定財源						一般財源		
増減額	△ 700 千円	金額	33,533 千円	金額	7,526 千円	金額	7,403 千円	金額	0.0 千円	金額	3,790 千円	金額	14,814 千円
増減率	△ 2.0 %	構成率	100.0 %	構成率	22.4 %	構成率	22.1 %	構成率	0.0 %	構成率	11.3 %	構成率	44.2 %
本年度 最終予算額	34,273 千円	特定財源の名称			●子ども・子育て支援交付金●地方創生臨時交付金		●子ども・子育て支援交付金●子ども・子育て支援交付金（コロナ）				●分担金及び負担金 ●諸収入（スポーツ保険）		
執行率	97.84 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
3	民生費	1	報酬	25,702 千円	会計年度任用職員報酬	
		3	職員手当等	4,502 千円	会計年度任用職員期末手当	
項	項名称	8	旅費	612 千円	会計年度任用職員通勤手当602042、研修旅費9804	
2	児童福祉費	10	需用費	1,782 千円	消耗品費、燃料費、光熱水費、医薬材料費、修繕費	
		11	役務費	198 千円	通信運搬費、手数料、火災保険料、損害保険料	
		12	委託料	340 千円	消防設備点検、施設警備	
目	目名称	13	使用料及び賃借料	70 千円	清掃用具借上	
3	児童健全育成費	17	備品購入費	320 千円	FF式ストーブ購入	
		22	償還金利子及び割引料	7 千円	負担金返還金	

事業の目的	放課後において保護者の就労等により家庭での保育が困難な児童を対象として、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。
事業の概要	日中保護者のいない家庭の国見小学校1年生から6年生までの児童を対象に、専用施設において、適切な生活の場を提供する。
事業の成果	指導員の支援により、児童に適切な遊びや生活の場を提供することで、仕事を持つ保護者に対する子育て支援策となった。（令和4年3月末現在85名）
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。



令和3年度「預かり保育運営事業（くにみ幼稚園）」の成果

決算書頁 53～54頁

所管課名 幼児教育課

所管係名 幼児教育係

総合計画	目標	3 未来につながるまちづくり	政策名	1 安心して子どもを産み育てられるまち	施策名	1 子育て支援の推進
------	----	----------------	-----	---------------------	-----	------------

前年度 決算額	21,334 千円	決算額			特定財源						一般財源		
増減額	3,530 千円	金額	24,864 千円		国庫支出金	767 千円	県支出金	6,876 千円	地方債		千円	28 千円	17,193 千円
増減率	16.5 %	構成率	100.0 %			3.1 %		27.7 %		0.0 %		0.1 %	69.1 %
本年度 最終予算額	25,104 千円	特定財源の名称			●子ども・子育て支援 交付金●地方創生臨時 交付金		●子ども・子育て支援交 付金●子育てのための施 設等利用給付交付金				●使用料及び手数料 (預かり保育料)		
執行率	99.04 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
3	民生費	1	報酬	16,425 千円	会計年度任用職員報酬	
		3	職員手当等	2,788 千円	会計年度任用職員期末手当	
項	項名称	8	旅費	325 千円	会計年度任用職員通勤手当	
2	児童福祉費	10	需用費	866 千円	消耗品費、医薬材料費、修繕費	
		11	役務費	5 千円	リサイクル手数料	
		12	委託料	2,019 千円	保育員人材派遣、砂場入替	
目	目名称	13	使用料及び賃借料	20 千円	清掃用具借上	
3	児童健全育成費	14	工事請負費	2,277 千円	保育教室床張替工事	
		17	備品購入費	139 千円	保育テーブル購入	

事業の目的	幼稚園降園後保護者が就労等により、家庭にいない園児を対象に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。
事業の概要	幼稚園の降園後、保護者のいない家庭の園児に対して、預かり保育を実施する。
事業の成果	就労等で幼稚園降園後に家庭で保育できない世帯の子育て支援策となっている。 (令和4年3月末現在くにみ幼稚園園児128名中102名利用)
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。



令和3年度「こども鑑賞教室事業」の成果

決算書頁 54頁

所管課名 幼児教育課
 所管係名 幼児教育係

総合計画	目標	3 未来につながるまちづくり	政策名	2 生きる力をはぐくむまち	施策名	1 子どもの生きる力の育成
------	----	----------------	-----	---------------	-----	---------------

前年度 決算額	0 千円	決算額		特 定 財 源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	165 千円	金額	165 千円		千円	165 千円		千円		千円		千円	
増減率	皆増 %	構成率	100.0 %	0.0 %		100.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %	
本年度 最終予算額	165 千円	特定財源の名称				●被災した子どもの健康・生活対策総合支援事業補助金							
執行率	100.00 %												

款 項 目 節	款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細
	3	民生費	12	委託料	165 千円	人形劇上演委託
					千円	
		項名称			千円	
	2	児童福祉費			千円	
					千円	
	目名称			千円		
3	児童健全育成費			千円		
				千円		

事業の目的	プロによる人形劇を鑑賞し、語りや人形の動き、音楽による演出等から表現の面白さや感動を体験する。	
事業の概要	くにみ幼稚園児128名を対象に実施。演目「ねずみの嫁入り」	
事業の成果	迫力ある演技や語り口、音楽に惹きつけられ、夢中になって鑑賞する姿が見られた。またその感動体験を友達や家族に話すことで、感動を共有することができた。	
次年度以降の見込み	県補助金（補助率10/10）を財源としており、県補助の動向を注視し、充実した内容となるよう検討し進めていく。	

令和3年度「未就学児体力向上支援事業」の成果

決算書頁 54頁

所管課名 幼児教育課
所管係名 幼児教育係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	2	生きる力をはぐくむまち	施策名	1	子どもの生きる力の育成
------	----	---	--------------	-----	---	-------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	20 千円	決算額				特 定 財 源						一般財源		
		金額		千円		国庫支出金		県支出金		地方債				その他
増減額	79 千円	金額	99 千円	千円	千円	99 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
増減率	395.0 %	構成率	100.0 %	%	0.0 %	100.0 %	%	0.0 %	%	0.0 %	%	0.0 %	%	
本年度 最終予算額	100 千円	特定財源の名称				●被災した子どもの健康・生活対策総合支援事業補助金								
執行率	99.00 %													

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細
款 項 目 節	3	10	消耗費費	99 千円	未就学児体力向上事業消耗品費
				千円	
	2	児童福祉費	千円		
			千円		
	3	児童健全育成費	千円		
千円					

事業の目的	震災以降、子どもたちの肥満や運動能力の低下がみられるため、未就学児の運動遊びの充実を図ることによって運動能力・体力の向上を目的とする。
事業の概要	幼稚園の年中・年長組（4・5歳児）を対象に、専門家による運動教室を実施し、遊びを通して楽しみながら運動能力・体力の向上を図る。
事業の成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため運動教室として実施することはできなかったものの、以前専門家に指導していただいたことをもとに運動器具を購入し運動遊びを実施することができた。幼児期に体を動かすことを習慣化することで子どもの肥満を防ぐとともに、遊びを通じて、運動能力・体力の向上を図っていきたい。
次年度以降の見込み	県補助金（補助率10/10）を財源としており、県補助の動向を注視しつつ、子どもたちの体力向上のため内容を検討し進めていく。



令和3年度「くにみ幼稚園運営事業」の成果

決算書頁 89～90頁

所管課名 幼児教育課

所管係名 幼児教育係

総合計画	目標	3	未来につながるまちづくり	政策名	1	安心して子どもを産み育てられるまち	施策名	1	子育て支援の推進
------	----	---	--------------	-----	---	-------------------	-----	---	----------

前年度 決算額	36,410 千円	決算額				特定財源						一般財源	
		金額	41,863 千円	457 千円	250 千円	地方債	100 千円	100 千円	41,056 千円				
増減額	5,453 千円	構成率	100.0 %	1.1 %	0.6 %	0.0 %	0.2 %	98.1 %					
増減率	15.0 %	特定財源の名称	●地方創生臨時交付金		●福島県教育支援体制整備事業費補助金		●教育総務費寄付金						
本年度 最終予算額	43,916 千円	執行率	95.33 %										

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
10	教育費	1	報酬	26,425 千円	会計年度任用職員報酬	
		3	職員手当等	4,808 千円	会計年度任用職員期末手当	
4	幼稚園費	7	報償費	232 千円	英語講師謝礼、記念品	
		8	旅費	721 千円	会計年度任用職員通勤手当、費用弁償、普通旅費	
1	幼稚園費	10	需用費	6,282 千円	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料、医薬材料費	
		11	役務費	1,162 千円	通信運搬費、手数料、火災保険料	
1	幼稚園費	12	委託料	1,337 千円	連絡網サービス、浄化槽、電気工作物、消防設備点検、排水パイプ、園舎警備、印刷機保守、健康管理諸検査	
		13	使用料及び賃借料	217 千円	清掃用具借上、コピー機借上、印刷機借上、AED借上	
		14	工事請負費	24 千円	屋内消火栓ホース更新工事	
		17	備品購入費	587 千円	プロジェクター、くぎってフェンス、液晶視力計、図書 他	
		18	負担金補助金及び交付金	68 千円	スポーツ保険、公立幼稚園園長会負担金	

事業の目的	地方自治法第244条第1項並びに学校教育法第22条及び第23条の規定に基づいて幼稚園を設置し、国見町の3歳児から就学前の幼児を対象に幼児教育を行う。
事業の概要	「主体的にかかわり学ぶ子どもの育成」を重点目標に、幼児期の発達の特性を踏まえ、国見町の環境（人、物、事）を有効に活用した環境を通した幼児教育を行い、小学校とのスムーズな接続を図る。食育や英語活動などを取り入れ特色ある教育活動を実施する。
事業の成果	コロナ禍ではあったが、保護者や地域の方の理解を得ながら実施可能な方法を模索し日々の活動や行事等を経験させることができるよう取り組んできた。そのことより子どもたちの心身の発達、幼稚園教育において育みたい資質・能力を助長させることができた。（令和4年3月末現在128名）
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。



令和3年度「幼児ことばの教室運営事業」の成果

決算書頁 53～54頁

所管課名 幼児教育課

所管係名 幼児教育係

総合計画	目標	3 未来につながるまちづくり	政策名	1 安心して子どもを産み育てられるまち	施策名	1 子育て支援の推進
------	----	----------------	-----	---------------------	-----	------------

前年度 決算額	46 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	49 千円	金額	95 千円		千円		千円		千円		千円	95 千円	
増減率	106.5 %	構成率	100.0 %	0.0 %		0.0 %		0.0 %		0.0 %		100.0 %	
本年度 最終予算額	151 千円	特定財源の名称											
執行率	62.91 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細							
10	教育費	8	旅費	3 千円	言語指導員研修旅費							
		10	需用費	59 千円	消耗品費（言語指導教材費等）							
	項	項名称	11	役務費	33 千円	通信運搬費						
4	幼稚園費			千円								
目	目名称			千円								
1	幼稚園費			千円								

事業の目的	言葉に問題を抱えた未就学児の「言葉（発音・発語）」の改善。
事業の概要	言語障がい及び言葉の発達の遅れが見られる未就学児を対象とし、定期的な言語指導を行うことにより、発音の改善やコミュニケーション力の育成を図る。
事業の成果	通級者の年長8名のうち2名は問題が改善され修了。4名は幼稚園在園期間における指導終了後「上保原小学校ことばの教室」へ。2名は国見小学校特別支援学級へ。年中9名のうち1名は年度途中で問題が改善され修了。個々特性に応じた指導により、改善が見られた。
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。



令和3年度「農業委員会事業」の成果

決算書頁 61頁

所管課名 農業委員会

所管係名 農業委員会

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	2	便利で快適なまち	施策名	1	有効な土地利用
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	---------

前年度 決算額	6,276 千円	決算額				特 定 財 源						一般財源	
増減額	△ 419 千円	金額	5,857 千円		0 千円	2,880 千円	0 千円	312 千円	2,665 千円				
増減率	△ 6.7 %	構成率	100.0 %		0.0 %	49.2 %	0.0 %	5.3 %	45.5 %				
本年度 最終予算額	5,857 千円	特定財源の名称				●農業委員会交付金2,153 ●機構集積支援補助金32 ●農地利用最適化交付金695			●諸収入(受託事業収入/農業者年金事務)				
執行率	100.00 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細	
6	農林水産業費	1	報酬	4,570 千円	農業委員・農地利用最適化推進委員報酬	
		8	旅費	1 千円	職員研修旅費	
項	項名称	10	需用費	138 千円	消耗品費	
1	農業費	11	役務費	2 千円	手数料	
		12	委託料	750 千円	農家台帳保守管理費、総会会議録調整費	
目	目名称	18	負担金補助及び交付金	396 千円	福島県農業会議等への負担金、国見町農業会議所への補助金	
1	農業委員会費			千円		
				千円		

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●農地法及び農業委員会等に関する法律に規定されている業務を実施するため。 ●優良農地を確保し、農地の有効利用を図る。 ●農業者年金加入促進、加入者への誘導。 	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ●農地法に基づく事務の適正実施 <ul style="list-style-type: none"> ・農地利用状況調査、利用意向調査の実施等による遊休農地の解消 ●農業委員会等に関する法律に基づく事務の適正実施 <ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会の運営 ●利用権設定促進事業等による、優良農地の確保・担い手への農地集積 	
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ●農地法第3条に基づく許可事務件数 33件 ●農地法第4条、5条（転用）に基づく許可事務件数 11件 ●農業委員会の総会を毎月開催 ●町内遊休農地所有者への利用意向調査の発出 ●担い手への農地の集積面積 504ha 	
次年度以降の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ●上記事業の継続実施 ●担い手への農地の新規集積 5.0ha 	

令和3年度「【特会】大木戸財産区特別会計」の成果

決算書頁

5頁

所管課名

産業振興課

所管係名

農林振興係

総合計画	目標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1	おいしい農産物のあるまち	施策名	1	農業生産基盤の整備充実
------	----	---	------------------	-----	---	--------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	129 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	7 千円	金額	136 千円	0 千円	136 千円							
増減率	5.4 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
本年度 最終予算額	153 千円	特定財源の名称										
執行率	88.9 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
1	管理会費	1	報酬	92 千円	大木戸財産区管理会委員報酬	
2	総務費	7	報償費	40 千円	看守員報酬、境界踏査報酬	
項	項名称	18	負担金補助 及び交付金	4 千円	非常勤職員公務災害補償	
1	管理会費			千円		
1	総務管理費			千円		
目	目名称			千円		
1	管理会費			千円		
1	財産管理費			千円		

事業の目的	●国見町大木戸財産区の財産を適正に管理	
事業の概要	①財産区の設置 昭和39年3月21日 ②財産区の区域 旧大木戸村及び旧西大枝の一部（築館、原町） ③山林の所在 国見町大字貝田字猪石山1外 ④山林所有面積 36.25ha（分収林33.73ha（県行造林）、直営2.52ha） ⑤樹種 スギ、アカマツ外 ⑥立木推定材積量 8,943m³	
事業の成果	●国見町大木戸財産区の所有財産が適正に管理される。	
次年度以降の見込み	●継続	

令和3年度「【特会】入山財産区特別会計」の成果

決算書頁

5頁

所管課名

産業振興課

所管係名

農林振興係

総合計画	目標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1	おいしい農産物のあるまち	施策名	1	農業生産基盤の整備充実
------	----	---	------------------	-----	---	--------------	-----	---	-------------

前年度 決算額	125 千円	決算額		特定財源								一般財源	
増減額	0 千円	金額	125 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	125 千円	
増減率	0.0 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %			
本年度 最終予算額	190 千円	特定財源の名称											
執行率	65.8 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
1	管理会費	1	報酬	92 千円	入山財産区管理会委員報酬	
2	総務費	7	報償費	29 千円	看守員報酬	
項	項名称	18	負担金補助及び交付金	4 千円	非常勤職員公務災害補償	
1	管理会費			千円		
1	総務管理費			千円		
目	目名称			千円		
1	管理会費			千円		
1	財産管理費			千円		

事業の目的	●国見町入山財産区の財産を適正に管理	
事業の概要	①財産区の設置 明治37年11月14日 ②財産区の区域 旧藤田町外3ヶ村の一部 ③山林の所在 白石市小原字雨塚山2-2外 ④山林所有面積 265.33ha (分収林255.72ha (森林総合研究所)、直営9.61ha) ⑤樹種 スギ、アカマツ、ヒノキ、カラマツ外 ⑥立木推定材積量 29,520m³	
事業の成果	●国見町入山財産区の所有財産が適正に管理される。	
次年度以降の見込み	●継続	

令和3年度「【特会】石母田財産区一般会計」の成果

決算書頁

所管課名 産業振興課

所管係名 農林振興係

総合計画	目標	4 恵まれた資源を活かしたまちづくり	政策名	1 おいしい農産物のあるまち	施策名	1 農業生産基盤の整備充実
------	----	--------------------	-----	----------------	-----	---------------

前年度 決算額	1,388 千円	決算額				特定財源						一般財源	
増減額	17,275 千円	金額	18,663 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	18,663 千円		
増減率	1,244.6 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %			
本年度 最終予算額	18,663 千円	特定財源の名称											
執行率	100.0 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細							
1	議会費	1	報酬	88 千円	石母田財産区議会議員報酬							
2	総務費	7	報償費	93 千円	境界踏査、草刈作業等							
項	項名称	9	交際費	30 千円	議長交際費、管理者交際費							
1	議会費	11	役務費	87 千円	建物共済分担金、浄化槽検査							
1	総務管理費	12	委託料	97 千円	草刈作業委託、浄化槽管理費							
目	目名称	13, 18	使用料 負担金	19 千円	用地借地料、非常勤職員公務災害補償							
1	議会費	24	積立金	996 千円	石母田財産区財政調整基金							
1	財産管理費	27	繰出金	17,253 千円	一般会計繰出金							

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●国見町石母田財産区の財産を適正に管理 ●令和3年度まで「議会制」、令和4年度から「管理会制」に移行 	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ①財産区の設置 明治34年12月21日 ②財産区の区域 大字石母田 ③山林の所在 国見町大字石母田字雑司屋敷9外 ④所有財産面積 山林137.2ha、畑2.3ha、その他7.4ha、建物510.51㎡ ⑤樹種 アカマツ、スギ、カラマツ等 ⑥立木推定材積量 41,792㎡ 	
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ●国見町石母田財産区の所有財産が適正に管理される。 	
次年度以降の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ●継続 	

令和3年度「【国保特会】国保ヘルスアップ事業」の成果

決算書頁 13~14頁

所管課名 ほけん課

所管係名 国保係

総合計画	目標	1 健やかに暮らせるまちづくり	政策名	1 いつまでの健康に暮らせるまち	施策名	1 地域医療連携の推進
------	----	-----------------	-----	------------------	-----	-------------

前年度 決算額	1,266 千円	決算額		特定財源								一般財源	
増減額	3,450 千円	金額	4,716 千円	国庫支出金	千円	県支出金	4,716 千円	千円	地方債	千円	その他	千円	0 千円
増減率	272.5 %	構成率	100.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	
本年度 最終予算額	6,000 千円	特定財源の名称		・保険者努力支援交付金（事業費分）									
執行率	78.60 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
4	保健事業費	1	報酬	834 千円	会計年度任用職員報酬	
		7	報償費	110 千円	保健指導員報償	
		8	旅費	38 千円	会計年度任用職員・保健指導員通勤手当	
		10	需用費	59 千円	保健指導用パンフレット、飛沫防止パネル	
1	保健事業費	12	委託料	3,675 千円	特定健診受診率向上対策、健康運動教室、糖尿病腎症重症化予防保健指導	
1	疾病予防費					

事業の目的	国保被保険者を対象に特定健康診査、特定保健指導を実施し、国保医療費の抑制と生活習慣病や糖尿病腎症の重症化予防を図る。また、健康運動教室により自らが健康状態を把握して健康増進に取り組むよう支援する。	
事業の概要	特定健診受診率向上対策は、受診履歴等の分析により受診勧奨ハガキを送付。重症化予防対策は、健診結果相談会を実施し、医療機関の受診を勧奨した。糖尿病性人証重症化予防は、外部委託により保健指導を実施。健康運動教室は特定保健指導の対象者に実施。	
事業の成果	令和3年度実績（見込み） 特定健診受診率47.9% 特定保健指導利用率60.2% 令和2年度実績 特定健診受診率29.6% 特定保健指導利用率49.3% 令和元年度実績 特定健診受診率57.9% 特定保健指導利用率41.4%	
次年度以降の見込み	継続実施。特に、新型コロナの影響により落ち込んだ受診率をコロナ前に戻せるよう受診勧奨に取り組む。	

総合計画	目標	1	健やかに暮らせるまちづくり	政策名	1	いつまでの健康に暮らせるまち	施策名	1	地域医療連携の推進
------	----	---	---------------	-----	---	----------------	-----	---	-----------

前年度 決算額	130,915 千円	決算額		特定財源								一般財源
増減額	△ 877 千円	金額	130,038 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	33,082 千円	96,956 千円
増減率	△ 0.7 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	25.4 %	74.6 %				
本年度 最終予算額	131,160 千円	特定財源の名称		・ 一般会計繰入金								・ 後期高齢者医療保険料
執行率	99.14 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明 細								
款 項 目 節	2	後期高齢者医療 広域連合納付金	18	負担金	130,038 千円	保険料等負担金（特別徴収・普通徴収）、保険基盤安定負担金、保険事業等負担金							
					千円								
	1	後期高齢者医療 広域連合納付金			千円								
					千円								
	1	後期高齢者医療 広域連合納付金			千円								

事業の目的	後期高齢者医療制度の財源となる保険料、保健事業等の負担金を福島県後期高齢者広域連合に支払うもの。
事業の概要	後期高齢者被保険者からの保険料、歯科口腔健診事業や保健事業（健康診査等）の町負担分、国からの保険基盤安定負担金（後期高齢者分）を制度運営の主体者である福島県後期高齢者広域連合に支払う。
事業の成果	安定的な制度運営が図られ、高齢者が安心して医療を受けたり、健康に生活している。
次年度以降の見込み	継続実施

フレイルの進行を防ぐ生活習慣のポイント



令和3年度「介護保険特別会計（地域支援事業）」の成果

決算書頁 10～12頁

所管課名 福祉課
所管係名 長寿介護係

総合計画	目標	1	健やかに暮らせるまちづくり	政策名	2	共に支えあい暮らせるまち	施策名	2	介護予防・支援の推進
------	----	---	---------------	-----	---	--------------	-----	---	------------

前年度 決算額	50,475 千円	決算額			特定財源						一般財源	
					国庫支出金		県支出金		地方債			
増減額	7,534 千円	金額	58,009 千円	20,576 千円	8,777 千円			19,880 千円	8,776 千円			
増減率	14.9 %	構成率	100.0 %	35.5 %	15.1 %	0.0 %	34.3 %	15.1 %				
本年度 最終予算額	63,131 千円	特定財源の名称			●介護予防・日常生活支援総合事業 ●介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業 ●介護保険保険者努力支援交付金 ●保険者機能強化推進交付金		●介護予防・日常生活支援総合事業 ●介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業		●支払基金交付金 ●介護保険料		●繰入金（一般会計）	
執行率	91.89 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
4	地域支援事業費	1,3	報酬、職員手当	2,634 千円	介護予防事業会計年度任用職員(報酬2,205、期末手当429)	
		7	報償費	297 千円	介護予防事業等講師謝礼87、自立支援型地域ケア会議助言者謝礼210	
	項	項名称	8	旅費	61 千円	介護予防事業会計年度任用職員通勤手当
1	地域支援事業費	10	需用費	329 千円	介護予防事業等消耗品173、会議費(ささえ愛・認知症カフェ)10、印刷製本費(ささえ愛冊子)146	
		11	役務費	186 千円	郵便料105、介護予防サポーター損害保険9、審査支払手数料72	
目	目名称	12	委託料	28,591 千円	地域包括支援センター22,550、包括システム保守582・改修1,672、生活支援コーディネーター319、シルバーソング生活援助員2,690、認知症初期集中支援推進事業606、健康運動指導士172	
1.2.3.4	1:介護予防・生活支援サービス事業費 2:一般介護予防事業 3:包括支援事業・任意事業 4:審査支払手数料	13	使用料及び賃借料	337 千円	包括システム使用料	
		18	負担金補助及び交付金	21,852 千円	介護予防サービス費(総合事業)	
		19	扶助費	3,722 千円	紙おむつ給付3,614、介護者慰労金108	

事業の目的	被保険者が要介護状態または要支援状態となることを予防し、日常生活において必要なサービス等を行うことで、高齢者が社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。
事業の概要	地域包括支援センターを設置し、様々な相談に応じ必要な支援を行うほか、「通いの場」等の介護予防事業や認知症支援事業等を行う。また、生活支援コーディネーターを配置し「くにみささえ愛」事業など高齢者を地域で支えあう仕組みづくりを行う。
事業の成果	①地域包括支援センター（令和3年度実績） 介護予防支援事業・総合事業 契約者数 99人、総合相談件数 836件 ②通いの場 19カ所(自主化) ③居場所 5カ所 ④生活支援コーディネーター1人社協に配置
次年度以降の見込み	継続実施



総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	3	環境に優しいまち（生活環境）	施策名	3	上下水道の整備
------	----	---	----------------	-----	---	----------------	-----	---	---------

前年度 決算額	40,965 千円	決算額		特定財源								一般財源
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		
増減額	△ 17,243 千円	金額	23,722 千円		千円		千円		千円	2,899 千円	20,823 千円	
増減率	△ 42.1 %	構成率	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	12.2 %	87.8 %			
本年度 最終予算額	29,770 千円	特定財源の名称										
執行率	79.68 %	配水管移設補償負担金（国道4号伊達拡幅事業）										

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
款 項 目	1 資本的支出	2	工事請負費	23,722 千円	配水管布設替工事	
				千円		
	1 建設改良費			千円		
				千円		
	2 配水設備費			千円		
				千円		

事業の目的	安全で安定した水道の供給を図るため、給水区域内における老朽化した配水管の布設替工事及び舗装復旧等を実施し、水道施設の強靱化を図ることを目的とする。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・配水管布設替工事等L=529.8m ・給水車両用給水栓設置 ・第5水源塩素測定器設置
事業の成果	施設整備を行うことで水道施設の強靱化に寄与した。
次年度以降の見込み	給水区域内における配水管の布設替工事等



総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	3	環境に優しいまち（生活環境）	施策名	3	上下水道の整備
------	----	---	----------------	-----	---	----------------	-----	---	---------

前年度 決算額	45,244 千円	決算額		特定財源								一般財源
増減額	24,829 千円	金額	70,073 千円	国庫支出金	13,380 千円	県支出金	千円	地方債	17,600 千円	その他	18,000 千円	21,093 千円
増減率	54.9 %	構成率	100.0 %	19.1 %	0.0 %	25.1 %	25.7 %	30.1 %				
本年度 最終予算額	70,092 千円	特定財源の名称		●生活基盤施設耐震化等交付金		●水道企業債		●一般会計出資金				
執行率	99.97 %											

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
1	資本的支出	1	備用品費	50 千円	事務用品他	
		2	賃借料	31 千円	コピー機賃借料	
		3	工事請負費	69,992 千円	配水管布設替工事、舗装復旧工事	
1	建設改良費			千円		
目	目名称			千円		
1	配水施設拡張費			千円		

事業の目的	非常時における給水拠点確保のため、国見町防災計画において防災上重要と位置付ける施設への配水管を耐震管に布設替することで、安全で安定した水道水の供給を図ることを目的とする。
事業の概要	生活基盤施設耐震化等交付金事業 重要給水施設へつながる配水管の布設替工事及び舗装復旧工事 令和3年度 配水管布設替工事等 L=1,803.2m
事業の成果	老朽配水管を耐震管に更新したことで、災害時に当該重要給水施設が断水する可能性が低下した。
次年度以降の見込み	次年度も継続して実施。



総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	3	環境に優しいまち	施策名	3	上下水道の整備
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	---------

前年度 決算額	37,282 千円	決算額				特定財源						一般財源	
		金額	6,353 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	1,700 千円	その他	348 千円		4,305 千円
増減額	△ 30,929 千円	構成率	100.0 %		0.0 %		0.0 %		26.8 %		5.5 %		67.8 %
本年度 最終予算額	6,353 千円	特定財源の名称							●下水道事業債		●分担金及び負担金 (受益者負担金)		
執行率	100.00 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	事業費	10	需要費	2 千円	消耗品費	
		13	使用料及び賃借料	105 千円	工事積算システム利用料	
	項	項名称	18	負担金補助及び交付金	2,591 千円	流域下水道事業負担金、災害復旧事業
1	事業費	27	公課費	3,655 千円	消費税納付金等	
					千円	
目	目名称			千円		
1	事業費			千円		
				千円		

事業の目的	生活環境の改善と公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共用水域の水質保全に資することを目的とする。
事業の概要	流域下水道整備事業において、管渠整備や処理場施設の改築更新等について構成市町負担割合により費用負担する。
事業の成果	利用者が衛生的かつ快適に生活を営むことができる。
次年度以降の見込み	下水道サービスを安定的に確保していくために、適正な維持管理に努めるとともに施設の長寿命化を図る。併せて、流域下水道に関しては、継続して処理場施設の改築更新等に構成市町負担割合により費用を負担していく。



県北浄化センター

総合計画	目標	2	安全・安心な優しいまちづくり	政策名	3	環境に優しいまち	施策名	3	上下水道の整備
------	----	---	----------------	-----	---	----------	-----	---	---------

前年度 決算額	50,148 千円	決算額		特定財源								一般財源	
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他			
増減額	28,888 千円	金額	79,036 千円	1,300 千円	0 千円	16,500 千円	61,236 千円	0 千円	0 千円				
増減率	57.6 %	構成率	100.0 %	1.6 %	0.0 %	20.9 %	77.5 %	0.0 %	0.0 %				
本年度 最終予算額	79,036 千円	特定財源の名称		●社会資本整備総合 交付金		●公営企業会計適用 債		●使用料及び手数料 (下水道使用料)					
執行率	100.00 %												

款	款名称	節	節名称	支出済額	明細	
					金額	内容
2	事業費	10	需要費	733 千円	電気料、消耗品費、マンホールポンプ分解整備	
		11	役務費	329 千円	汚水水質試験、通信費、損害保険料	
項	項名称	12	委託料	27,014 千円	地方公営企業法移行支援業務、下水道事業計画変更業務委託、マンホール点検業務、マンホールポンプ施設保守点検等	
1	事業費	13	使用料及び賃借料	264 千円	長寿命化データ処理システム賃借、土地賃借料	
		14	工事請負費	13,239 千円	管渠移設工事、公共柵設置工事、マンホール修繕工事	
目	目名称	18	負担金補助及び交付金	37,390 千円	流域下水道維持管理負担金	
2	維持管理費	22	償還金料子及び割引料 償還金	67 千円	償還金	
				千円		

事業の目的	下水道施設の適切な維持管理を行うことにより、将来にわたって安定的な下水道機能を確保する。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道汚水管渠施設の維持管理のため業務委託及び工事等を行う。 令和5年度地方公営企業法適用に向けた移行支援業務委託等。
事業の成果	計画的な維持補修を実施し、施設の延命化を図る。
次年度以降の見込み	継続して維持管理に努める。



管渠移設工事実施状況